






本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- ◎ お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ◎ 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。
- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと装備品や車両の破損につながるおそれがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車の性能を十分にお使い頂けるとともに、いろいろな装備を上手に使うことができます。
	安全のためにしてはならない行為。 (イラスト内に表示されています)

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備(ディーラーオプション)については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー(営業部員)にお申しつけください。

● 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
● 自然環境保護に配慮してください。
● 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
● お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
● 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

取扱い方法をパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。右のQRコードを読み取るか、下のURLを直接入力すると電子取扱説明書、簡単早わかり動画が閲覧できます。

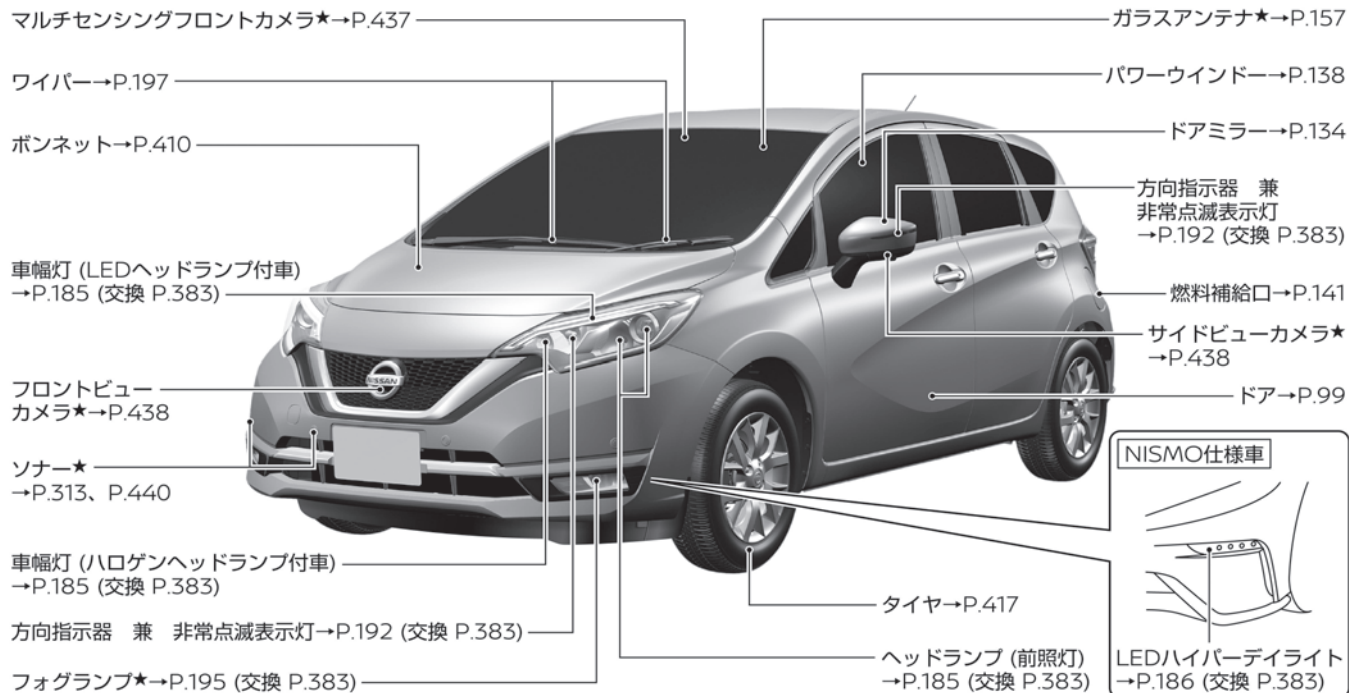
電子取扱説明書 簡単早わかり動画



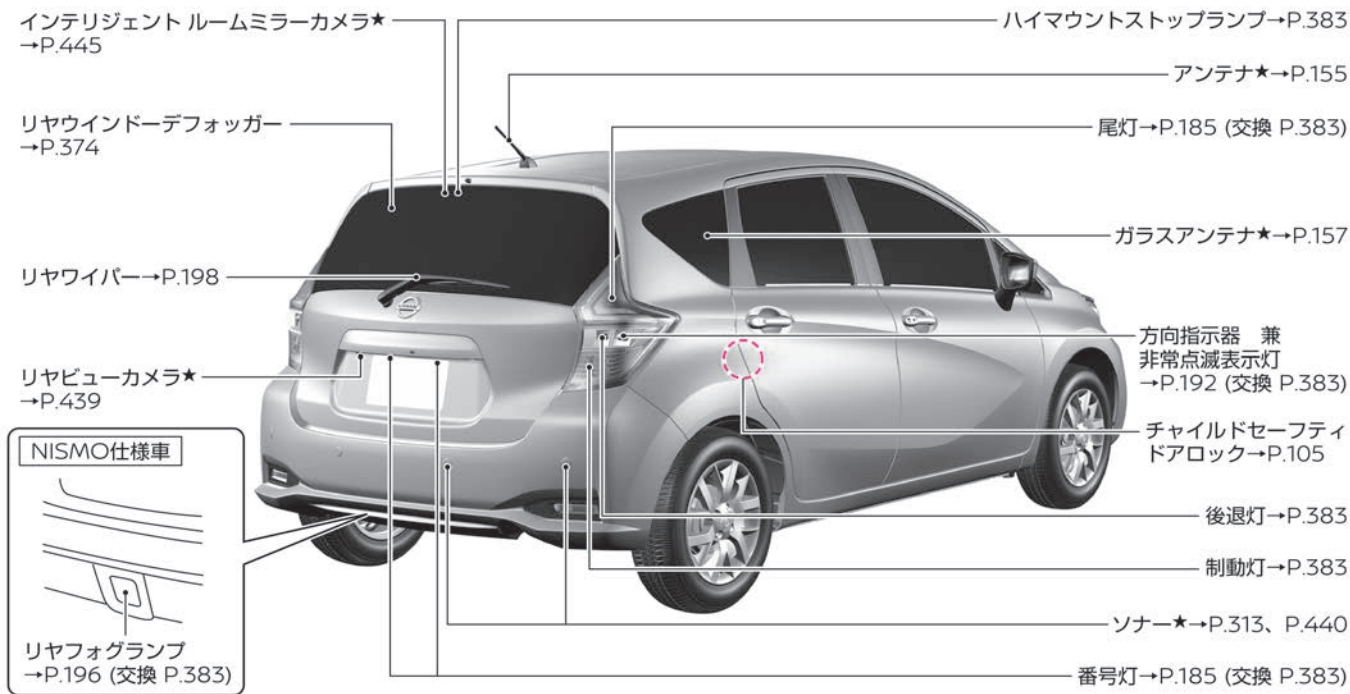
https://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/index_note.html

<ul style="list-style-type: none"> ■ 外観フロント .2 ■ 運転席まわり .5 ■ メーター (タイプⒹ) .8 ■ 表示灯一覧 (タイプⒹ) .11 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外観リヤ .3 ■ インストルメントパネル .6 ■ 警告灯一覧 (タイプⒹ) .9 ■ 表示灯一覧 (タイプⒹ: NISMO仕様車以外) .12 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車室内 .4 ■ メーター (タイプⒹ) .7 ■ 警告灯一覧 (タイプⒹ) .10 ■ 表示灯一覧 (タイプⒹ: NISMO仕様車) .13 	イラスト目次	P.2
<ul style="list-style-type: none"> ■ 運転する前に .16 ■ お子さまの安全のために .43 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シートベルト .24 ■ 盗難防止機能 .57 	<ul style="list-style-type: none"> ■ エアバッグ .32 	安全なドライブのために	P.15
<ul style="list-style-type: none"> ■ 計器類 .60 ■ メーターの明るさの調節 .87 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 警告灯・表示灯 .72 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車両情報ディスプレイ .80 	メーターの見かた	P.59
<ul style="list-style-type: none"> ■ キー .90 ■ ハンドルの調節 .123 ■ 燃料補給口の開閉 .141 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドアの施錠と解錠 .99 ■ ミラーの調節 .124 ■ エアコンの操作 .144 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シートの調節 .112 ■ 窓ガラスの開閉 .138 ■ オーディオ .154 	各部の操作	P.89
<ul style="list-style-type: none"> ■ 始動する .160 ■ 運転支援機能 .201 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運転する .172 ■ カメラ・ソナーシステム .290 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ランプをつける、ワイパーを使う .185 	運転のしかた	P.159
<ul style="list-style-type: none"> ■ 室内灯 .316 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 収納装備 .318 	<ul style="list-style-type: none"> ■ その他の室内装備 .323 	室内装備	P.315
<ul style="list-style-type: none"> ■ まずはじめに .332 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急時の対処方法 .339 		トラブルがおきたときは	P.331
<ul style="list-style-type: none"> ■ メンテナンスの前に .400 ■ 清掃・お手入れ .430 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工具・ジャッキ .401 ■ サービスデータ .446 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 点検と整備 .407 	メンテナンス	P.399
			索引	P.453

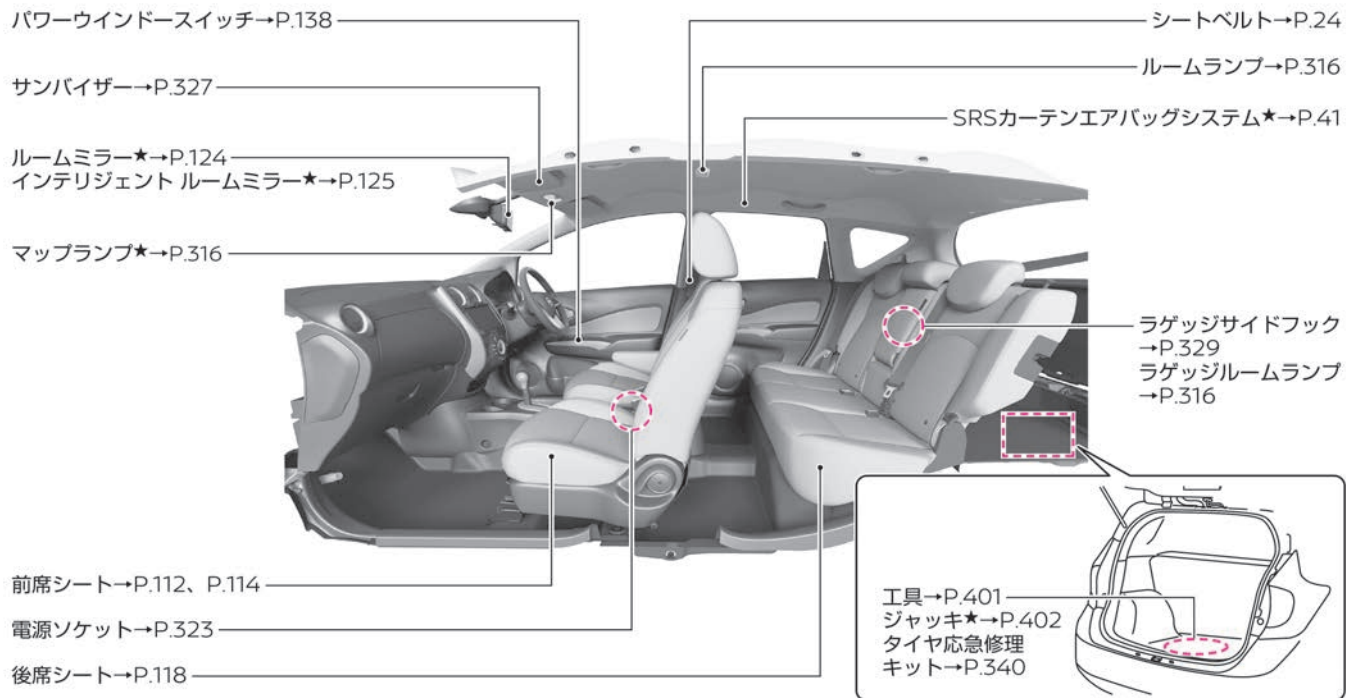
外観フロント



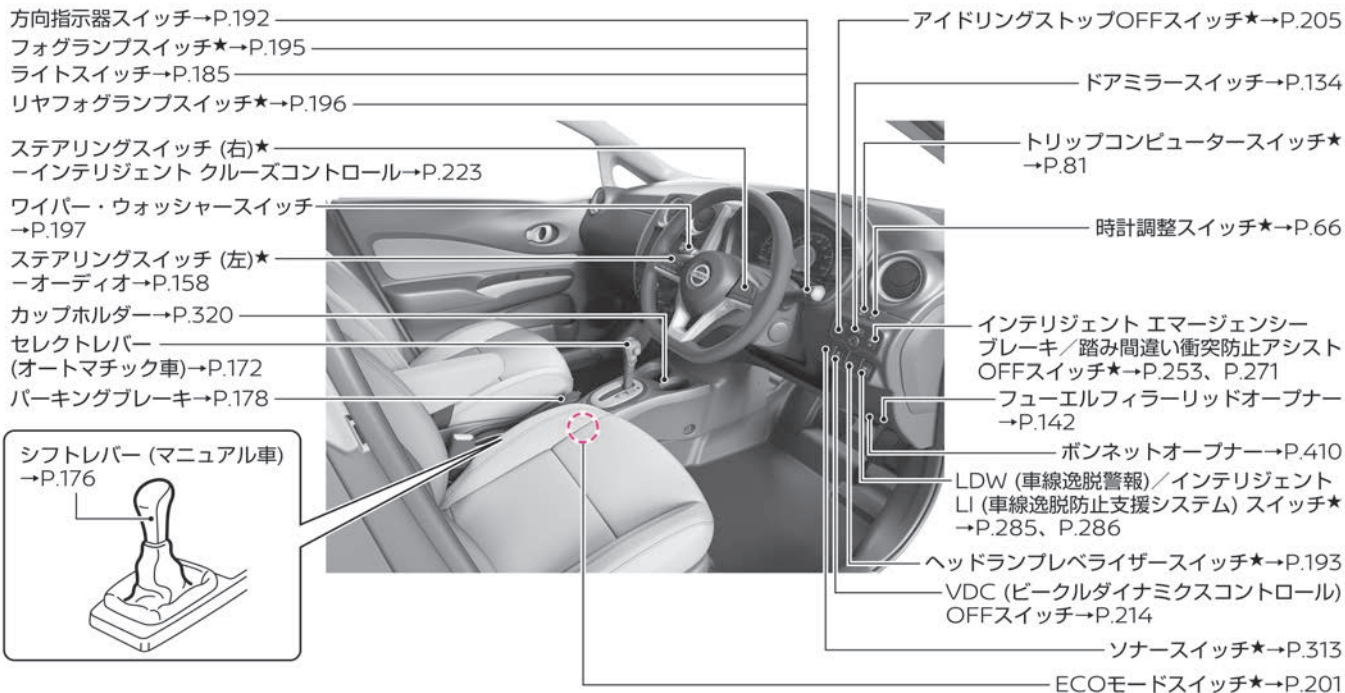
外観リヤ



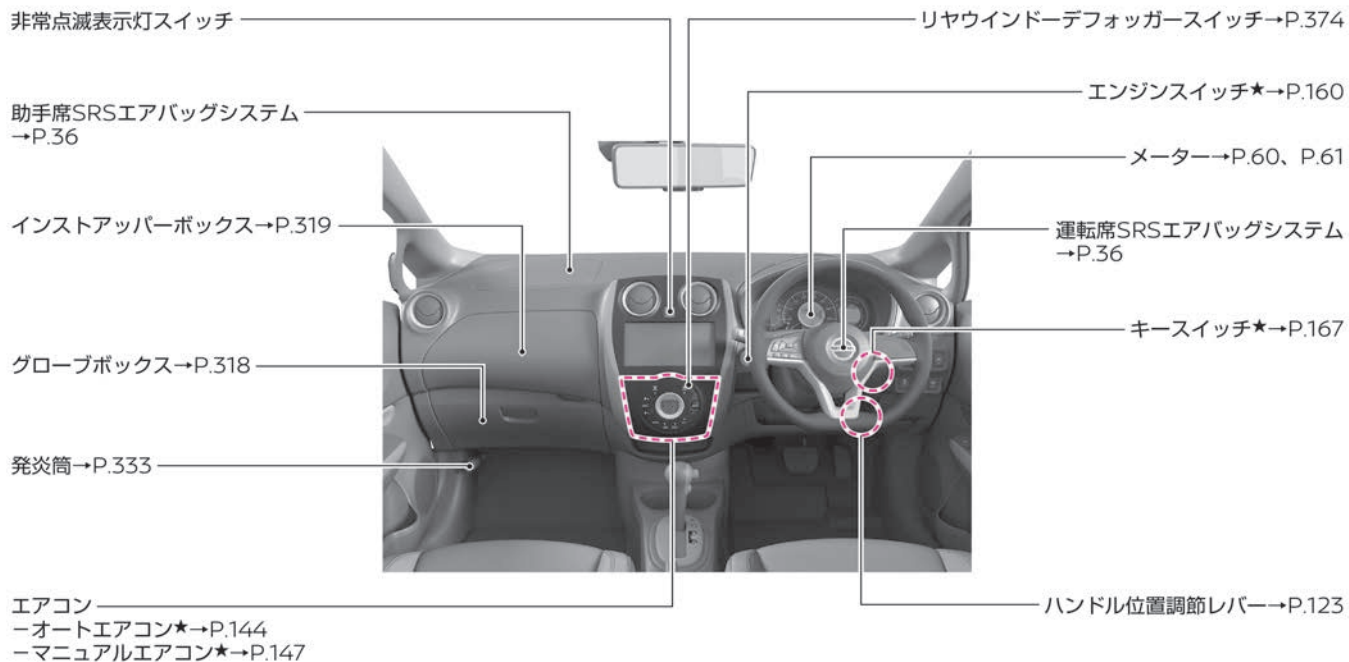
車室内



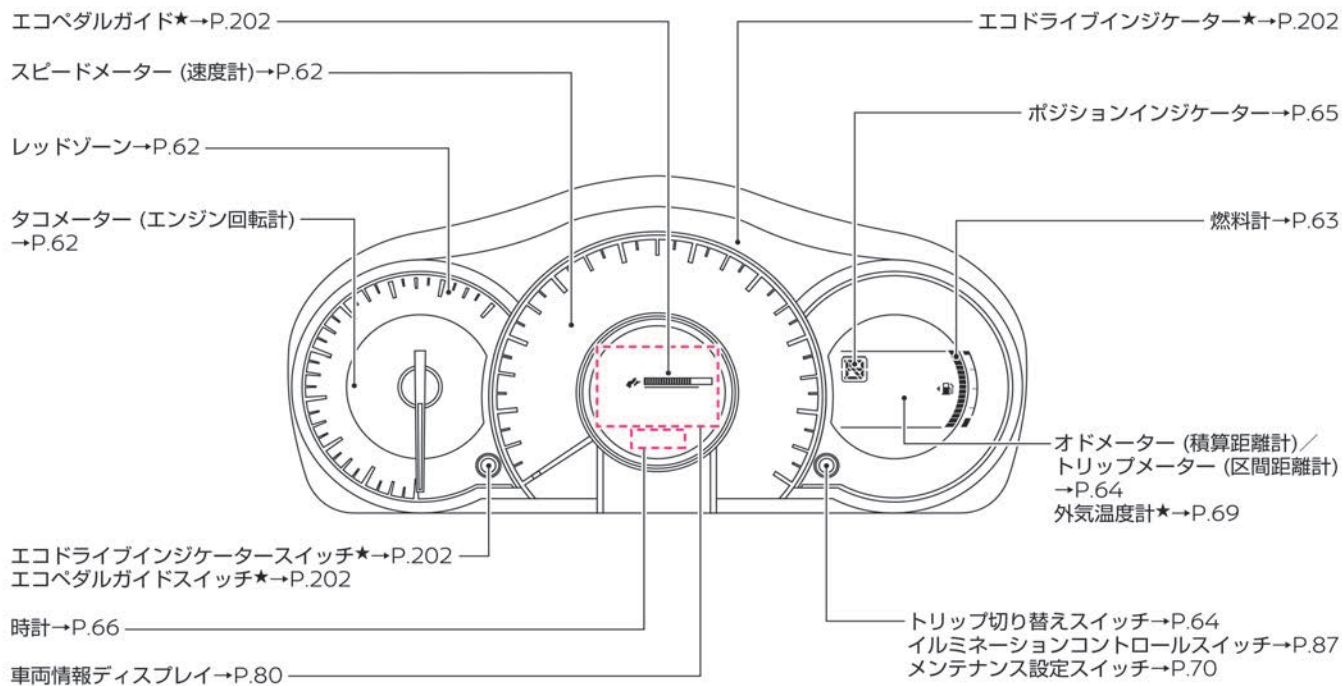
運転席まわり



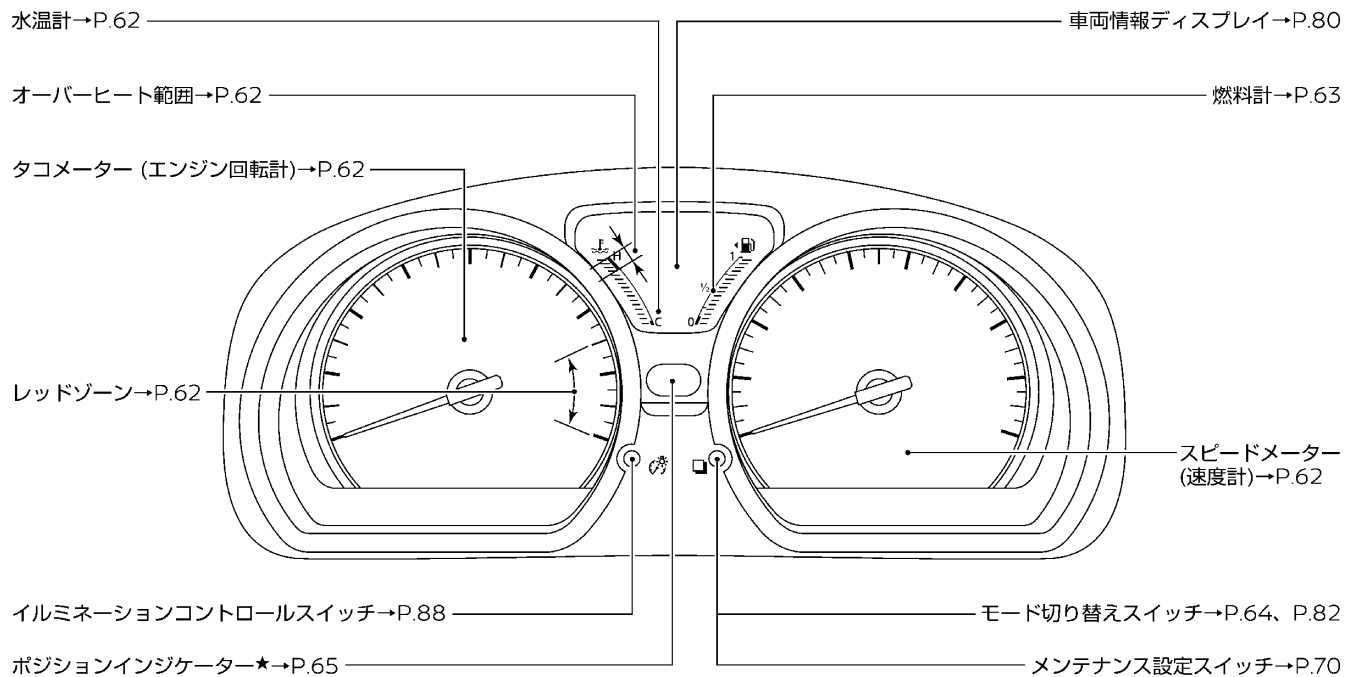
インストルメントパネル



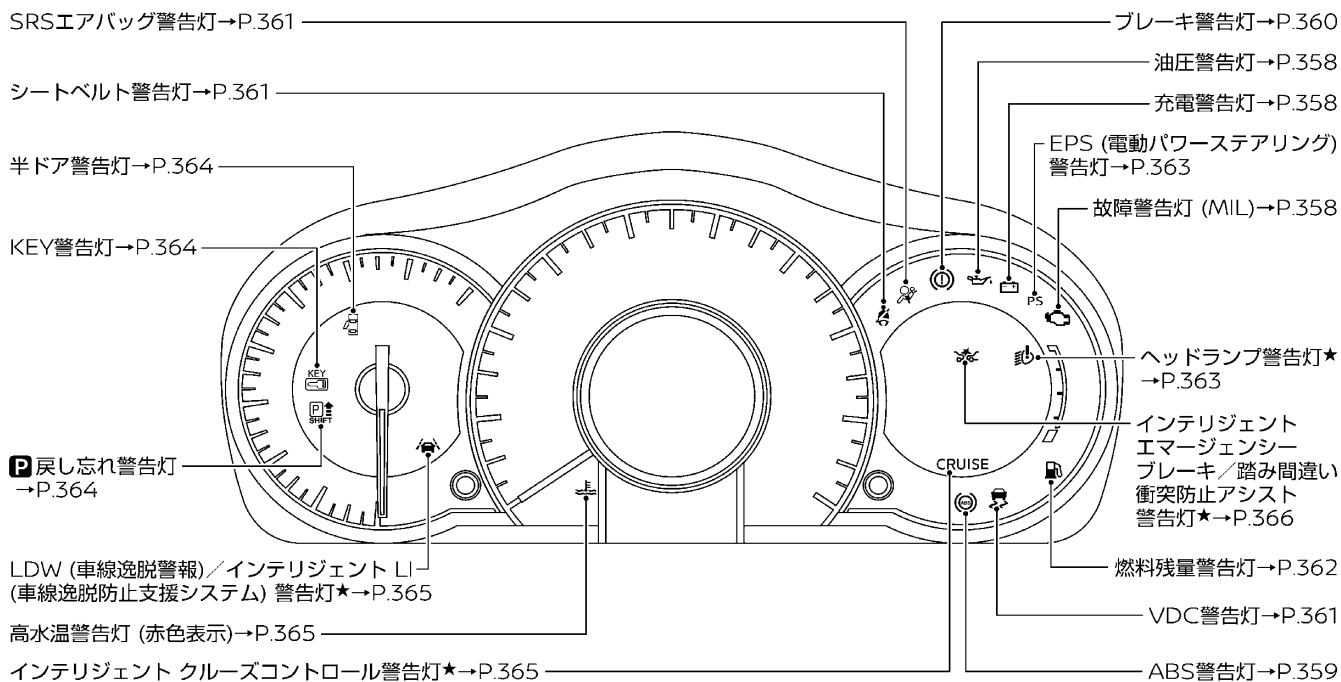
メーター (タイプA)



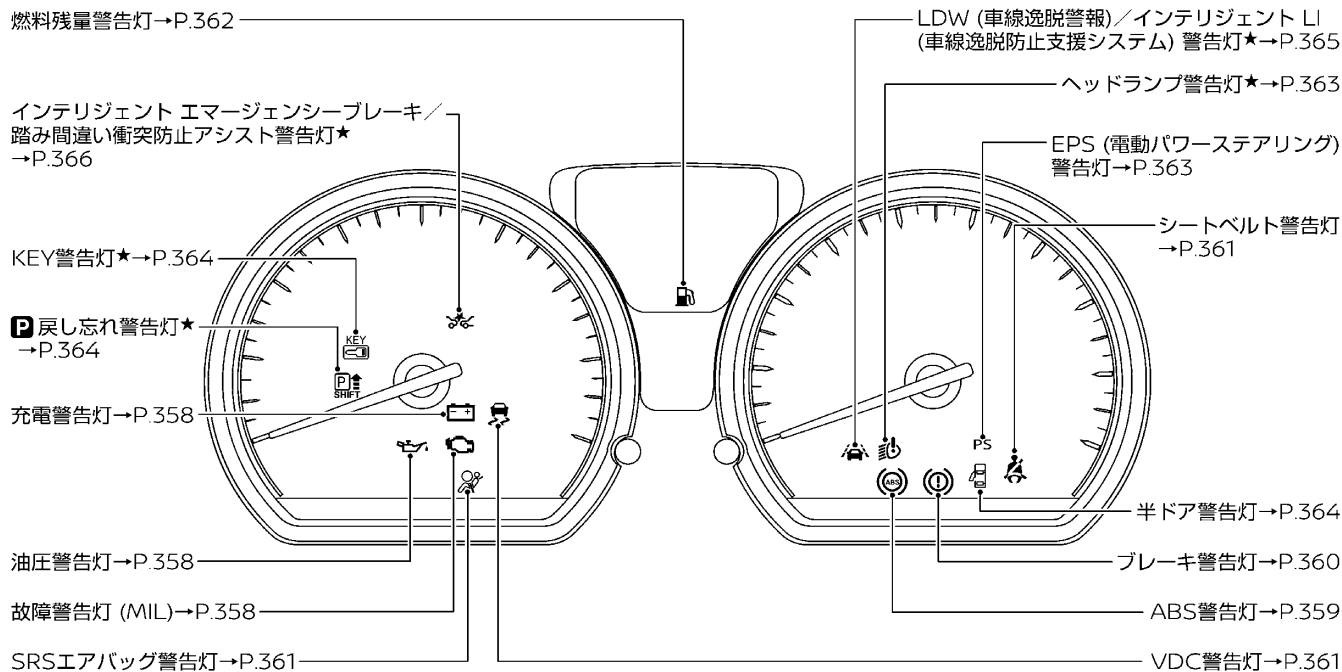
メーター (タイプB)



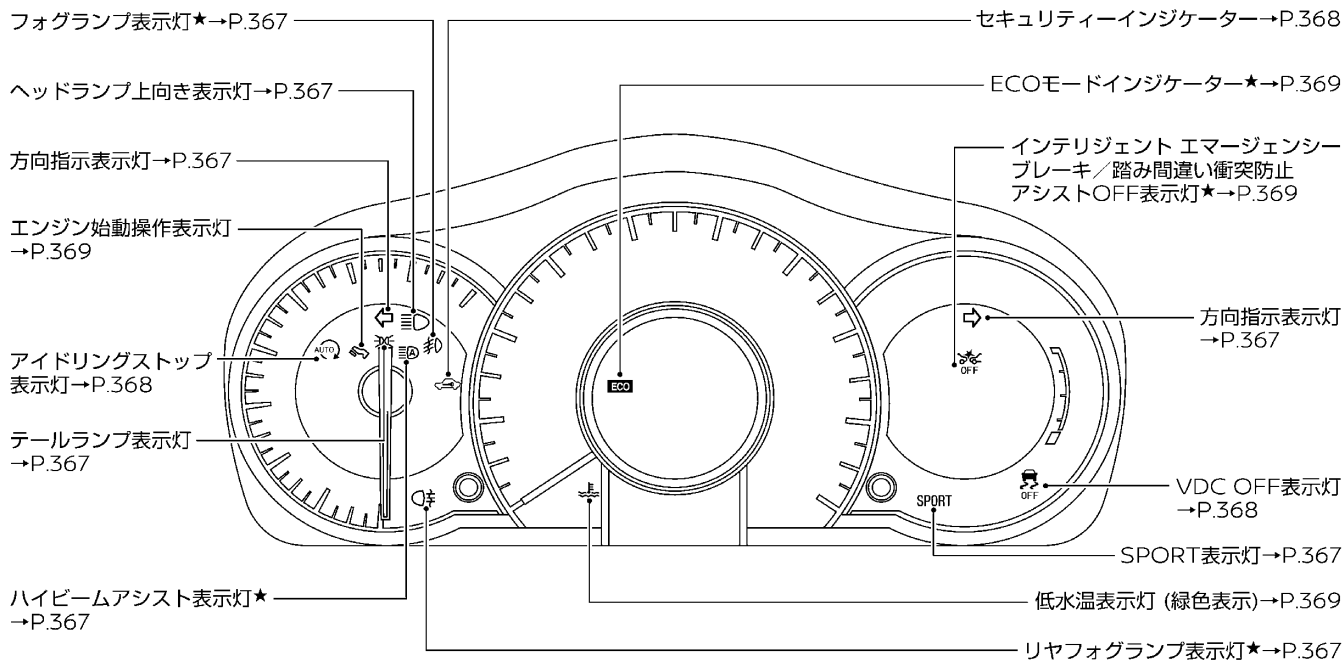
警告灯一覧 (タイプA)



警告灯一覧 (タイプB)

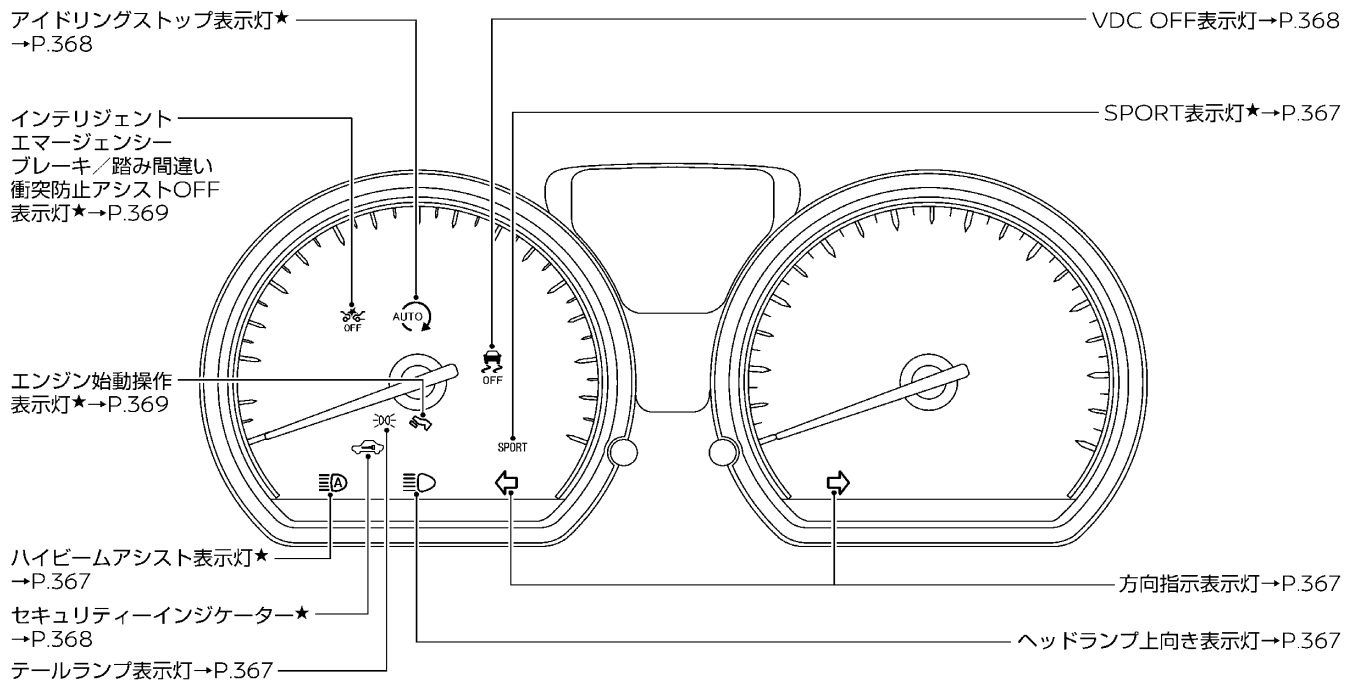


表示灯一覧 (タイプA)

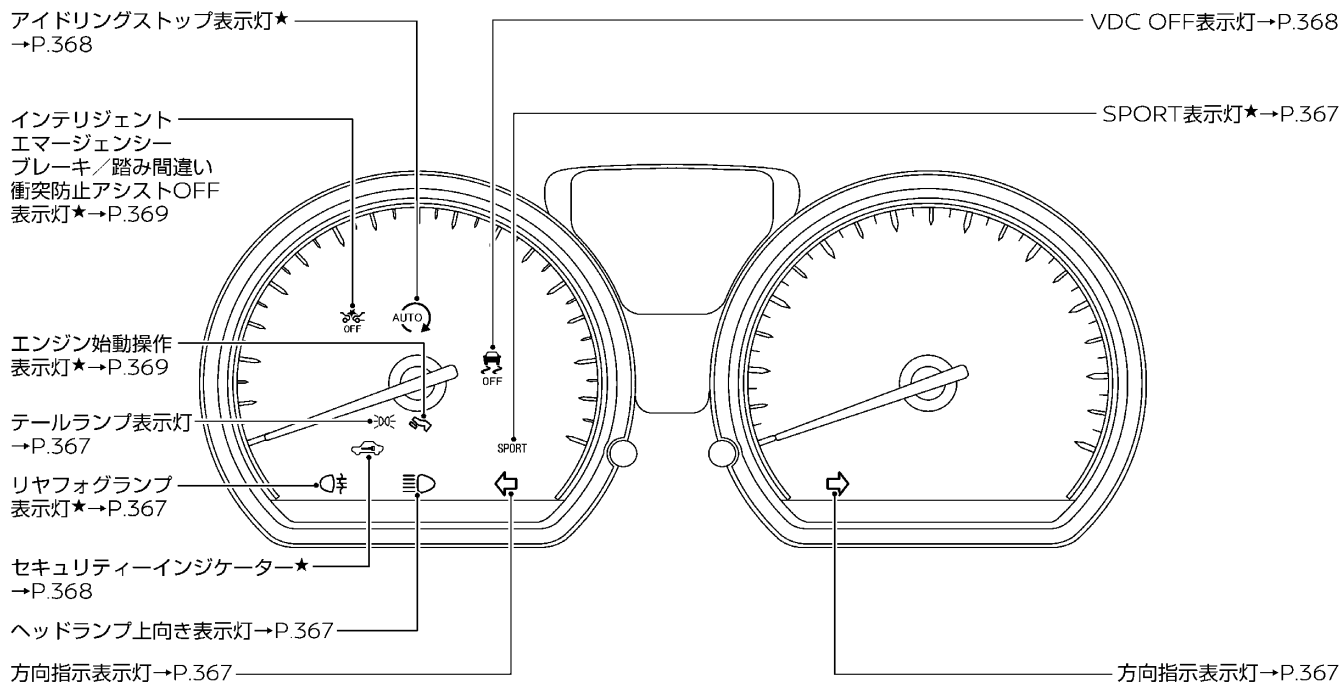


☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

表示灯一覧 (タイプ® : NISMO仕様車以外)



表示灯一覧 (タイプ® : NISMO仕様車)



MEMO

イラスト目次

安全なドライブのために

運転する前に

運転前の準備	P.16
運転するときに注意すること	P.18
心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への 注意事項	P.23

シートベルト

シートベルトについて	P.24
3点式シートベルト（前席シート／後席シート左右）	P.27
3点式シートベルト（後席シート中央）	P.28
シートベルトの注意事項	P.30

エアバッグ

SRSエアバッグ	P.32
SRS エアバッグシステム（前席）	P.36
SRSカーテンエアバッグシステム★	P.41

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること	P.43
チャイルドシート	P.46

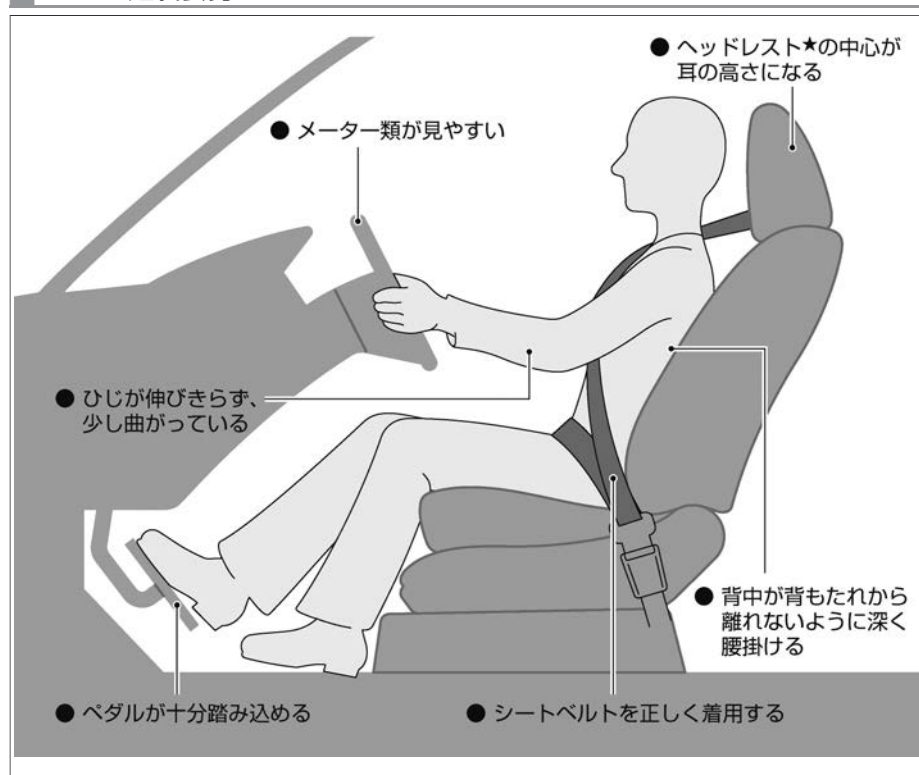
盗難防止機能

イモビライザー（盗難防止装置）★	P.57
------------------	------

運転する前に 運転前の準備

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル (P.123)、シート (P.112)、ミラー (P.124) を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について



警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれと背中の上にクッションなどを入れない。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトの着用

- 必ず走行前にシートベルトを正しく着用してください。
➡ シートベルト (P.24)
- 小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご使用ください。
➡ チャイルドシート (P.46)

ミラーの調節

- シートおよびハンドルの調節が完了したら、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ドアミラーおよびルームミラー★を調節してください。
➡ ドアミラー (P.134)
➡ ルームミラー★ (P.124)

インテリジェント ルームミラー付車

インテリジェント ルームミラー付車は、インテリジェント ルームミラーがOFFの状態（ルームミラーモード）で、確実に後方確認ができる位置に調節してください。

- ➡ インテリジェント ルームミラー（インテリジェント アラウンドビューモニター表示機能付）★ (P.125)

警告

排気ガスには十分注意する

- 排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。
- 以下の状況では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。
 - － 雪が積もった場所に駐停車するとき
 - － 降雪時に駐停車するとき
 - － 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐停車するとき
 - － 仮眠や長時間の駐車をするとき
 - － 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき
 - － 他車の排気口が近くにあるとき
- 走行する前に、バックドアが確実に閉まっていることを確認する。
走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。
- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意ください

警告

- 診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けしないでください。バッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたりしない。
荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。
- 灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、必ずふたを閉める。
紙くすなど燃えやすいものは入れないでください。出火するおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- 排気音が大きくなったときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気管が腐食したり路面干渉などで損傷しているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入したり、火災につながるおそれがあります。
- 事故などでランプが破損したまま走行しない。
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

空ぶかしをしたり、エンジンをかけたまま仮眠をしない

- 無用な空ぶかしや、エンジンをかけたまま仮眠をしない。

警告

万一、セレクトレバーが **P** 以外（オートマチック車）またはシフトレバーが **N** 以外（マニュアル車）に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識にセレクトレバーまたはシフトレバーを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

注意

アクセサリーをウインドーに取り付けない

● ウインドーにアクセサリーを取り付けない。

視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。


改造しない

● 市販の不適合品のマフラー取り付けや、日産純正部品以外の車両の性能や機能に適合しない部品を使用しない。

正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

● ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

 アドバイス

改造しない

- バッテリーの端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 日産自動車が国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供しません。

性能を十分に引き出すため、ならし運転を行う

- エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

フロントスポイラーと路面との干渉について

- フロントスポイラー下部は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などには特に注意してください。路面と干渉して傷が付くおそれがあります。

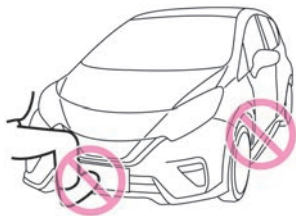
フロントバンパーと路面との干渉について（NISMO仕様車）

- NISMO仕様車は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などに特に注意してください。フロントバンパーが路面と干渉して、破損するおそれがあります。

NISMO専用エアロパーツについて（NISMO仕様車）

アドバイス

- フロントバンパーに足をかけたり、乗ったりしないでください。また、乗り降りの際にサイドシルプロテクターに乗らないでください。フロントバンパー及びサイドシルプロテクターが破損するおそれがあります。



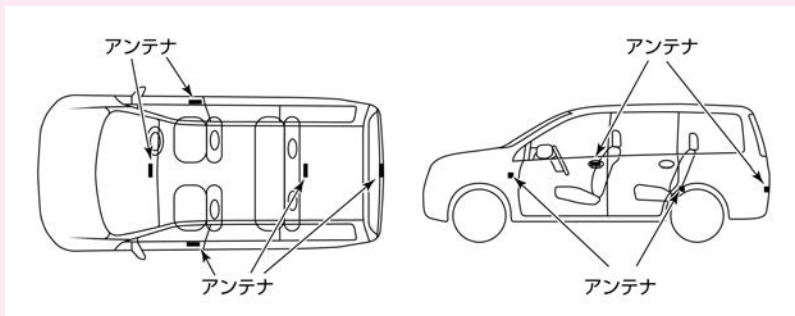
心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項

心臓ペースメーカーなどをご使用されている方は、次のことにご注意ください。

⚠ 警告

インテリジェントキーについて

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、エンジン始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

シートベルトについて

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

ELR（緊急固定）付シートベルトについて

- 身体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

前席プリテンショナーシートベルトについて

- 正面衝突などで車両前方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取り、乗員の拘束性能を高めま
 - 衝撃の強さなどによっては、SRSエアバッグシステム（前席）と同時に作動する場合と、プリテンショナーのみ作動する場合があります。
- ➔ SRSエアバッグ (P.32)



⚠ 注意

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使用してプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠ 警告

メーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯しているときは走行しない。キースイッチ（電源ポジション）をONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

⚠ 注意

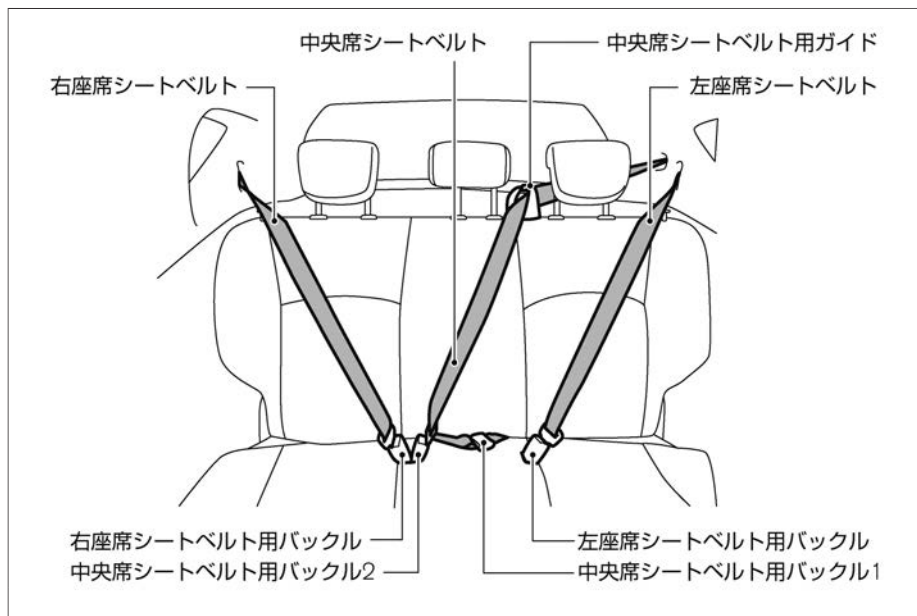
- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。



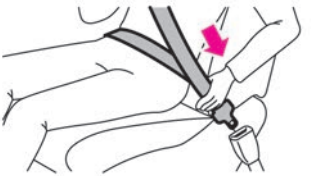



アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

後席シートベルトの位置



シートベルトの着用のしかた

1	正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。	
2	ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。	
3	アンカー位置の高さを調節します。（前席シートのみ）ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。手を離れたあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。	
4	外すときは、バックルのボタン（赤色部）を押し、タングを持ってゆっくり戻します。	

警告

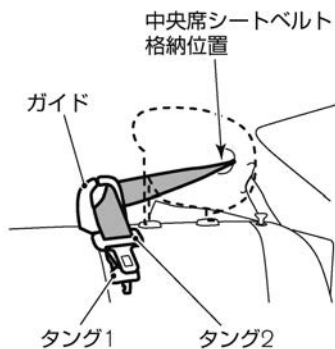
- ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。
万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

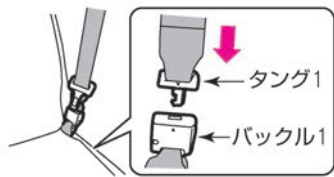
- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

シートベルトの着用のしかた

- 1 後席シート中央席シートベルト格納位置から、ベルトをゆっくり引き出し、ガイドに通します。



- 2 タンク1をバックル1に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



- 3 タンク2を持ってベルトをゆっくり引き出します。ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



警告

- 後席シート中央用のタンクとバックルは正しく差し込んで使用する。後席シート中央用のタンクとバックルは2個ずつあります。着用するときは必ずタンク1と2、バックル1と2を正しく差し込んでお使いください。正しく固定されていないと、万一のときシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。


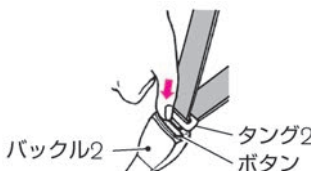
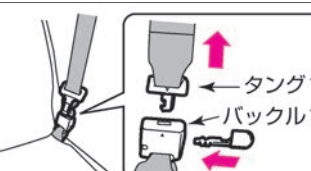
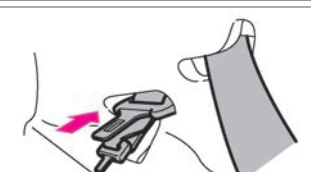
アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

知識


- 6：4分割シート付車の右側シートの背もたれを倒した状態で、後席シート中央用シートベルトを着用するときは、倒した背もたれの下からバックル2を引き出して使用してください。

3点式シートベルト（後席シート中央）

4	ベルトがねじれないようにして、タング2をバックル2に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。	
5	外すときは、バックル2のボタンを押し、タング2を持ってゆっくり戻します。	
6	タング1を持って、バックル1の側面の穴にキーなどを押し込んでロックを解除します。	
7	シートベルトがねじれていないことを確認し、奥まで確実に格納します。	

 警告

- 後席シート中央席のシートベルトを使用するときは、バックルに「CENTER」と表示されているものを使用する。
シートベルトが正しく着用できず、万一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。

 アドバイス

- 後席シート背もたれを操作するときは、シートベルトが背もたれに巻き込まれないように注意してください。後席シート背もたれを倒すときは、中央席シートベルトを格納位置に格納してから操作してください。
- ベルトを外すとき、タングが急に返ることがありますので、タングから手を離さないでください。

 警告

- **走行する前に全員がシートベルトを着用する。**
着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- **シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。**
シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
 - － 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
 - － 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
 - － ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
 - － 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。
 - － 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
 - － クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。
- **シートの背もたれを倒したまま走行しない。**
シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。**
シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**
ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認

⚠ 警告

してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**
➡ チャイルドシート (P.46)
- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。**
一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。

⚠ 注意

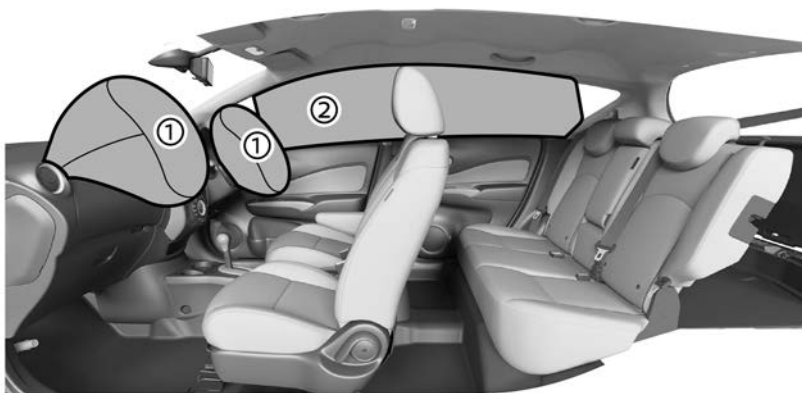

- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**
ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮しないことがあります。シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに膨らみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの種類

- ① SRSエアバッグシステム (前席)
- ② SRSカーテンエアバッグ★


 アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

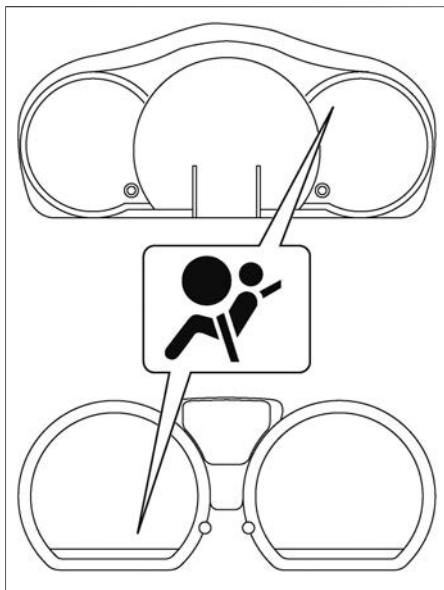
 知識

- SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。
- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、キースイッチ（電源ポジション）がONのときに作動可能です。キースイッチ（電源ポジション）をONにしたあと、約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRSエアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くないときは、作動しないことがあります。



警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**
 - － キースイッチ（電源ポジション）をONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
 - － SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき
 - － SRSエアバッグ警告灯が点滅し続けるとき
- SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

知識

- 助手席SRSエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグ★は、乗員がいなくても作動します。

SRSエアバッグの注意事項

 警告

● 正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。

SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

● 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

➡ チャイルドシート (P.46)



● 必ず次のことを守る。

SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

— SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRS工



警告

エアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。

運転席・助手席SRSエアバッグの格納場所は (➡P.36) をお読みください。

SRSカーテンエアバッグ★の格納場所は (➡P.41) をお読みください。

- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使用してSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどを取り付けたり、サスペンションを改造したりするときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

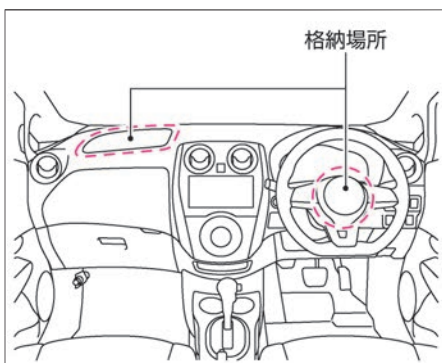
- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグにさわらない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**
皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じる場合があります。

車両前方から強い衝撃を受けたときに、SRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。



SRSエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
 - 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき
- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）
- 高速で縁石などに衝突したとき
 - 深い穴や溝に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつかったとき

アドバイス

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れることがあります。

知識

- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

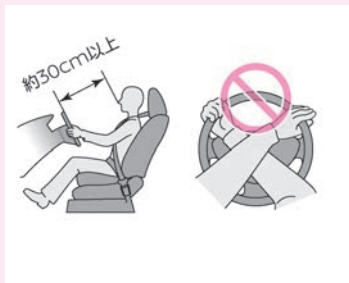
次ページに続く

SRSエアバッグシステム (前席) の注意事項

 警告

- 運転席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。

ハンドルから顔をできるだけ(約30cm以上)離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



- 不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼らない。

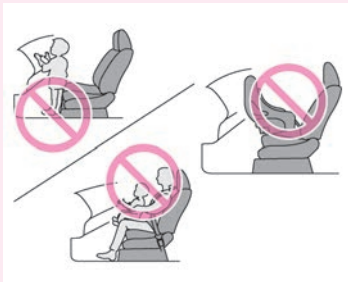
SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

 警告


- フロントガラスにアクセサリなどを付けない。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 助手席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。
SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。
- チャイルドシートは後席シートに取り付ける。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。
- チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。

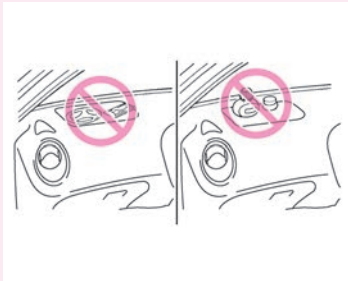
警告

固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



- **SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼らない。また、アクセサリや芳香剤などを置かない。**

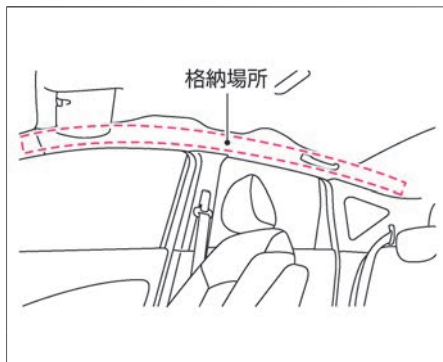
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSカーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。



警告

- **SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。**
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けない。**
SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

SRSカーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

お子さまを乗せるときに注意すること

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

警告

お子さまにもシートベルトを着用する

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
➡ シートベルトの着用のしかた (P.27)

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。
➡ チャイルドシート (P.46)

チャイルドシートは後席シートに取り付ける

- チャイルドシートは後席シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

警告



- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。
車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席に乗せる

- お子さまを助手席に乗せるのは避ける。
お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドーなどは大人が操作する

- ドアやウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。
開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティドアロック（➡P.105）やパワーウインドーロックスイッチ（➡P.138）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

お子さまを乗せるときに注意すること



警告

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。
急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために チャイルドシート

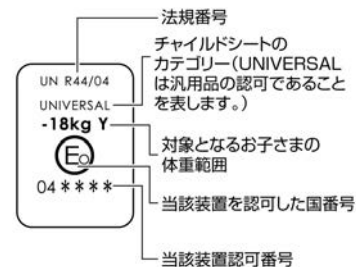
お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

チャイルドシートについて

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格にあわせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44の基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。

知識

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。



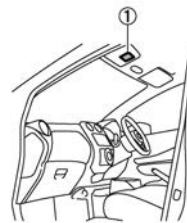
チャイルドシートの種類

UN R44の基準に適合するチャイルドシートは、お子さまの体重により次のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループI	9～18kgまで
グループII	15～25kgまで
グループIII	22～36kgまで

警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

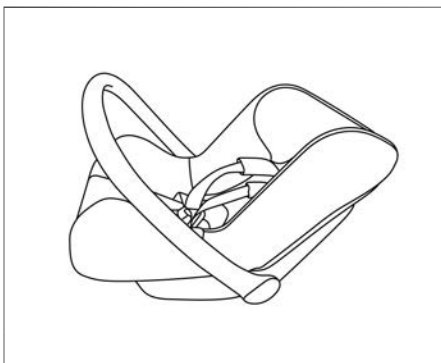


①エアバッグ警告ラベル



乳児用チャイルドシート

UN R44 基準のグループ0、0⁺に相当します。



チャイルドシート

UN R44 基準のグループ0⁺、Iに相当します。



ジュニアチャイルドシート

UN R44 基準のグループII、IIIに相当します。



チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。ISO FIX対応チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けできます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使用してチャイルドシートを固定します。

➡ 使用できるシートベルト固定タイプのチャイルドシート (P.50)

■ ISO FIX対応チャイルドシート

後席シートに付属しているISO FIX対応チャイルドシート用アンカー（固定装置）で固定します。

➡ ISO FIX対応チャイルドシートについて (P.53)

次ページに続く

使用できるシートベルト固定タイプのチャイルドシート

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。選択の目安から使用できるチャイルドシートを確認してください。

■ 選択の目安

質量グループ	チャイルドシート取り付け位置				
	前席シート (助手席) ※1	前席シート (助手席) ※2	後席シート 左右	後席シート中央	
				アームレス ト無	アームレス ト付
0 (10kgまで)	X	X	U	X	X
0+ (13kgまで)	X	X	U	X	L
I (9~18kg)	L	X	U	X	L
II (15~25kg)	L	X	U	L	L
III (22~36kg)	L	X	U	L	L

※1： 背もたれをレバーで調節するタイプのシート

※2： 背もたれをダイヤルで調節するタイプのシート

U： この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）区分のチャイルドシートに適合しています。

L： 次の表に記載されている日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。

X： チャイルドシートを取り付けることはできません。

- 詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

知識

- 表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

■ 日産純正チャイルドシート

「選択の目安」で、チャイルドシート取り付け位置にLと記載されている場合は、日産純正チャイルドシートをご使用ください。

質量グループ	取り付け向き	商品名	
0 (10kgまで)	—	—	
0+ (13kgまで)	後向き	チャイルド セーフティシート (E4 04443812)	ISO FIX対応 チャイルド セーフティシート (E4 04443716)
I (9～18kgまで)	前向き		
II (15～25kgまで)	前向き	ジュニアセーフティシート (E43 44R040006)	
III (22～36kgまで)	前向き		

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

- 1 ヘッドレストをロックする位置まで上げて、チャイルドシートを座席に置きます。
➡ ヘッドレストの調節のしかた★ (P.116)
シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



- 2 チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



警告

- **チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。**
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

ISO FIX対応チャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。
「選択の目安」から使用できるチャイルドシートを確認してください。

■ 選択の目安

質量グループ	サイズ等級	固定具	チャイルドシート取り付け位置	
			後席シート	
			(左右)	(中央)
キャリコット	F	ISO/L1	X	-
	G	ISO/L2	X	-
0 (10kgまで)	E	ISO/R1	X	-
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	IL	-
	D	ISO/R2	X	-
	C	ISO/R3	X	-
I (9~18kg)	D	ISO/R2	X	-
	C	ISO/R3	X	-
	B	ISO/F2	IUF	-
	B1	ISO/F2X	IUF	-
A	ISO/F3	IUF	-	
II (15~25kg)	-	(1)	X	-
III (22~36kg)	-	(1)	X	-

IUF： この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISO FIX対応前向きチャイルドシートに適合しています。

IL： この質量グループでの使用を認可された、次の表に記載されている「日産純正ISO FIX対応チャイルドシート」に適合しています。

次ページに続く

- X： チャイルドシートを取り付けることはできません。
- (1)： サイズ等級表示の無いチャイルドシートの各シート位置でのISO FIX対応チャイルドシート固定機構の取り扱いについては販売業者にご相談ください。
- 詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

■ 日産純正ISO FIX対応チャイルドシートについて

「選択の目安」で、チャイルドシート取り付け位置にILと記載されている場合は、日産純正ISO FIX対応チャイルドシートをご使用ください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	商品名	取り付け向き	カテゴリー
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	ISO FIX対応 ベビーシート (H8000- 79923)	後向き	準汎用

知識

- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

知識

- 日産純正ISO FIX対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースキットが必要です。

ISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

- 1 ISO FIX対応チャイルドシート用ロアアンカーは、後席シート左右背もたれのマーク下側にあります。ヘッドレストをロックする位置まで上げて、チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってロアアンカーに固定します。
- ➡ ヘッドレストの調節のしかた★ (P.116)



- 2 テザーアンカーは、後席シート背もたれ裏側にあります。テザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締めます。チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



警告

- ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、後席シートのヘッドレストをロックする位置まで上げる。
- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。
- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。
チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

知識

- ISO FIX対応チャイルドシート用アンカー（固定装置）は、ロアアンカーとテザーアンカーの2種類があります。

次ページに続く

 知識

□アアンカーは背もたれと座面のすき間にあり、テザーアンカーは背もたれ裏側にあります。

- チャイルドシートの形状により、チャイルドシートまたはテザーベルトがヘッドレストに干渉することがあります。その場合はヘッドレストを取り外してチャイルドシートを取り付けてください。
- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、あらかじめ登録されているキー以外での始動を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、セキュリティインジケータ（P.368）が点滅します。



🚗 アドバイス

- 電源ポジションをONにしたときにセキュリティインジケータが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

📖 知識

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。

MEMO

安全なドライブのために

メーターの見かた

計器類

各部名称 (メータータイプA)	P.60
各部名称 (メータータイプB)	P.61
メーター	P.62

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置 (メータータイプA)	P.72
警告灯の表示位置 (メータータイプB)	P.73
警告灯	P.74
表示灯の表示位置 (メータータイプA)	P.76
表示灯の表示位置 (メータータイプB) : NISMO仕様車以外	P.77
表示灯の表示位置 (メータータイプB) : NISMO仕様車	P.78
表示灯	P.79

車両情報ディスプレイ

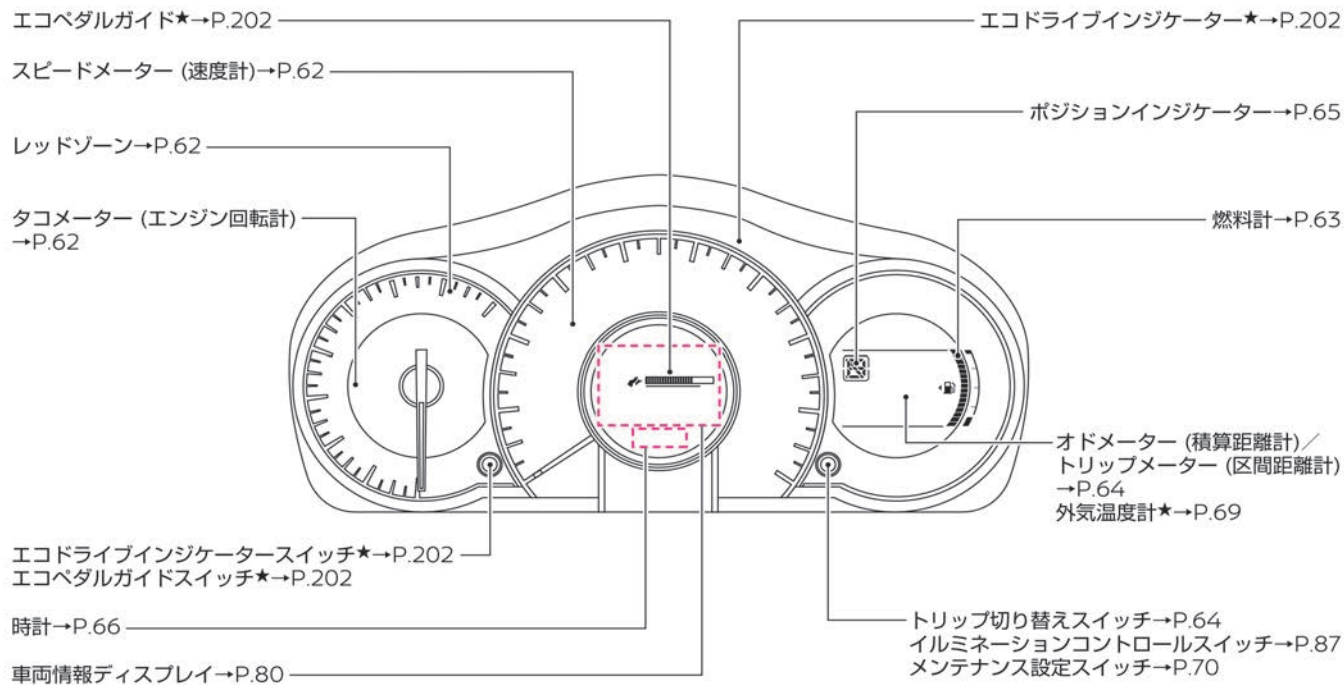
トリップコンピューター	P.80
走行支援機能表示★	P.86

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール	P.87
----------------	------

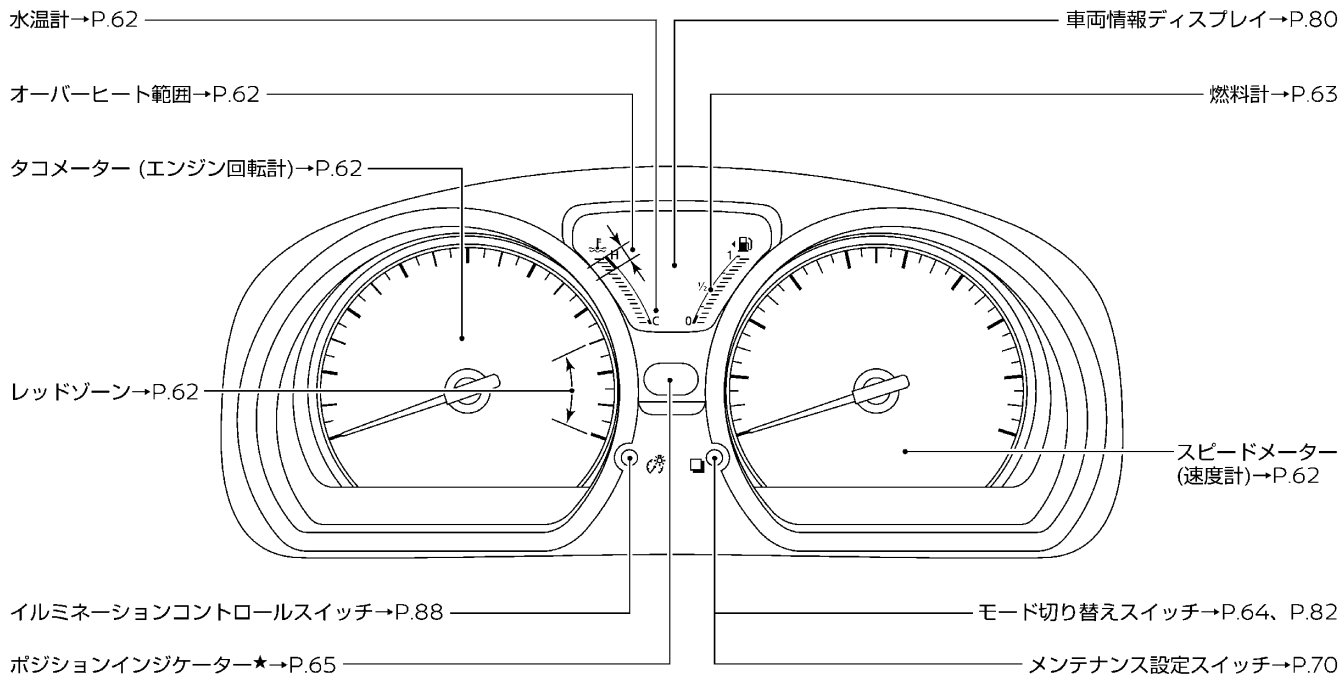
各部名称 (メータータイプ[Ⓐ])

電源ポジションをONにすると、計器類が表示されます。
それぞれの計器の説明は、参照先のページをお読みください。



各部名称 (メータータイプ[®])

キースイッチ (電源ポジション) をONにすると、計器類が表示されます。
それぞれの計器の説明は、参照先のページをお読みください。



メーター

メーターには、スピードメーター（速度計）、燃料計、ポジションインジケーター★などがあります。キースイッチ（電源ポジション）をON にすると表示します。

■ スピードメーター（速度計）

走行速度を表示します。

■ タコメーター（エンジン回転計）

1分間あたりのエンジン回転数を表示します。

■ 水温計（メータータイプ[ⓑ]）

エンジン冷却水の温度を表示します。

アドバイス

- レッドゾーン（赤色表示部）ではエンジンが過回転となり故障の原因になります。レッドゾーンに入らないように運転してください。

警告


- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を停めて処置をする。
そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。
詳しくは、オーバーヒートしたとき（➡P.375）をお読みください。

燃料計

燃料の残量を表示します。

- 燃料タンクの容量は約41ℓです。

知識

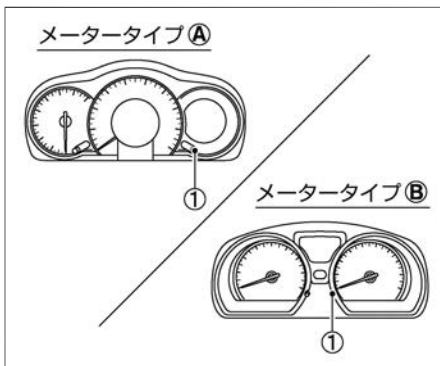
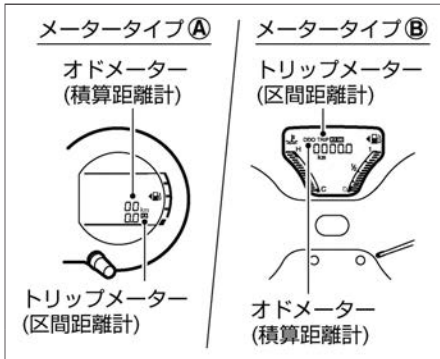
-  の矢印は燃料補給口が車両左側にあることを示しています。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示されない場合があります。燃料が少なくなってきたら、早めの給油を心がけてください。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

- 次のときに表示します。
 - － キースイッチ（電源ポジション）がONのとき
 - － 電源ポジションをOFFにしてから約30秒間（メータータイプA）
 - － ドアを開閉後約30秒間（メータータイプB）

オドメーター（積算距離計）

- 総走行距離をkmで表示します。
- トリップメーター（区間距離計）
- リセットしてからの走行距離をkmで表示します。[A]と[B]でそれぞれ使い分けることができます。
- リセットするときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにして、0にしたいほうを表示させ、スイッチ①を1秒以上押します。



知識

- バッテリーを外したときは、トリップメーターの[A]と[B]の記憶が消去され0に戻ります。

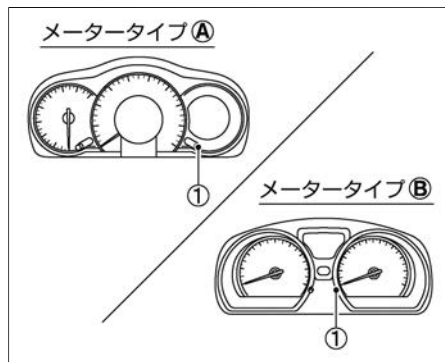
■ 表示の切り替えかた

メータータイプ④:

- スイッチ①を押すとトリップメーターが次の順で切り替わります。
トリップメーター **A** → トリップメーター **B** → トリップメーター **A**

メータータイプ⑤:

- スイッチ①を押すと次の順で切り替わります。
オドメーター → トリップメーター **A** → トリップメーター **B** → トリップコンピューター (➡ P.80) → オドメーター

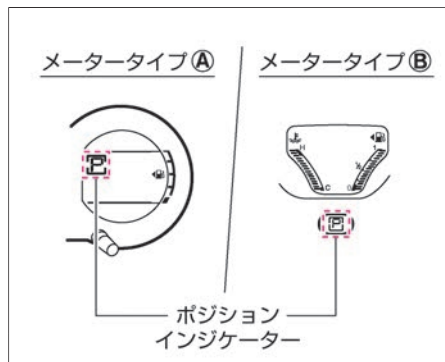


知識

- トリップメーター **B** が表示されているときにスイッチ①を約3秒以上押すと、トリップメーター **B** と平均燃費 (➡ P.85) が同時にリセットされます。(メータータイプ⑤)

■ ポジションインジケーター (オートマチック車)

セレクトレバーの位置を表示します。



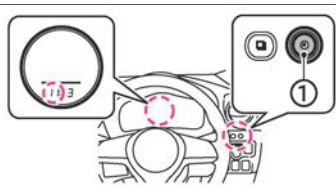
次ページに続く

時計

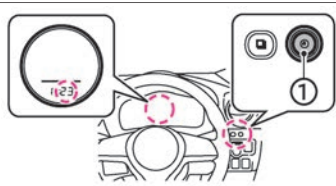
- キースイッチ（電源ポジション）がONのときに表示されます。

■ 時刻の設定（メータータイプ④）

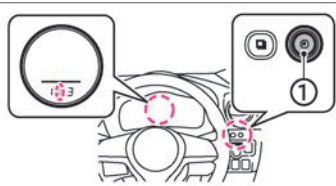
- 1 時計調整スイッチ①を約2秒間押します。
（「時」の表示が点滅し、「時」調整モード
になります。）



- 2 点滅している間に時計調整スイッチ①を押し、「時」を調整します。
（調整後、約3秒経過すると「分」の表示が点滅し、「分」調整モードになります。）



- 3 点滅している間に時計調整スイッチ①を押し、「分」を調整します。
（調整後、約3秒経過すると「時」と「分」の間の「:」が点滅します。）

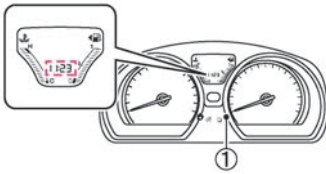
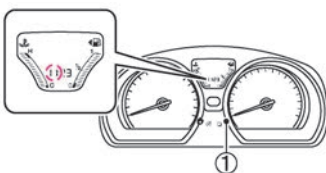
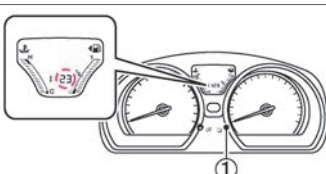
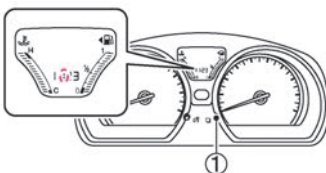


- 4 時計調整スイッチ①を押します。
（「:」が点滅から点灯に切り替わり、時刻が設定されます。）

知識


- 時計調整スイッチ①を短押しすると、24/12時間表示を切り替えることができます。
- バッテリーを外すと、設定した時刻がリセットされます。
- 「:」が点滅してから60秒間そのままにしても、時刻が設定されます。

■ 時刻の設定（メータータイプ⑥）

1	時計調整スイッチ①を数回押し、時刻表示を点滅させます。	
2	時計調整スイッチ①を約2秒間押します。 （「時」の表示が点滅し、「時」調整モードになります。）	
3	点滅している間に時計調整スイッチ①を押し、「時」を調整します。 （調整後、約3秒経過すると「分」の表示が点滅し、「分」調整モードになります。）	
4	点滅している間に時計調整スイッチ①を押し、「分」を調整します。 （調整後、約3秒経過すると「時」と「分」の間の「:」が点滅します。）	

5

時計調整スイッチ①を押します。
(時計が点滅に切り替わり、時刻が設定されます。)


 知識

- バッテリーを外すと、設定した時刻がリセットされます。
- 「:」が点滅してから60秒間そのままにしても、時刻が設定されます。
- 時刻を設定してからもう一度時計調整スイッチ①を押すと、時計の表示が点滅から点灯に切り替わります。



外気温度計（メータータイプ[Ⓐ]）

- 外気温を表示します。
- 外気温が3°C以下になると、外気温の表示を点滅させて運転者に知らせます。

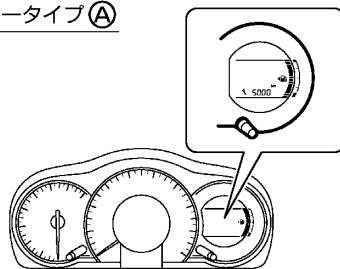
知識

- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。
- 点滅表示は、約1分経過するか、外気温が4°C以上になると通常表示になります。
- メータータイプ[Ⓑ]の外気温表示については、トリップコンピューター（ P.85）をお読みください。

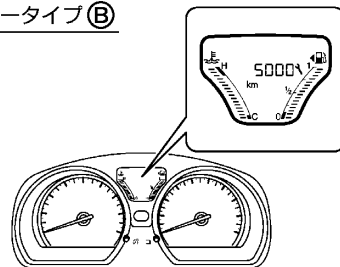
メンテナンス設定

- 次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。
- キースイッチ（電源ポジション）をONにすると、レンチの記号  と設定した距離までの残りの距離が約5秒間点灯したあと、オドメーター/トリップメーターが表示されます。
- 設定した距離を越えると、レンチの記号  が表示され、越えた分の距離が「-」（マイナス）で表示されます。



メータータイプ①



メータータイプ②



知識

- メンテナンス設定は設定距離を0（ゼロ）にすると、キースイッチ（電源ポジション）をONにしても表示されません。
- レンチの記号  が表示されているときに、再度メンテナンスを行うまでの距離を設定するか、設定距離を0（ゼロ）にすると、レンチの記号  が消灯します。

1

キースイッチ（電源ポジション）をONにしてから5秒以内に、メンテナンス設定スイッチを約3秒以上押します。
（表示が点滅します。）

メータータイプ①



メータータイプ②

2

表示が点滅している間にメンテナンス設定スイッチを押して距離を設定します。
距離を変更したあと、5秒以上何も操作を行わないと設定され、オドメーター／トリップメーターに切り替わります。

メータータイプ①



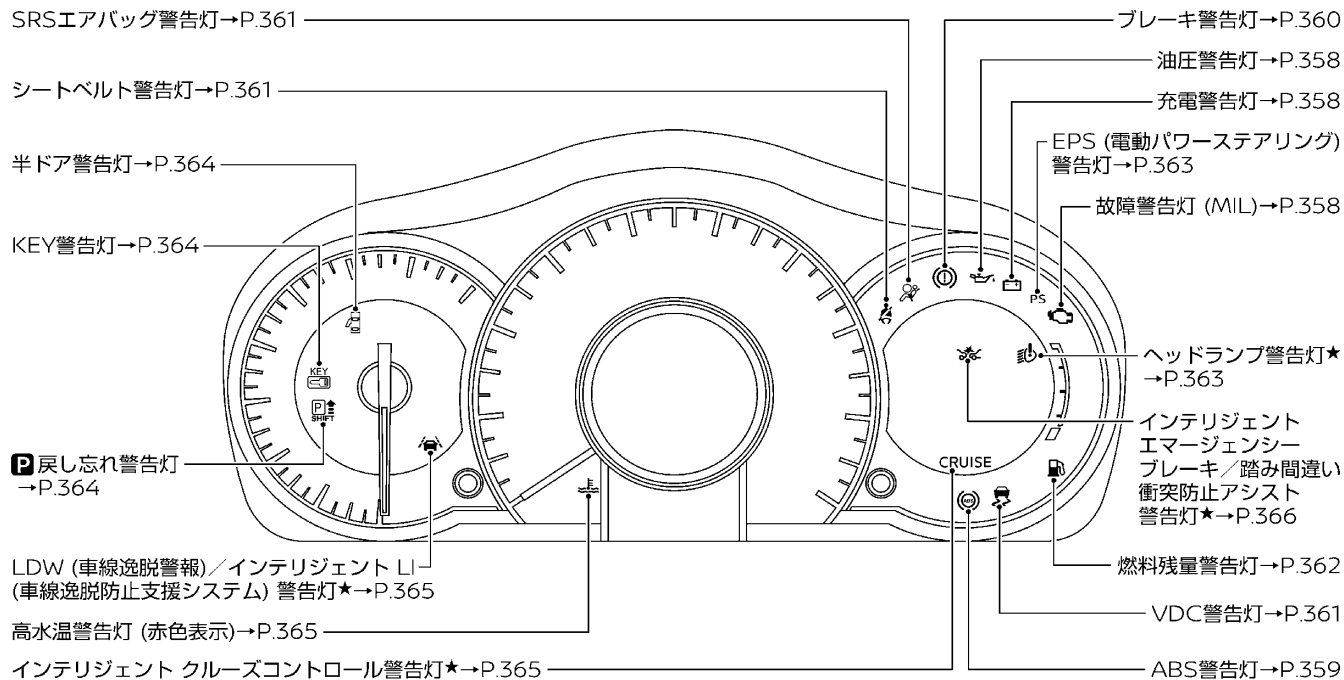
メータータイプ②

知識

- 定期交換部品などの交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- メンテナンス設定スイッチを押して距離を設定しているときは、スイッチを1回押すたびに1,000km延長されます。交換距離は0～30,000kmまでの範囲に変更でき、30,000kmの次にメンテナンス設定スイッチを押すと再び0kmに戻ります。

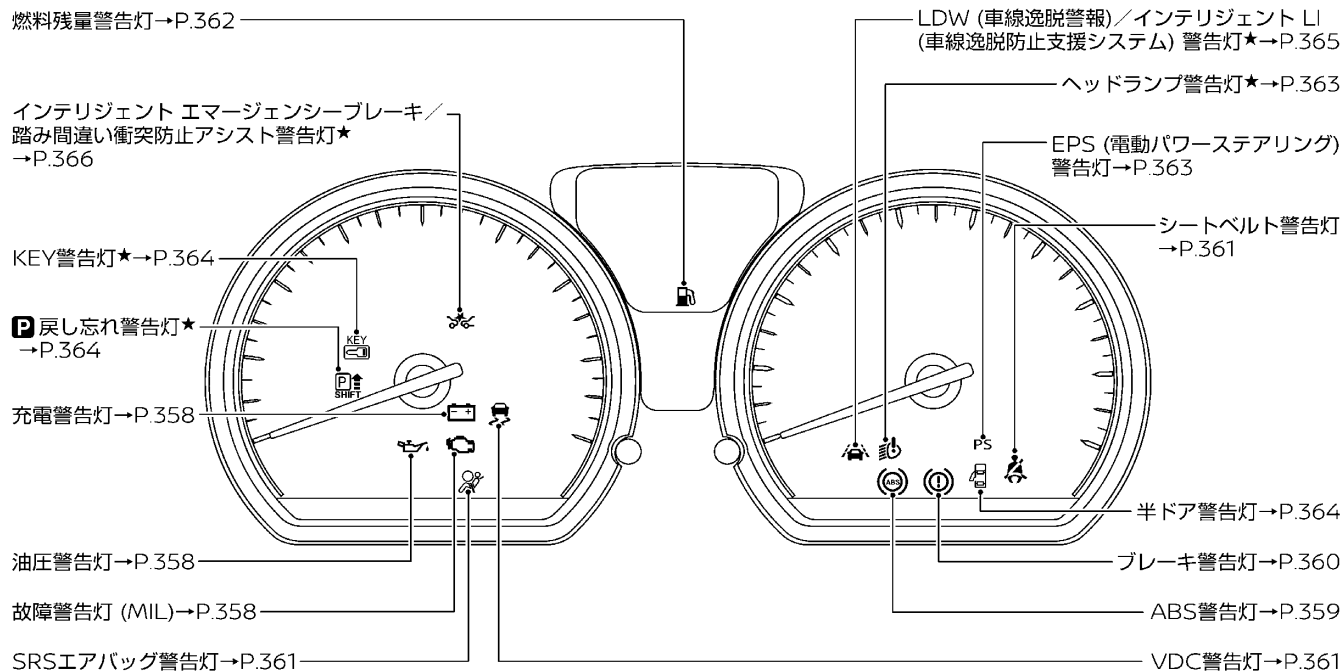
警告灯の表示位置 (メータータイプ[Ⓐ])

次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。
通常は警告すべき事象がおこったときに、該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



警告灯の表示位置 (メータータイプ[®])

次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。
通常は警告すべき事象がおこったときに、該当の警告灯のみ点灯または点滅します。

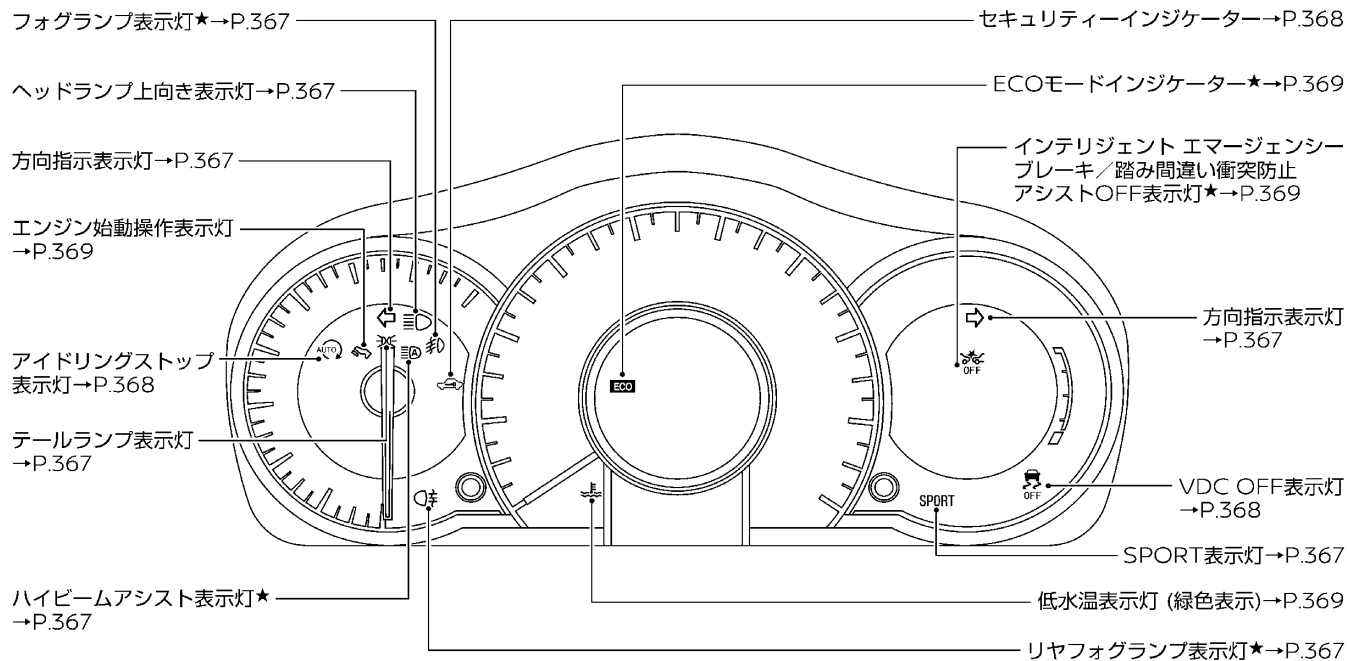


警告灯	名称	警告灯	名称
	油圧警告灯 (➡P.358)		故障警告灯 (MIL) (➡P.358)
	充電警告灯 (➡P.358)		ABS警告灯 (➡P.359)
	ブレーキ警告灯 (➡P.360)		シートベルト警告灯 (➡P.361)
	SRSエアバッグ警告灯 (➡P.361)		VDC警告灯 (➡P.361)
	燃料残量警告灯 (➡P.362)		EPS (電動パワーステアリング) 警告灯 (➡P.363)
	ヘッドランプ警告灯★ (➡P.363)		KEY警告灯★ (➡P.364)
	 戻し忘れ警告灯 (オートマチック車) ★ (➡P.364)		半ドア警告灯 (➡P.364)

警告灯	名称	警告灯	名称
	高水温警告灯（赤色表示）★（➡P.365）		インテリジェント クルーズコントロール 警告灯★（➡P.365）
	LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）警告灯★（➡P.365）		インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト 警告灯★（➡P.366）

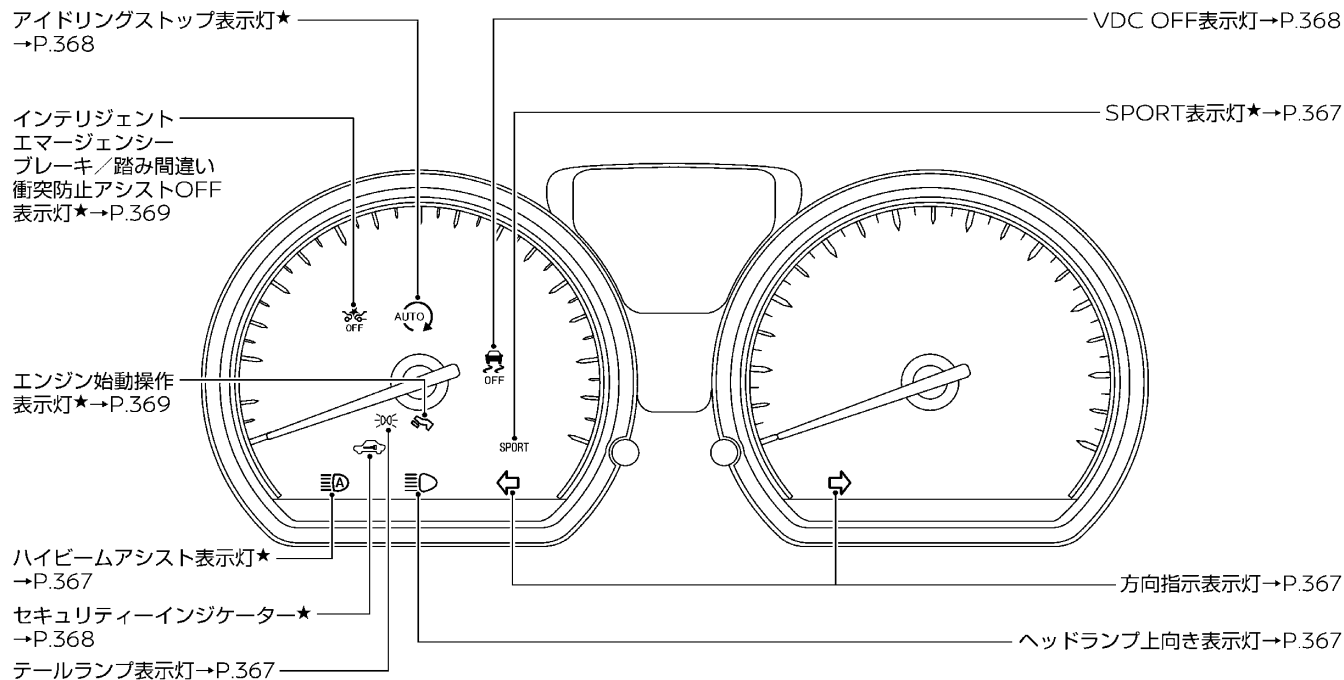
表示灯の表示位置 (メータータイプ[Ⓐ])

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。
通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯します。



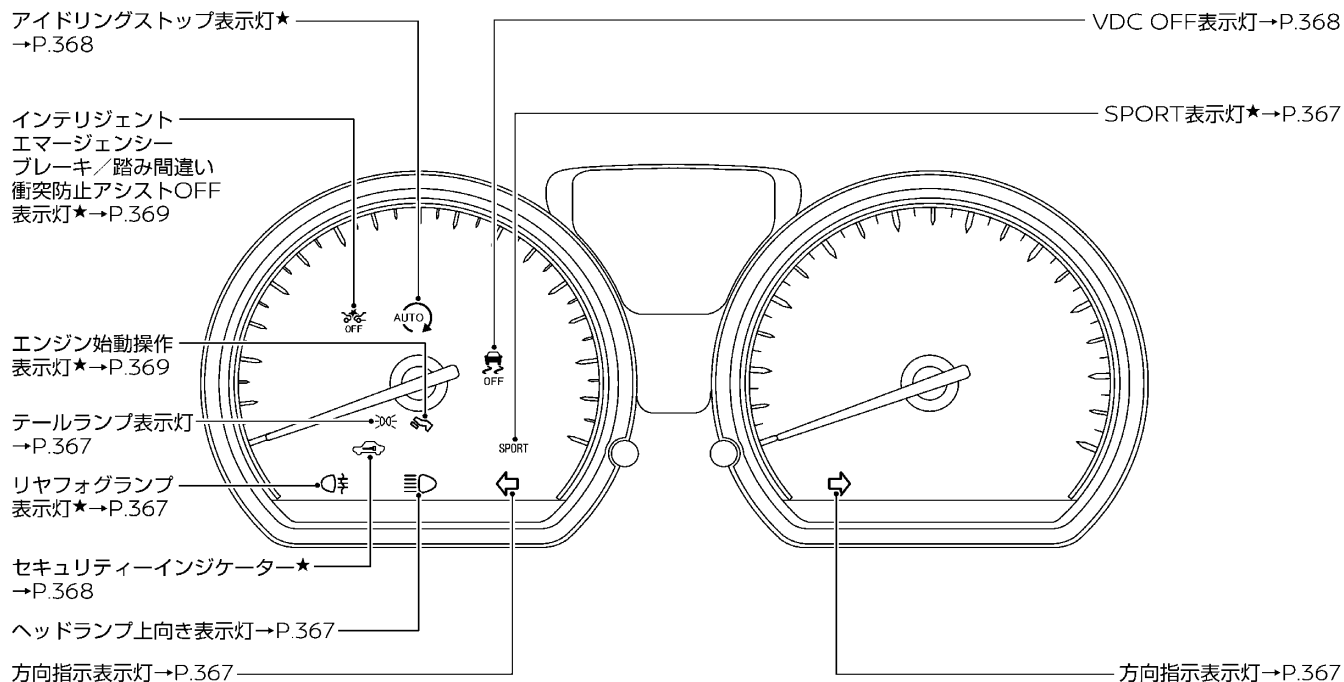
表示灯の表示位置 (メータータイプ[®]) : NISMO仕様車以外

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。
通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯します。



表示灯の表示位置 (メータータイプ[®] : NISMO仕様車)

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。
通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯します。



表示灯

表示灯	名称	表示灯	名称
	方向指示表示灯 (➡P.367)		ヘッドランプ上向き表示灯 (➡P.367)
	テールランプ表示灯 (➡P.367)		SPORT表示灯★ (➡P.367)
	フォグランプ表示灯★ (➡P.367)		リヤフォグランプ表示灯★ (➡P.367)
	ハイビームアシスト表示灯★ (➡P.367)		アイドリングストップ表示灯★ (➡P.368)
	VDC OFF表示灯 (➡P.368)		セキュリティーインジケータ★ (➡P.368)
	ECOモードインジケータ★ (➡P.369)		低水温表示灯 (緑色表示) ★ (➡P.369)
	エンジン始動操作表示灯★ (➡P.369)		インテリジェント エマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯★ (➡P.369)

トリップコンピューター

メーター内のディスプレイで、車両状態や走行支援機能★などを表示することができます。

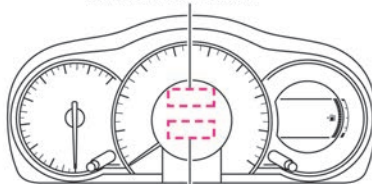
表示される内容

次の情報を表示します。

- 走行支援機能表示★
 - － インテリジェント クルーズコントロール
- トリップコンピューター
 - － 瞬間燃費
 - － 平均燃費
 - － 航続可能距離
 - － 平均車速 (メータータイプA)
 - － 走行時間 (メータータイプA)
 - － 外気温 (メータータイプB) ★
 - － オドメーター／トリップメーター (メータータイプB)
 - － 時計調整モード (メータータイプB)

メータータイプA

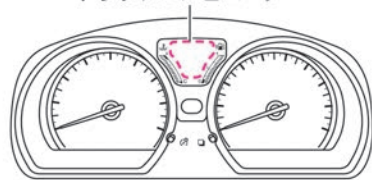
走行支援機能表示



トリップコンピューター

メータータイプB

トリップコンピューター



知識

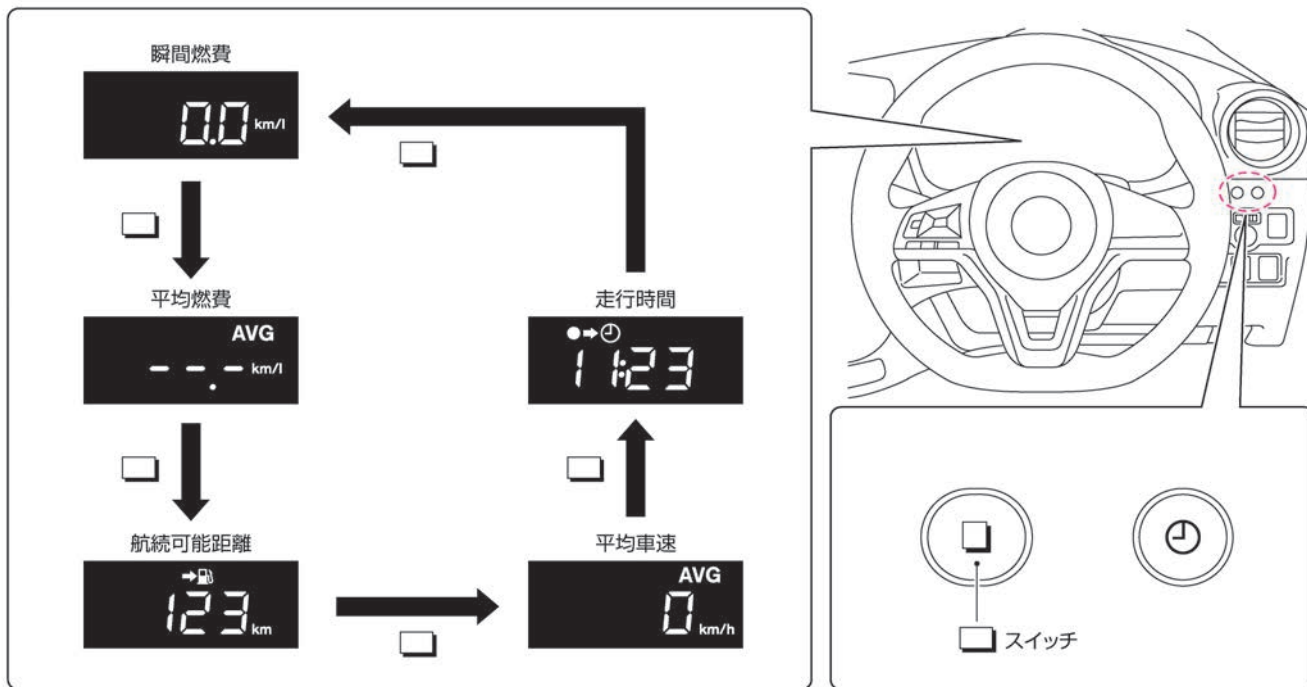
メータータイプB

- トリップコンピューターが外気温以外を表示しているときに、外気温が3°C以下になると外気温画面に切り替わり、「°C」を点滅させて運転者に知らせます。
 - － 点滅表示は、約1分経過すると元の表示 (外気温以外) に戻ります。
 - － 外気温が4°C以上になると、元の表示 (外気温以外) に戻ります。

車両情報ディスプレイ トリップコンピューター

電源ポジションがONのとき、 スイッチを押すと次の順で画面が切り替わります。

画面の切り替えかた (メータータイプ[☆])



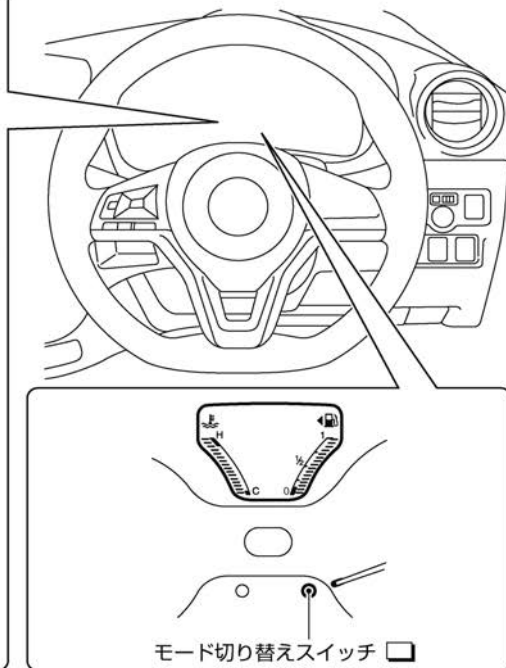
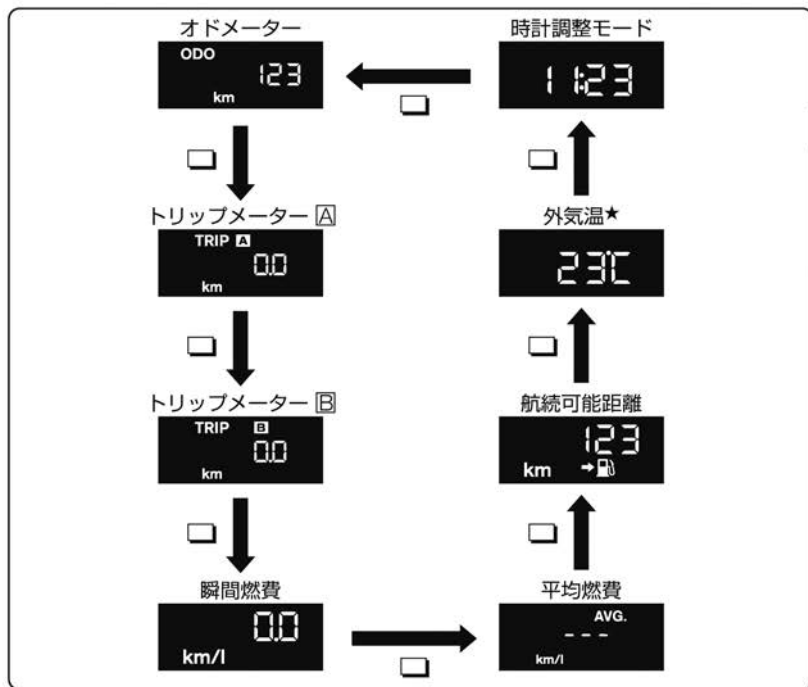
メーターの見かた

次ページに続く

トリップコンピューター








キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、モード切り替えスイッチ を押すと次の順で画面が切り替わります。



画面の切り替えかた（メータータイプ[Ⓑ]）





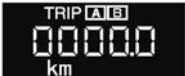



メーターの見かた












表示項目（メータータイプ^①）

画面表示	名称	概要	詳細説明
	瞬間燃費	<ul style="list-style-type: none"> ● 走行中の瞬間燃費を表示します。 	-
	平均燃費	<ul style="list-style-type: none"> ● リセットしてからの平均燃費を表示します。 ● 表示は30秒ごとに更新されます。 ● リセットするときは、この画面を表示中に、<input type="checkbox"/>スイッチを約1秒以上押します。リセット後、約500m走行するまでは、「---」が表示されます。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 平均燃費を表示しているときに、<input type="checkbox"/>スイッチを約3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、走行時間が同時にリセットされます。
	航続可能距離	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の燃料残量と平均燃費から走行可能な距離を表示します。 ● 航続可能距離が少なくなったとき（燃料残量が少なくなったとき）は、表示が点滅します。 ● 燃料残量がさらに少なくなると、「----」に変化します。 ● 表示は30秒ごとに更新されます。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 補給した燃料が少量の場合は、電源ポジションをOFFにする直前の表示が表示され続けることがあります。 ● 坂道やカーブなどを走行すると、燃料タンク内の燃料が移動し、一時的に表示が変化することがあります。
	平均車速	<ul style="list-style-type: none"> ● リセットしてからの平均車速を表示します。 ● リセットするときは、この画面を表示中に、<input type="checkbox"/>スイッチを1秒以上押します。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 平均車速を表示しているときに、<input type="checkbox"/>スイッチを約3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、走行時間が同時にリセットされます。

画面表示	名称	概要	詳細説明
	走行時間	<ul style="list-style-type: none"> リセットしてからの走行時間を表示します。 リセットするときは、この画面を表示中に、<input type="checkbox"/> スイッチを1秒以上押します。 	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行時間を表示しているときに、<input type="checkbox"/> スイッチを約3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、走行時間が同時にリセットされます。

表示項目 (メータータイプ[ⓑ])

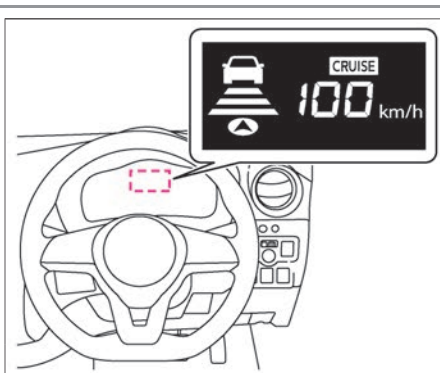
画面表示	名称	概要	詳細説明
	オドメーター	<ul style="list-style-type: none"> 総走行距離をkmで表示します。 	<p> オドメーター (積算距離計) / トリップメーター (区間距離計) (P.64)</p>
	トリップメーター A / B	<ul style="list-style-type: none"> リセットしてからの走行距離をkmで表示します。 	<p> オドメーター (積算距離計) / トリップメーター (区間距離計) (P.64)</p> <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> トリップメーター B が表示されているときに、モード切り替えスイッチを約3秒以上押すと、平均燃費、トリップメーター B が同時にリセットされます。
	瞬間燃費	<ul style="list-style-type: none"> 走行中の瞬間燃費を表示します。 	-

画面表示	名称	概要	詳細説明
	平均燃費	<ul style="list-style-type: none"> リセットしてからの平均燃費を表示します。 表示は30秒ごとに更新されます。 リセットするときは、この画面を表示中に、モード切り替えスイッチを約1秒以上押します。 リセット後、約500m走行するまでは、「---」が表示されます。 	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均燃費を表示しているときに、モード切り替えスイッチを約3秒以上押すと、平均燃費、トリップメーターが同時にリセットされます。
	航続可能距離	<ul style="list-style-type: none"> 現在の燃料残量と平均燃費から走行可能な距離を表示します。 航続可能距離が少なくなったとき（燃料残量が少なくなったとき）は、表示が点滅します。 燃料残量がさらに少なくなると、「---」に変化します。 表示は30秒ごとに更新されます。 	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 補給した燃料が少量の場合は、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする直前の表示が表示され続けることがあります。 坂道やカーブなどを走行すると、燃料タンク内の燃料が移動し、一時的に表示が変化することがあります。
	外気温★	<ul style="list-style-type: none"> 外気温を表示します。 	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 外気温が3℃以下になると、「℃」を点滅させて運転者に知らせます。 点滅表示は、約1分経過するか外気温が4℃以上になると点灯表示になります。
	時計調整モード	<ul style="list-style-type: none"> 時計表示が点滅し、時刻を設定できるモードになります。 	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 時計の調整については、時刻の設定（メータータイプ）（ P.67）をお読みください。

インテリジェント クルーズコントロール表示

- インテリジェント クルーズコントロールをONにすると表示します。

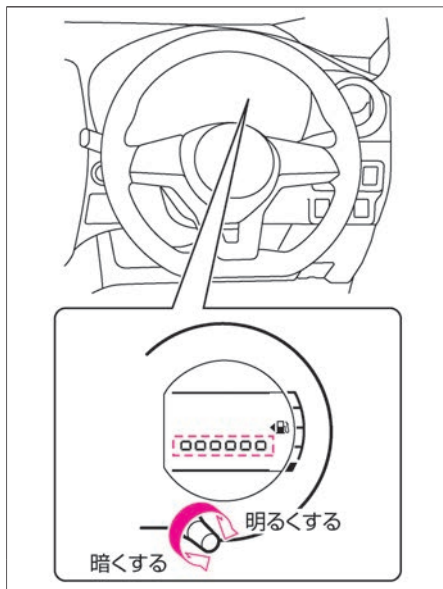
インテリジェント クルーズコントロールについては、(➡P.220)をお読みください。



メーターの明るさの調節のしかた (メータータイプA)

電源ポジションがONのときに、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを左右に回して調節します。
- 右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。
- 明るさのレベル表示は、メーター内のディスプレイに表示されます。



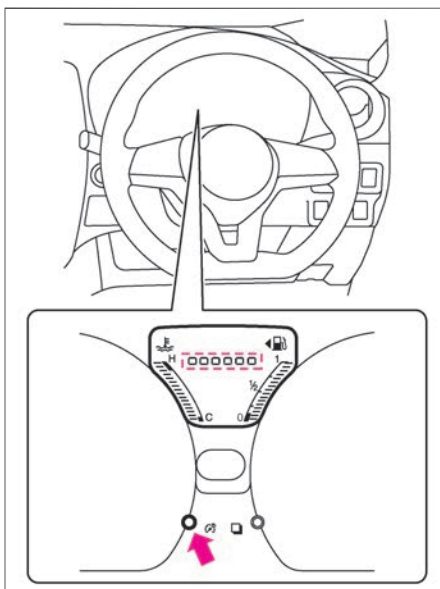
知識

- 明るさのレベルが最大または最小に達すると、音が鳴ります。
- バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

メーターの明るさの調節のしかた (メータータイプB)

キースイッチ (電源ポジション) がONのときに、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押すごとに暗くなります。
- 明るさのレベル表示は、メーター内のディスプレイに表示されます。



知識

- 明るさのレベルが最小に達すると、音が鳴り、最大に戻ります。
- バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

各部の操作

キー

キー (インテリジェントキー) ★	P.90
キー (インテリジェントキー) ★に関する注意事項	P.93
キー (リモートコントロールエントリーシステム) ★	P.96
キー (リモートコントロールエントリーシステム) ★に関する注意事項	P.98

ドアの施錠と解錠

ドア	P.99
バックドア	P.107

シートの調節

前席シート	P.112
後席シート	P.118

ハンドルの調節

ハンドル	P.123
------	-------

ミラーの調節

ルームミラー★	P.124
インテリジェント ルームミラー (インテリジェント アラウンドビュー モニター表示機能付) ★	P.125
ドアミラー	P.134

窓ガラスの開閉

パワーウインドー	P.138
----------	-------

燃料補給口の開閉

燃料補給口	P.141
-------	-------

エアコンの操作

オートエアコン★	P.144
マニュアルエアコン★	P.147
吹き出し口	P.149
エアコンを使うときに注意すること	P.150

オーディオ

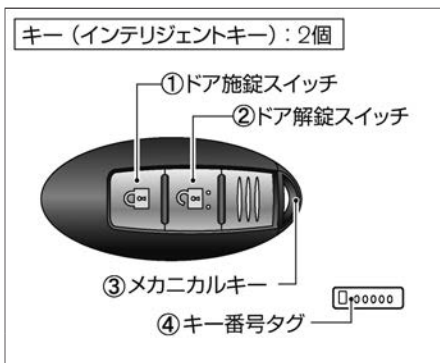
オーディオの使いかた★	P.154
ステアリングスイッチ★	P.158

キー (インテリジェントキー) ★

キーを携帯するだけでドアの施錠・解錠およびエンジン始動操作ができます。
 ドアの施錠・解錠のしかたは (➡ P.99)、始動操作は (➡ P.160) をお読みください。

各部名称と機能

- ① **ドア施錠スイッチ**
 スイッチを押すと、全ドアが施錠されます。
- ② **ドア解錠スイッチ**
 スイッチを押すと、全ドアが解錠されます。
- ③ **内蔵キー (メカニカルキー)**
 キーの電池が切れたときや、バッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
- ➡ **メカニカルキーでのドアの開けかた (P.349)**
- ④ **キー番号タグ**
 キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。



知識

- キーは2個ついています。
- キーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- キーの電池が切れても、ドアの施錠・解錠やエンジンの始動を行うことができます。
 - ➡ **ドアが開かないときは (P.349)**
 - ➡ **インテリジェントキーで始動できないときは★ (P.351)**
- インテリジェントキー機能のON・OFFを切り替えることができます。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

■ キー（インテリジェントキー）に関する機能について

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
アンサーバック機能のブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

キー連動室内照明システム

- ドアを解錠すると、室内照明（ラゲッジルームランプを除く）が約15秒間点灯します。
詳しくは、室内灯（➡ p.316）をお読みください。

オートロック機能

- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

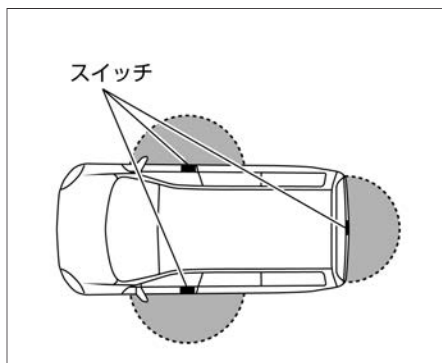
次ページに続く

ドアの施錠・解錠の作動範囲

作動範囲は各ドアハンドルのスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は各ドアハンドルのスイッチを中心に球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

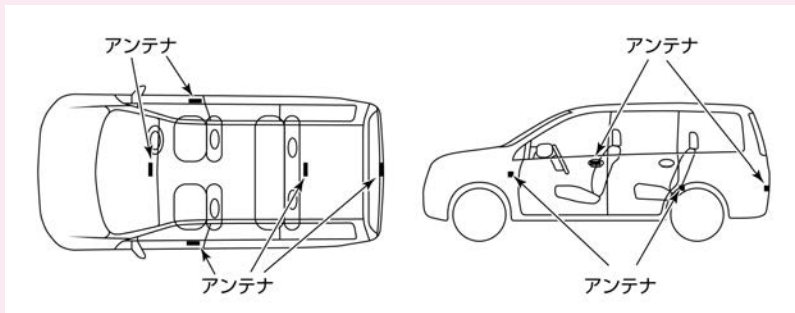
キーが作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアハンドルのスイッチを押して施錠・解錠できます。

- ドアハンドルのスイッチを押してドアを施錠したあとは、ドアが確実に施錠されていることを確認してください。
- ドアハンドルのスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ず電源ポジションをOFFにして施錠してください。




警告


- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、エンジン始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。
万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

 アドバイス

- キーは運転者が必ず携帯してください。
- キーは、必ず内蔵キー（メカニカルキー）を内蔵した状態で携帯してください。
- キーはドアポケットに入れなくてください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、ドアハンドルのスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。
 - － 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
 - － 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
 - － キーが金属製の物に接したり、覆われたりしているとき
 - － 近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
 - － キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
 - － コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
 - － 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
 - － 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - － 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）
 - － 日本国内のみで使用する

 アドバイス

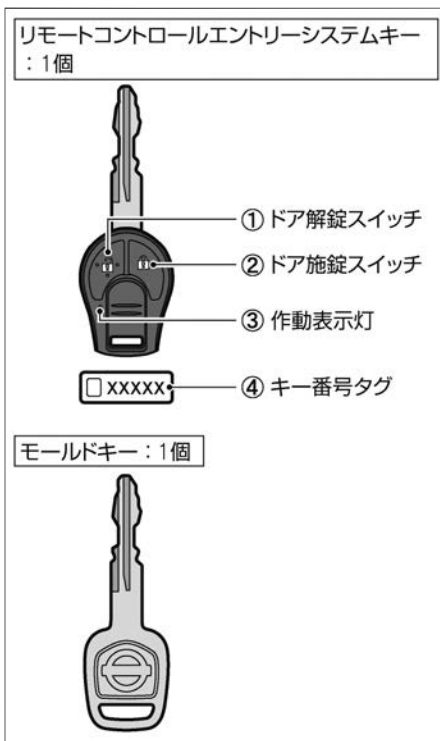
- キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。
- ➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換★ (P.425)
- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - － 長時間高温になる場所に置かない
 - － 分解しない
 - － 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
 - － 水にぬらさない
 - － 超音波洗浄器などにかけない
 - － 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
 - － テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない

キー（リモートコントロールエントリーシステム）★

キーは離れたところ（約1m）から全ドアの施錠・解錠ができます。

各部名称と機能

- ① **ドア解錠スイッチ**
スイッチを押すと、全ドアが解錠されます。
- ② **ドア施錠スイッチ**
スイッチを押すと、全ドアが施錠されます。
- ③ **作動表示灯**
スイッチを押すと点滅します。
- ④ **キー番号タグ**
キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。



知識

- キーは2個（リモートコントロールエントリーシステム1個とモールドキー1個）ついています。
- リモコンは同じ車両で最大5個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- 作動表示灯が点滅しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。
- ➡ **キー（リモートコントロールエントリーシステム）の電池交換★**
(P.426)

■ キー（リモートコントロールエントリーシステム）に関する機能について

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のための非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）

キー連動室内照明システム

- ドアを解錠すると、室内照明が約15秒間点灯します。
詳しくは、室内照明（🔍P.316）をお読みください。


オートロック機能

- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったとき、またはキースイッチにキーを差し込まなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

 警告

● 航空機内ではリモコンのスイッチを押さない。

万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

 アドバイス

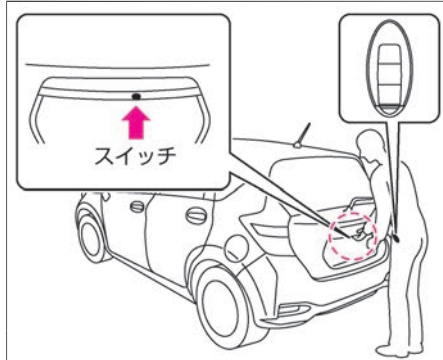
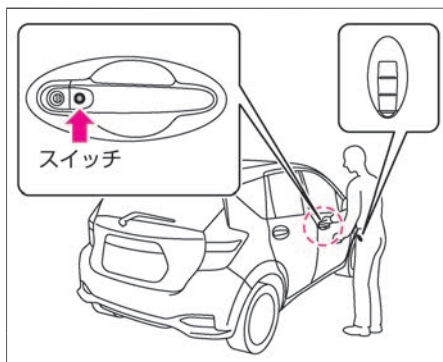
- 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。
- 極端に気温が低いとき、電池の性能が低下するため、システムが作動しない場合があります。
- リモコンは精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - － 長時間高温になる場所に置かない
 - － 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
 - － 水にぬらさない
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。

ドアハンドルのスイッチやキー（インテリジェントキー）のスイッチで施錠・解錠します。
 施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。

■ ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた（インテリジェントキー付車）

- キーを携帯し、運転席、助手席ドアまたはバックドアにあるスイッチを押すと全ドアが施錠・解錠します。
- キーが各スイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。
- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



🚗 アドバイス

- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれるため、施錠できないことがあります。

📖 知識

- ドアスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを切り替えることができます。設定を切り替えたいときは、日産販売会社にご相談ください。
- 次のような場合は、作動しません。
 - － 電源ポジションがONまたはACCのとき
 - － ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき（解錠のみできます）
 - － キーが施錠・解錠の作動範囲内にないとき
 - － 携帯しているキー以外に自車のキーが車室内にあるとき（解錠のみできます）
 - － キーの電池が切れているとき

オートロック機能



- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能

次ページに続く

 知識

です。ドアハンドルのスイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

キーのスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 全ドアを施錠するときは、ドア施錠スイッチ  を押します。
- 全ドアを解錠するときは、ドア解錠スイッチ  を押します。
- 作動範囲は、車両から約1mです。

インテリジェントキー付車

- 施錠・解錠をしたときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

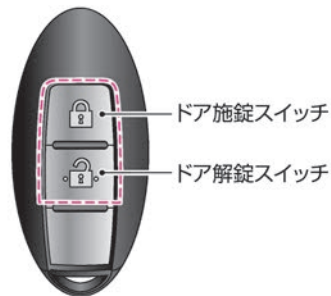
	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ビピッ	2回点滅

リモートコントロールエントリーシステム付車

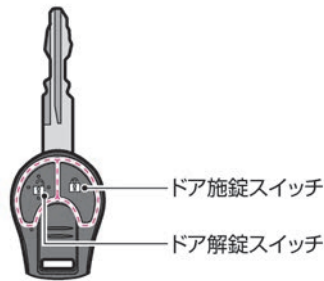
- 施錠・解錠をしたときは、非常点滅表示灯が次のように作動します。

	非常点滅表示灯
施錠	1回点滅
解錠	2回点滅

インテリジェントキー



リモートコントロールエントリーシステム



知識

- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
- ➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換★(P.425)
- ➡ キー（リモートコントロールエントリーシステム）の電池交換★(P.426)
- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。（インテリジェントキー付車）
- ➡ メカニカルキーでのドアの開けかた(P.349)
- 次のような場合は、キーのスイッチを押しても作動しません。
 - － 電源ポジションがACCまたはONのとき（インテリジェントキー付車）
 - － キーをキースイッチに差し込んでいるとき（リモートコントロールエントリーシステム付車）
 - － ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき（解錠のみできます）
 - － 車から離れすぎているとき

次ページに続く



 知識

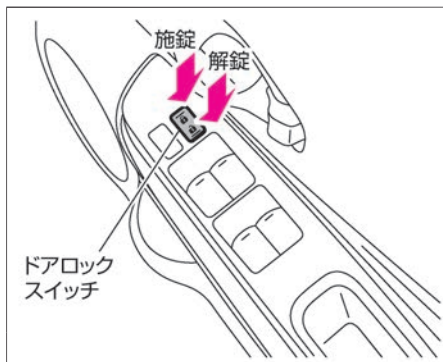
— キーの電池が切れているとき

オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドア解錠スイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

■ ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、ドアロックスイッチを施錠側  に押します。
- 解錠するときは、ドアロックスイッチを解錠側  に押します。

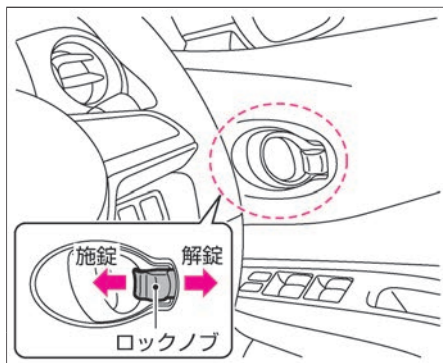


知識

- ドアロックスイッチを押すと、全ドアが施錠または解錠します。

■ ロックノブでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを施錠側に押し込みます。
- 解錠するときは、解錠するドアのロックノブを解錠側に引きます。



知識

- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

次ページに続く

■ キーを使用しない施錠のしかた

前席ドア

- ロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

後席ドア

- ロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。

知識

- 次の場合は、運転席ロックノブまたはドアロックスイッチで施錠できません。
 - － 運転席ドアが開いていて、キースイッチにキーが差し込まれているとき（リモートコントロールエントリーシステム付車）
 - － キーが車室内にあるとき（インテリジェントキー付車）

キー封じ込み防止機能（インテリジェントキー付車）

- キーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。ドアを閉めたときや施錠しようとしたときに、キーが車室内に残っているとブザーでお知らせし、全ドアを自動的に解錠します。

チャイルドセーフティドアロック

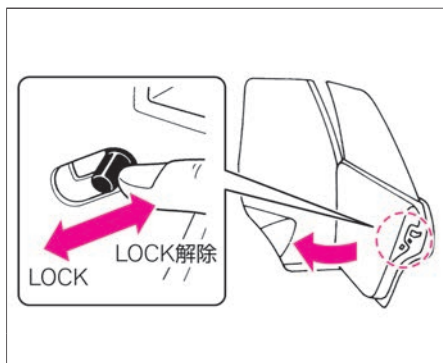
後席シートに乗せたお子さまなどが、誤って後席のドアを開けないようにロックできます。

ロックするには

- 後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

ドアを開けるには

- 解錠しているとき、車外からドアハンドルを引きます。



知識

- 車室内から開けるときは、ドアロックノブが解錠していることを確認し、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

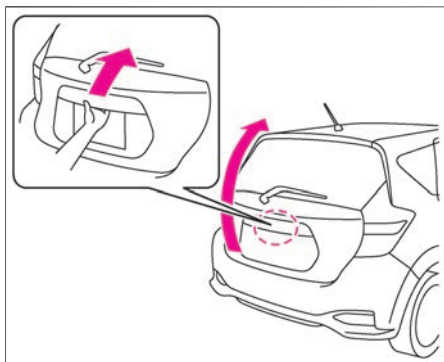
ドアに関する注意事項

警告

- **ドアの開閉はお子さまにはさせない。**
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。**
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- **走行する前にドアを確実に閉める。**
走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

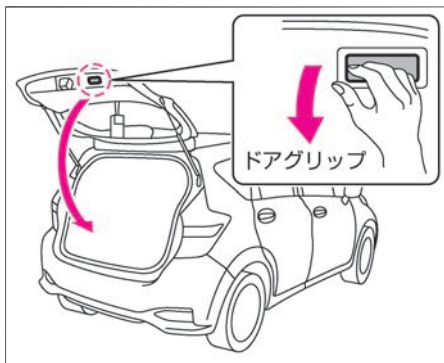
バックドアの開けかた

- 解錠後、バックドアハンドルを引き、バックドアを持ち上げます。



バックドアの閉めかた

- ドアグリップに手を掛け、バックドアを降ろし確実にロックするまで押しつけます。



アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。




バックドアに関する注意事項

警告

- **バックドアの開閉はお子さまにはさせない。**
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。**
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- **走行する前にバックドアを確実に閉める。**
走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。**
急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **走行前にバックドアが確実に閉まっていることを確認する。**
バックドアを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

次ページに続く

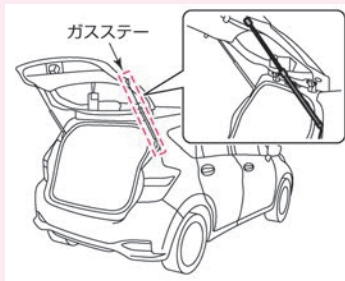
 注意

- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。必ず外から押して閉めてください。
- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。
重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、必ず全開にする。
途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。
風にあおられ、急に閉まることがあります。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

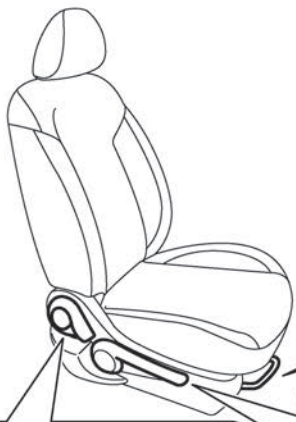
バックドアガスステーについて

- バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。
 - ー ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
 - ー ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない
- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。
手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

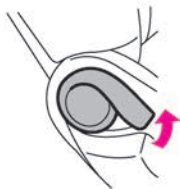
⚠ 注意



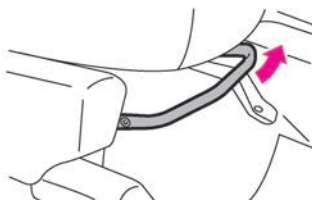
シートの調節のしかた (タイプA)



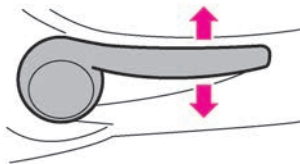
- 背もたれの角度調節 (リクライニング)
● レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。



- 前後位置の調節 (スライド)
● レバーを引いたまま調節したい方向にシートを動かします。



- 上下位置の調節 (運転席／リフター)★
● 引き上げると高くなります。
● 押し下げると低くなります。



警告

- シートは必ず走行前に調節する。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けのおそれがあります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。

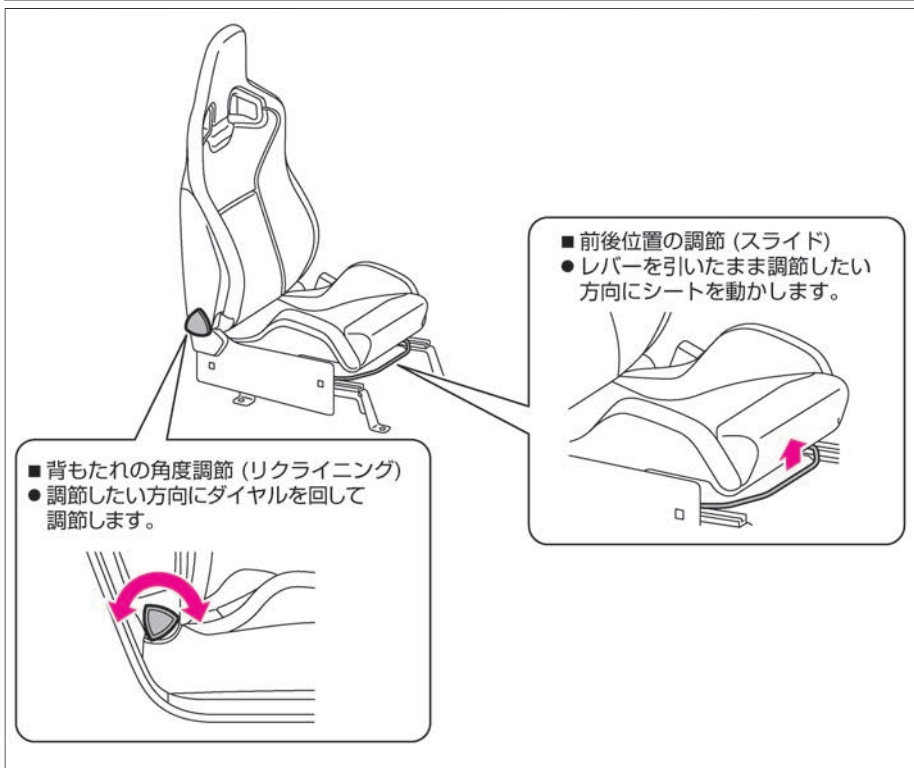
 **注意**

顔や身体にあたり、思わぬケガをするおそれがあります。

- シートの下に手を入れるときは注意する。

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。

シートの調節のしかた (タイプB)



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。
車室内を清掃するときやシートの下に

注意

落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。

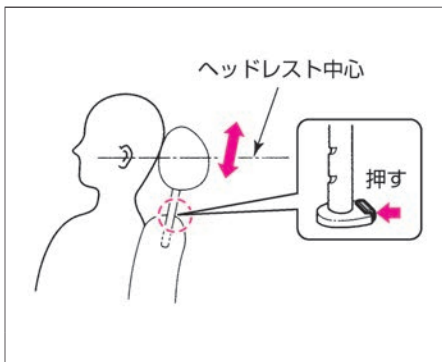
知識

- 背もたれの角度調節ダイヤルが回しづらいときは、安全な場所に駐車し、ドアを開けたり一旦車両から降りたりして調節してください。

ヘッドレストの調節のしかた★

ヘッドレストの中心が、耳の高さになる位置に調節します。

- 高くするときには、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするときには、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外したまま走行しない。
万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

■ アームレストの使いかた★

- 使うときはアームレストを前に倒します。格納するときには引き上げます。



シートの調節のしかた

- 背もたれの倒しかた
- ノブを引きながら、背もたれを前方に倒します。



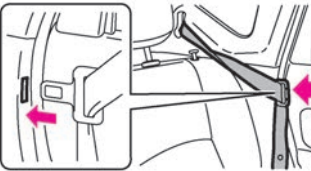
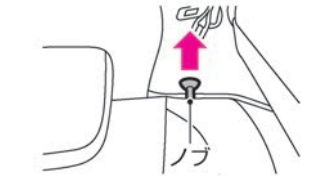
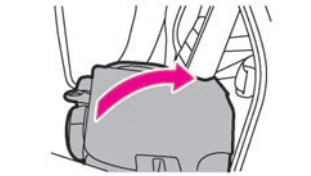
⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。挟まれてケガをするおそれがあります。

シートの折りたたみかた

1	<p>後席左右のシートベルトは、後席シート脇のシートベルト差し込み用の穴にシートベルトのタングを差し込んで固定します。後席中央のシートベルトは、中央席シートベルト格納位置に格納します。(➡P.28)</p>	
2	<p>ノブを引きながら、背もたれを前に倒します。ベンチタイプ付車は、左右のノブを同時に引きます。6：4分割付車は、折りたたみたいシートのノブを引きます。</p>	
3	<p>元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。</p>	

⚠ 警告

- シートは必ず固定する位置で使用する。


⚠ 注意

- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

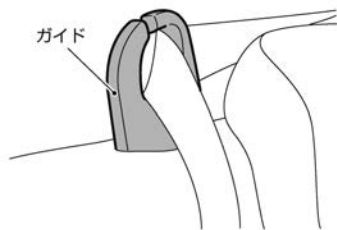
🚗 アドバイス

- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたむと、物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。シートを倒すときは十分に注意してください。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意してください。
- 後席中央のシートベルトをガイドからはずしたときは、次のことを守ってください。

次ページに続く

 アドバイス

- 後席シートの背もたれを元の位置に戻したあと、シートベルトをガイドに通す。
- 背もたれを操作するときは、シートベルトに傷をつけないように注意する。



- 前席シートに当たりシートが折りたためないときは、ヘッドレストを格納するか、前席シートの前後位置を調節してください。

ヘッドレストの使いかた

- ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。
 - － 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
 - － 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 脱着のしかたは、前席シートと同じです。
 - ➡ ヘッドレストの外しかた、付けかた (P.116)

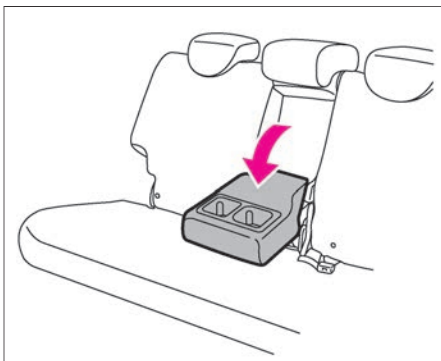


アドバイス

- 後席シートのヘッドレストは、格納状態では機能が十分に発揮できません。ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してください。

■ アームレストの使いかた★

- アームレストを前に倒します。
- 元に戻すときは、アームレストを起こします。



📖 知識

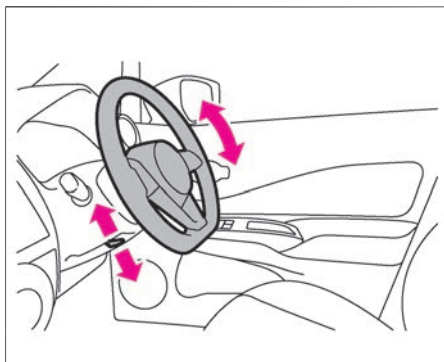
- リヤアームレストには、カップホルダーがあります。
➡ 後席用カップホルダー★について (P.320)

ハンドルの調節 ハンドル

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節します。

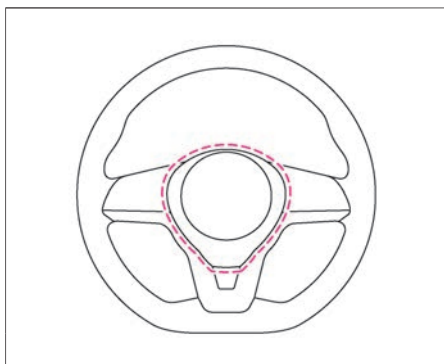
ハンドル位置の調節のしかた

- ハンドル下のレバーを押し下げ、ハンドルを上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。



ホーンの鳴らしかた

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。



警告

- **ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。**
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。**
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルームミラーは、後方が十分確認できるように、正しい運転姿勢で座ってから調節します。

ルームミラーの調節のしかた

- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。
- 夜間など後続車のヘッドランプが眩しいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。
- 昼間など通常走行時は、防眩切り替えレバーを元の位置に戻してお使いください。



警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。また、防眩への切り替えは必要なおとのみ行う。
走行中にミラーを調節したり、不必要に防眩へ切り替えたりしていると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

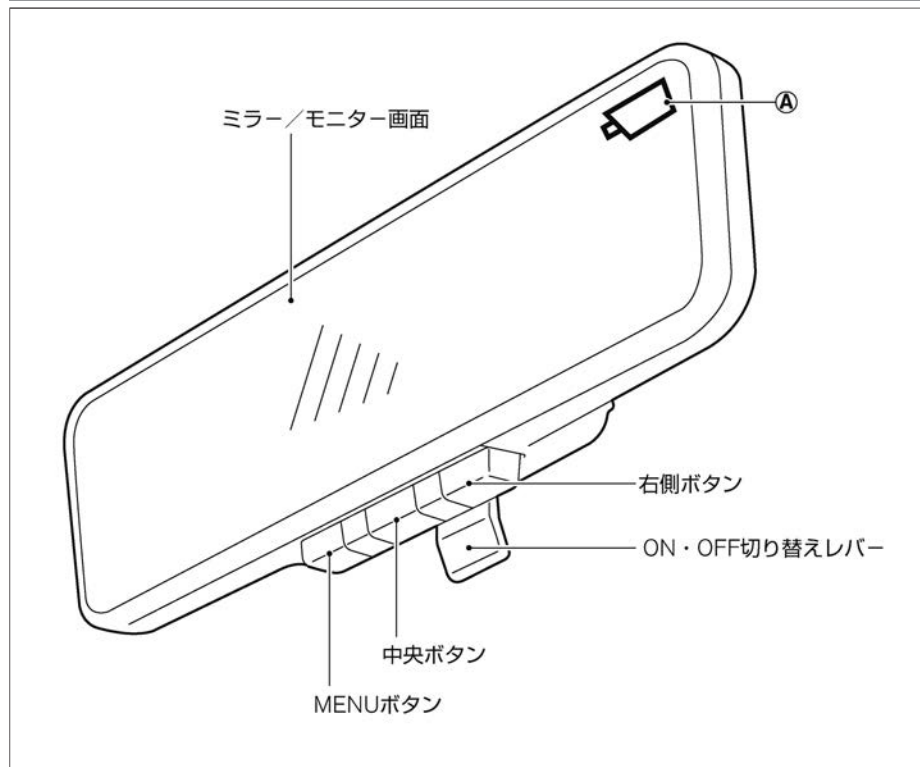
- ルームミラーのまわりに無線機やアクセサリなどを取り付けたり、配線から電源を取ったりしないでください。リモートコントロールエントリーシステムまたはインテリジェントキーの電波受信機が内蔵されているため、ドアの施錠・解錠が正常に作動しなくなるおそれがあります。また、インテリジェントキー付車は、インテリジェントキー機能によるエンジンの始動などができなくなるおそれがあります。

インテリジェント ルームミラー (インテリジェント アラウンドビューモニター表示機能付) ☆

乗員、ヘッドレスト、積載物などでさえぎられがちなルームミラーの後方視界をクリアに保ちます。車内の状況に関わらず、車両後方にあるカメラの画像をルームミラーに映し出します。ON・OFF切り替えレバーでミラー状態とモニター表示状態を切り替えることができます。

インテリジェントルームミラーモードのとき、インテリジェントアラウンドビューモニター (P.290) を表示させることができます。

インテリジェントルームミラーの使いかた



⚠ 注意

- 走行前に、ルームミラーの調節を必ず行う。
ルームミラーモード (ミラー状態) にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、インテリジェントルームミラーモード (モニター表示状態) にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。

📖 知識

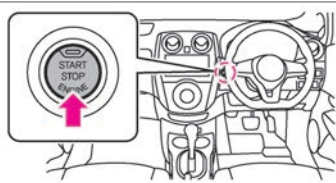
ルームミラーモード

- ミラーとして使用します。

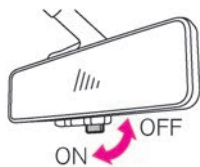
インテリジェントルームミラーモード

- モニターとして使用します。
(インテリジェントルームミラーモードのときは、①が表示されます。)

1 電源ポジションをONにします。



2 インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引きます。



3 インテリジェント ルームミラーモードに切り替わり、モニターに車両後方の画像が表示されます。
インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、モニター画面がOFFになり、ルームミラーモードとして使用できます。

知識

- 周囲の明るさにより見づらかったり、眩しく感じたときはインテリジェント ルームミラーモードをOFFにし、ルームミラーモードでご使用ください。
- 電源ポジションがONのときに中央ボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面が表示されます。
- ➡ インテリジェント アラウンドビューモニター (移動物 検知機能付) ★ (P.290)

インテリジェント ルームミラーの画質調節

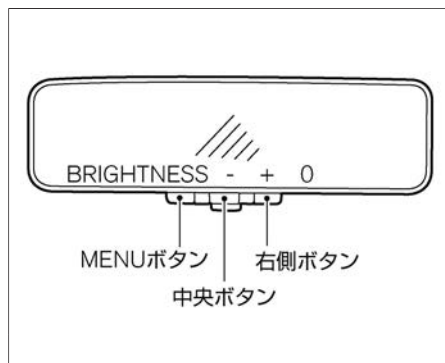
インテリジェント ルームミラーモードで、インテリジェント アラウンドビューモニター画面を表示していないときにMENUボタンを押すと、モニター画像の各種調節ができます。MENUボタンを押すごとに調節項目が切り替わります。

MENU (通常画面) ⇒ BRIGHTNESS (明るさ) ⇒ DOWN/UP (上下) ⇒ LEFT/RIGHT (左右) ⇒ ROTATION (回転) ⇒ INDICATION (モニター文字表示、非表示の切り替え) ⇒ CAMERA WINDOW (インテリジェント アラウンドビューモニター画面の表示位置切り替え) ⇒ MENU (通常画面)

明るさ調節のしかた

MENUボタンを1回押すと、明るさ調節 (BRIGHTNESS) モードになります。

- 中央ボタンを押すと、画面が暗くなります。
- 右側ボタンを押すと、画面が明るくなります。
- 調節幅：-8 (暗い) ~+8 (明るい)



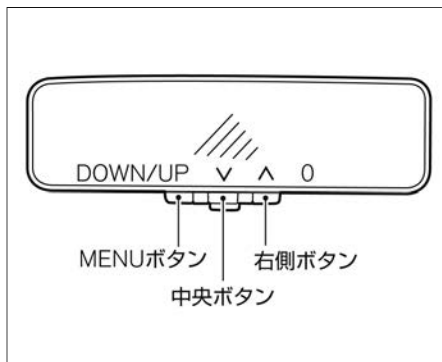
知識

- MENUボタンで画質調節の項目を切り替えるときは、前の項目で調節したあと、5秒以内にボタンを押して切り替えてください。

■ 画面の上下位置調節のしかた

MENUボタンを2回押すと、画像位置の上下調節（DOWN/UP）モードになります。

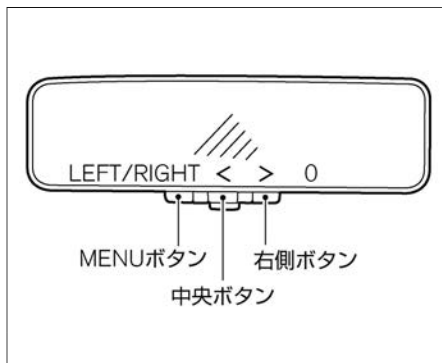
- 中央ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が上に移動します。
- 調節幅：-4（下方向）～+4（上方向）



■ 画面の左右位置調節のしかた

MENUボタンを3回押すと、画像位置の左右調節（LEFT/RIGHT）モードになります。

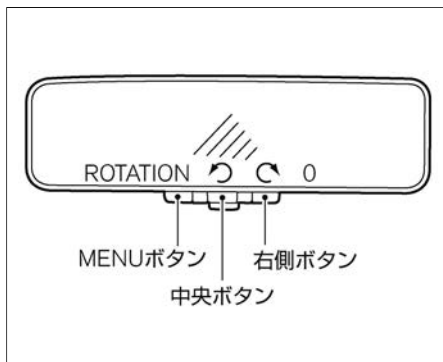
- 中央ボタンを押すと、画像が左に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に移動します。
- 調節幅：-4（左）～+4（右）



■ 画面の回転位置調節のしかた

MENUボタンを4回押すと、画像位置の回転調節 (ROTATION) モードになります。

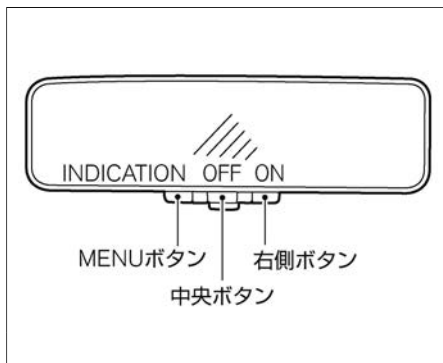
- 中央ボタンを押すと、画像が左に回転します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に回転します。
- 調節幅：-8 (左回り) ~+8 (右回り)



■ モニター文字表示のON・OFFのしかた

MENUボタンを5回押すと、モニター文字表示、非表示を切り替える (INDICATION) モードになります。

- 中央ボタンを押すと、モニター文字表示が非表示になります。
- 右側ボタンを押すと、モニター文字表示が表示されます。

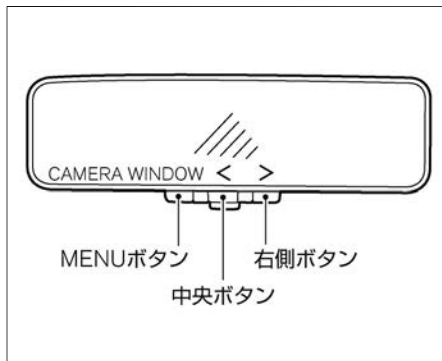


■ インテリジェント アラウンドビューモニター画面位置の切り替えかた



MENUボタンを6回押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面の表示位置を切り替える (CAMERA WINDOW) モードになります。



- 中央ボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面がミラーの左側表示になります。
- 右側ボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面がミラーの右側表示になります。

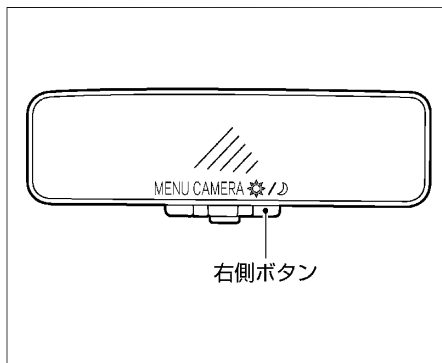
もう一回MENUボタンを押す (通常画面から7回) と、通常画面に戻ります。



■ 夜モードと昼モードの切り替えかた

車幅灯、またはヘッドランプを点灯させると、自動でモニターが夜モード  になります。夜モード  ではモニター画面の明るさを弱め、眩しさを軽減します。

日中や薄暮時、ヘッドランプを点灯させたときでも、夜モード  にしたくないときは、右側ボタンを押すと昼モード  になります。



インテリジェント ルームミラー使用時の注意事項


⚠ 警告

- **あらかじめ死角範囲を確認する。**
インテリジェント ルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- **ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしない。**
異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し日産販売会社にご相談ください。
- **走行中に操作しない。**
走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけない。**
破損や車両火災の原因となります。


⚠ 注意

- **インテリジェント ルームミラーが故障したときは、すぐにルームミラーモードに戻す。**
- **モニターを凝視しない。**
 - 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- **太陽や後方車両のヘッドランプなどの強い光源がカメラに入ると、インテリジェント ルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。**

次ページに続く

 アドバイス

- エンジンが停止している間にインテリジェント ルームミラーを長時間使用するとバッテリーがあがるおそれがあります。
- 無線機のアンテナをインテリジェント ルームミラー近くに取り付けしないでください。無線機の電波により、インテリジェント ルームミラーの映像に乱れが出ることがあります。
- ボタンを強く押しすぎたり、レバーを強く操作したりすると故障の原因となります。また、ミラー本体が落下するおそれがあります。
- ミラーを90度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。
- ミラー本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 車両後方についているカメラやカメラカバーに無理な力をかけないでください。カメラが外れたり、故障するおそれがあります。
- 外部光による影響でモニターが見えにくいときは、ルームミラーモード（ミラー状態）にして使用してください。
- LED光源を使用した照明の一部が映った場合、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 外部環境の乱反射により、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 素早い動きにはモニター表示が追従できない場合がありますが、故障ではありません。
- 夕暮れ時やトンネル、立体駐車場などではヘッドランプを点灯してください。ヘッドランプを点灯すると、モニターおよびカメラシステムが夜モードになり、眩惑を防ぎます。
- ルームミラーとは後方の見えかたが異なります。インテリジェント ルームミラーの機能を過信せず、直接後方を確認するなど、責任のある運転を心掛けてください。

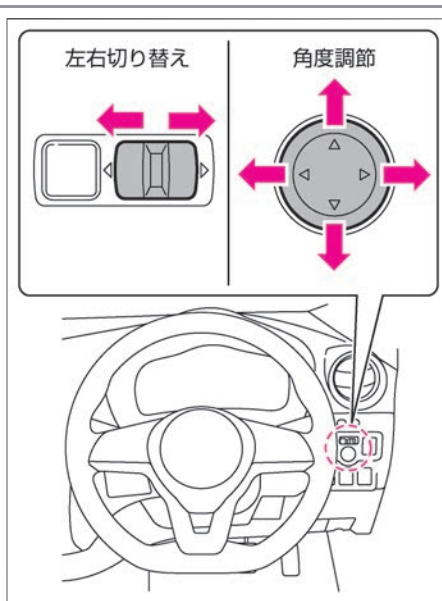
 アドバイス

- モニターの明るさを明るく調節し過ぎると、運転中に目が疲れることがあります。明るさを適切に調節してください。
- 雨天時はリヤワイパーを併用してください。リヤワイパーを併用してもカメラ映像が不鮮明の場合、リヤワイパーゴムの劣化を確認してください。
- リヤワイパー使用中は、カメラ前をリヤワイパーが通過した際に、画面がちらつくように見える場合がありますが、故障ではありません。
- カメラ映像が不鮮明な場合は、インテリジェント ルームミラーカメラ前面のバックドアガラスを清掃してください。清掃してもカメラ映像が不鮮明な場合は、ガラス面に油膜が付いているおそれがあります。油膜取りを使用して清掃してください。
 ➡ [外観リヤ \(P.3\)](#)
 ➡ [インテリジェント ルームミラーのお手入れ★ \(P.445\)](#)
- バックドアガラスがくもった場合は、リヤウインドーデフォグガーを使用し、バックドアガラスのくもりを取ってください。くもりが完全に取れるまでルームミラーモードで使用してください。
- インテリジェント ルームミラーのモニターが熱を帯び、高温になることがありますが、故障ではありません。
- 遠いものや暗いときは色が認識しにくいことがありますが、故障ではありません。
- インテリジェント ルームミラーのお手入れについては (➡ P.445) をお読みください。

キースイッチ（電源ポジション）がONまたはACCのときに操作できます。

ドアミラーの角度調節のしかた

- 左右切り替えスイッチを、調節したいミラーの方に動かします。
- 角度調節スイッチを上下左右に押して、鏡面角度を調節します。



警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

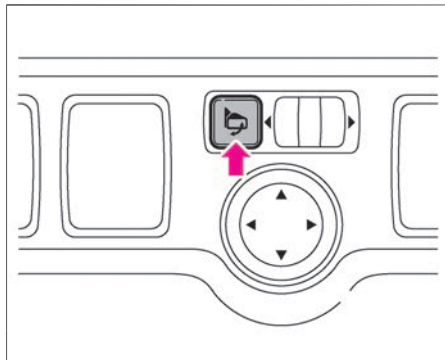
アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

ドアミラーの格納のしかた

■ 電動★

- スイッチを押すと、左右のミラーが格納します。
- スイッチをもう一度押すと、元の位置に戻ります。



⚠ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れない。
手を挟んだり、ミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。

🚗 アドバイス

- 手動でミラーを開閉しないでください。手動で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手動で開閉してしまったときは、走行前にスイッチで開閉操作を行ってください。

📖 知識

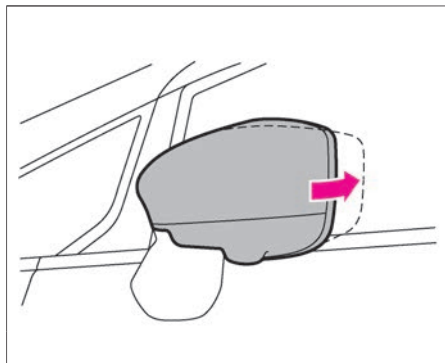
- スイッチ操作を連続して行くと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉すると、電源ポジション

 知識

をONまたはACCにしたときに、スイッチの位置によりミラーが動き出すことがあります。

■ 手動★

- ミラー本体の外端を車両後方側に押すと倒れます。



⚠ 注意

- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。

■ ドアミラーヒーターの使いかた★

- 電源ポジションがONのとき、リヤウインドーデフォグスイッチ (➡ P.374) を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき操作できます。

パワーウィンドーの開けかた、閉めかた

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチおよび後席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。

開けるには

- スイッチを軽く押すと、押しの間だけ開きます。

閉めるには

- スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

自動開閉するには

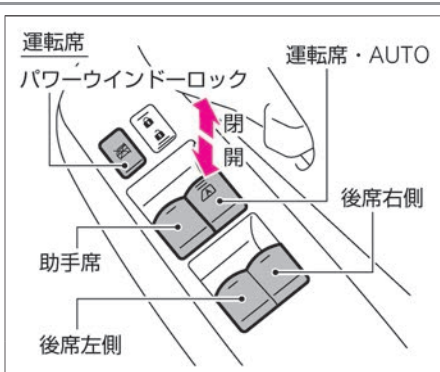
運転席の窓ガラスはワンタッチで自動開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

開閉操作をロックするには

おさまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

- パワーウィンドーロックスイッチを押し込むと、運転席以外の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すとロックが解除されます。



警告

- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。
 - － 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
 - － 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
 - － お子さまにはパワーウィンドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウィンドーロックスイッチを押し込んでください。
 - － 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。
 - － 車から離れるときはキースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、

 警告

キーとお子さまを車室内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスをワンタッチで閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。

正常に作動しないとき

運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構が正常に作動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

- ① エンジンを始動します。
- ② スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
- ③ スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
- ④ 正常に作動することを確認し、正常に作動しないときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

注意

- 指などを挟まれないように注意する。
窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

知識

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

アドバイス

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

燃料補給口は助手席側の車両後方にあります。

燃料の補給

燃料タンクの容量は約41ℓです。

エンジン型式	指定燃料
HR12DE	無鉛レギュラーガソリン
HR12DDR	
HR16DE	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン

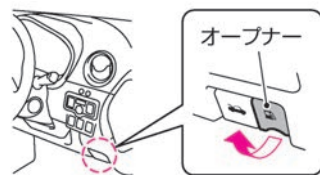


アドバイス

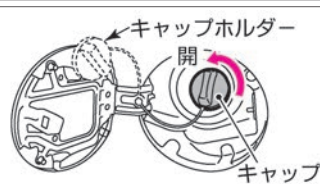
- 指定以外の燃料は補給しないでください。

開けかた、閉めかた

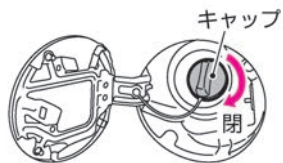
- 1 運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。



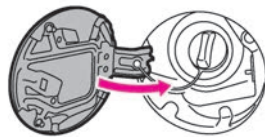
- 2 キャップを左にゆっくり回して開けます。補給時、キャップはリッドの裏側にあるキャップホルダーに置きます。



- 3 閉めるときは、キャップを“カチッ、カチッ”と、3回以上音がするまで右に回して閉めます。



- 4 リッドを閉めます。



警告

- キャップは確実に閉める。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しない。

燃料補給時の注意事項

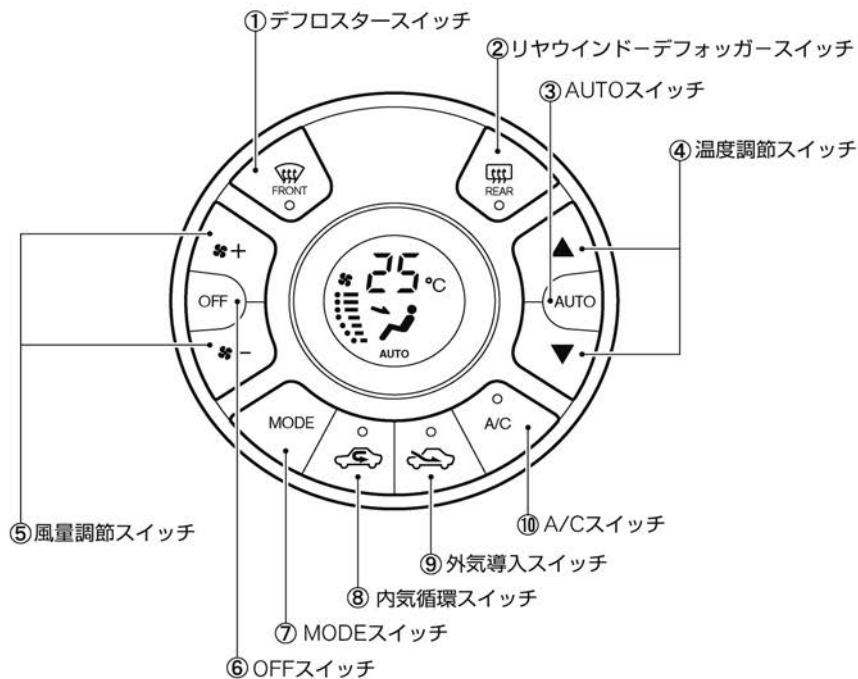
 警告

- 燃料補給時は、次のことを必ず守る。
 - － エンジンを止める
 - － 車のドアや窓を閉める
 - － タバコなどの火気を近づけない
 - － 気化した燃料を吸わない
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去する。
放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行う。
作業中に車室内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外す。
急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。
給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしない。
継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守る。

エアコンの操作 オートエアコン★

冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。

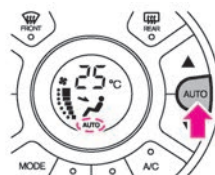
各スイッチの名称と機能



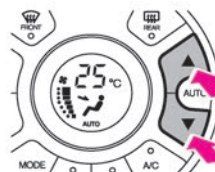
- ① **デフロスタースイッチ** (➡P.372)
フロントガラスのくもりを取ります。
- ② **リヤウインドーデフォグガースイッチ** (➡P.374)
バックドアガラスのくもりを取ります。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。
- ③ **AUTOスイッチ**
自動制御に切り替えます。冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。
- ④ **温度調節スイッチ**
設定温度を切り替えます。(18°C～32°C)
- ⑤ **風量調節スイッチ**
風量を切り替えます。
- ⑥ **OFFスイッチ**
オートエアコンの作動を停止します。
- ⑦ **MODEスイッチ** (➡P.149)
吹き出し口を切り替えます。
- ⑧ **内気循環スイッチ**
トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときに使います。
- ⑨ **外気導入スイッチ**
外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいときに使います。
- ⑩ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能のON・OFF を切り替えます。

オートでの使いかた

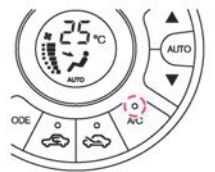
- 1** AUTOスイッチを押します。
(表示部に「AUTO」が表示される)



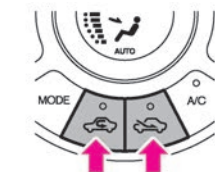
- 2** 温度調節スイッチを押して、設定温度を調節します。
 ▲ : 設定温度を上げる
 ▼ : 設定温度を下げる



- 3** A/Cスイッチの表示灯が消灯しているときは、A/Cスイッチを押します。(スイッチの表示灯が点灯)
A/Cスイッチ点灯時：冷房・除湿機能ON



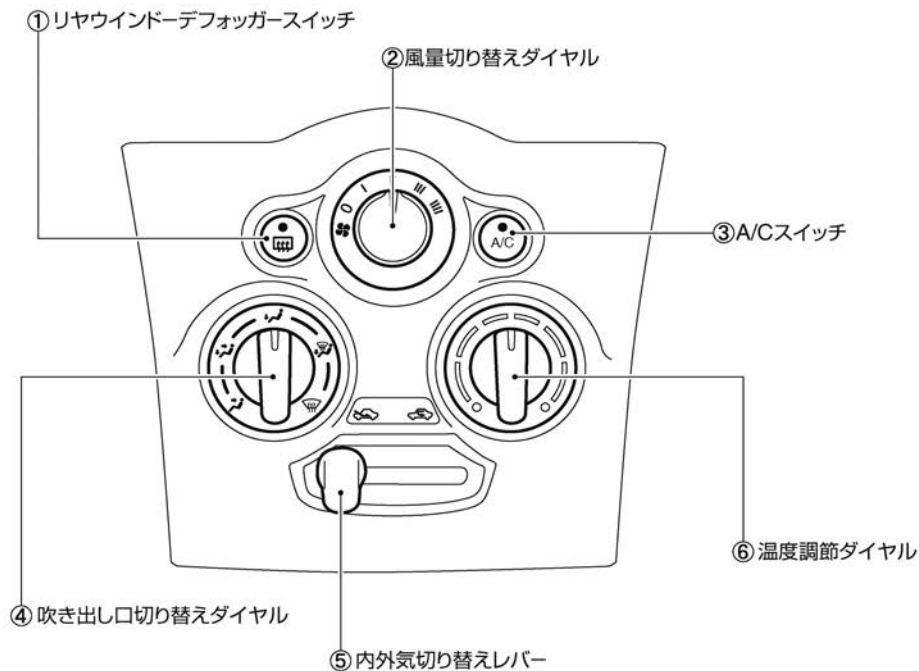
- 4** 外気導入スイッチまたは内気循環スイッチの表示灯が点灯している方のスイッチを約2秒間押します。
(表示灯が2回点滅し、自動制御になります。)



知識

- オートで使用中に、冷房、暖房の切り替え、風量、吹き出し口、内気／外気の切り替えをマニュアル操作したときは、操作したスイッチ以外は自動調節されます。

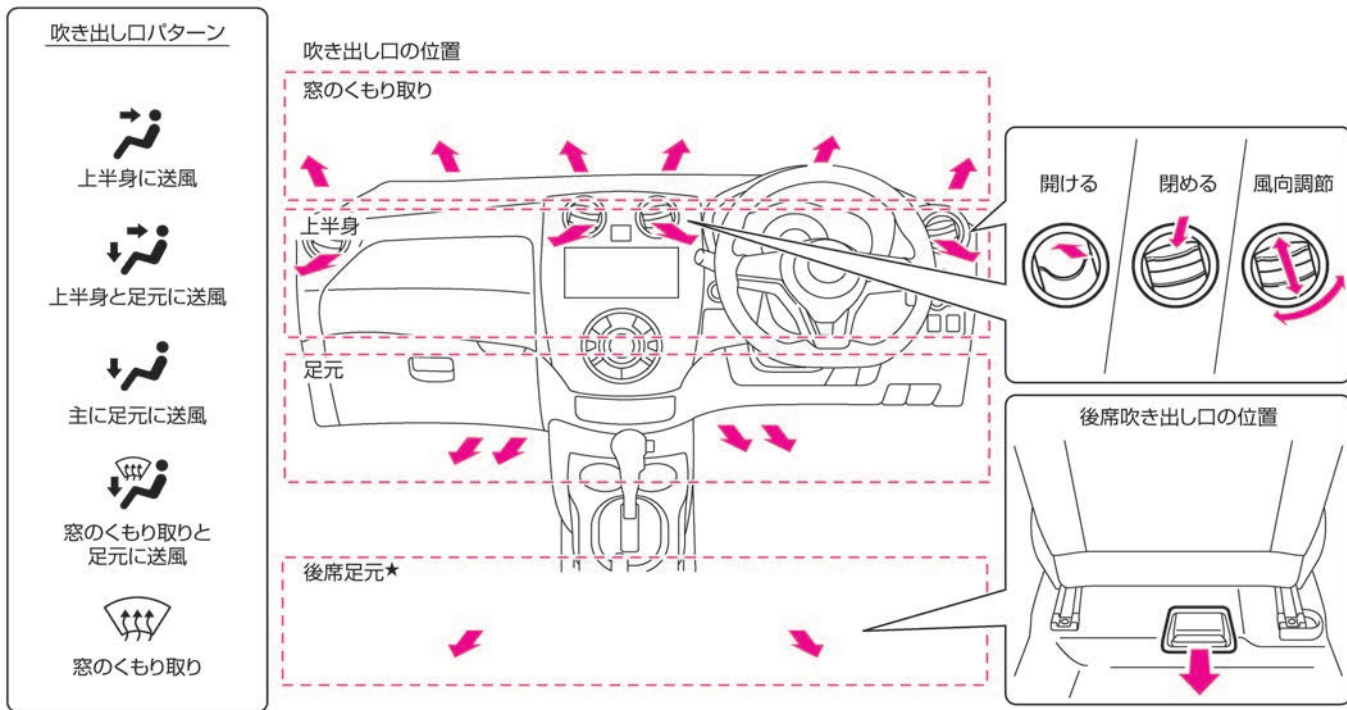
各スイッチの名称と機能



- ① **リヤウインドーデフォグガースイッチ (➡P.374)**
バックドアガラスのくもりを取ります。
- ② **風量切り替えダイヤル**
風量を切り替えます。
- ③ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能のON・OFFを切り替えます。
- ④ **吹き出し口切り替えダイヤル (➡P.149)**
吹き出し口を切り替えます。
- ⑤ **内外気切り替えレバー**
内気循環と外気導入を切り替えます。
- ⑥ **温度調節ダイヤル**
設定温度を切り替えます。

エアコンの操作 吹き出し口

オートエアコン付車は、MODEスイッチまたはデフロスタースイッチを押すごとに吹き出し口が切り替わります。
マニュアルエアコン付車は、吹き出し口切り替えダイヤルを回すと吹き出し口が切り替わります。



エアコンに関する注意事項

警告


- 内気循環で長時間使用しない。
窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険ですので、一時的にご使用ください。

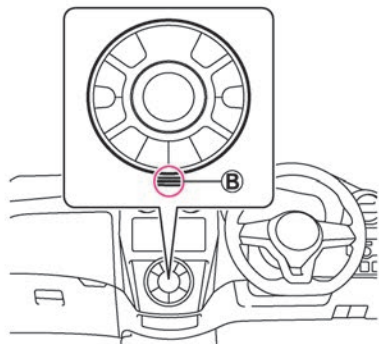
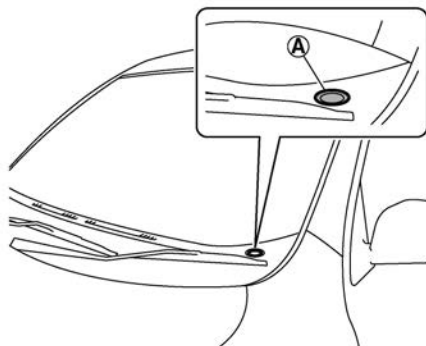
注意

- 吹き出し風を長時間連続して身体にあてない。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間あたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- デフロスタースイッチをONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- オートエアコン付車の自動温度調節は、日射センサー[Ⓐ]と温度センサー[Ⓑ]で行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

 アドバイス



次ページに続く

アドバイス

- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、クリーンフィルターは定期的に交換してください。
交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと
- クリーンフィルターが交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコンシステムのオイル循環を切らさないために、ときどきA/CスイッチをONにしてください。なお、外気温が0°C近くまで下がるとエアコンシステムが作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ずHFC134a（R134a）を入れてください。
- 地球温暖化防止のため、エアコンガスを大気放出しないでください。
- エアコンのシステムには特殊なオイルを使用しています。エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。

 知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が0°C近くまで下がると、A/Cスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エアコンがONのとき、またはOFFにした直後に、“カチカチ”、“シュー”、“コツン”などの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- 冷却水温と外気温が低いときは、足元からの送風機能が最長で150秒間は作動しないことがあります。水温が上昇すると、足元からの送風は正常に作動するようになります。（オートエアコン付車）
- エアコンの運転中または運転後などに車両の下に水が垂れることがあります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。（オートエアコン付車）

エアコンのにおいについて

- エアコンシステムは、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じる場合があります。
- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

安全運転のために

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお聞さください。

警告

- **走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。**
前方不注意となるおそれがあります。
- **音量を大きくしない。**
大きすぎると車外の状況が分からないため、思わぬ事故の原因となります。


ラジオの受信について

- ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。


知識

- オーディオを聞いているとき、車室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

■ アンテナについて★

 注意

- アンテナの調節や脱着時は、周囲の安全を十分に確認してから行う。

 アドバイス

- アンテナを調節するときや脱着するときは、アンテナの根元を持って行ってください。
- 次のような場合には、必ずアンテナを取り外してください。破損するおそれがあります。
 - － 洗車機を使うとき。
 - － ボディーカバーを掛けるとき。
 - － 降雪時に長時間駐車するとき。

 知識

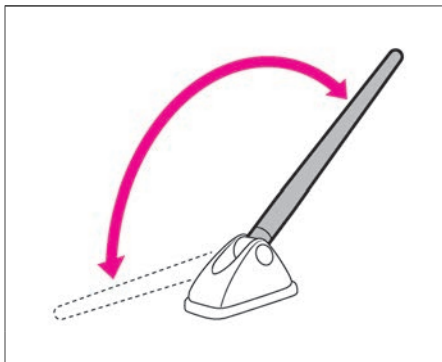
- 屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナが当たるような場所ではアンテナを倒してください。

調節のしかた

- アンテナの角度は無段階に調節できません。
- アンテナの根元を持って動かします。

外しかた

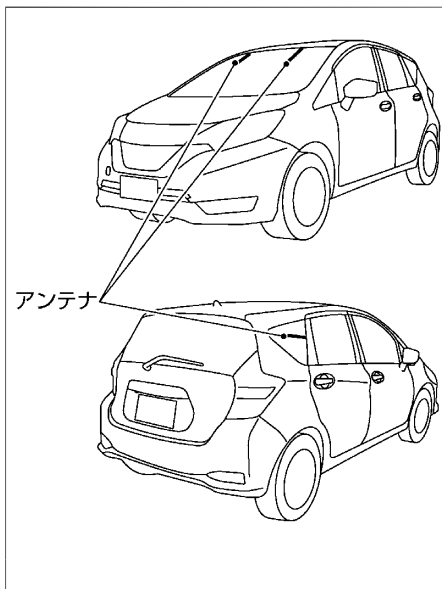
- アンテナの外しかたについては、
(➡P.433) をお読みください。

**アドバイス**

- アンテナが当たるような場所以外では倒したままにしないでください。車体に当たり、塗装面を傷つけるおそれがあります。

ガラスアンテナについて★

- アンテナ線はフロントガラス、リヤサイドガラスの内側にあります。



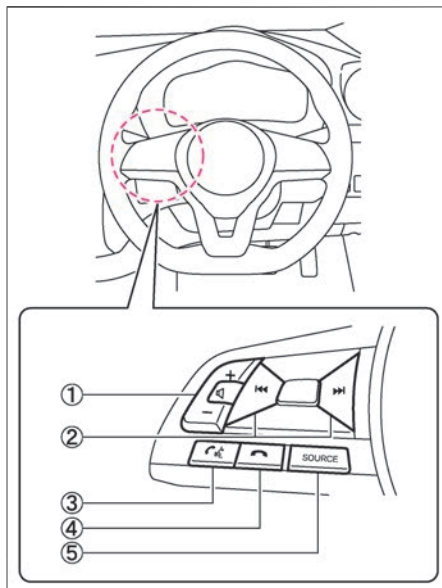
アドバイス

- フロントガラス、リヤサイドガラスにミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）が入るおそれがあります。
- フロントガラス、リヤサイドガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ステアリングスイッチ★

日産オリジナルナビゲーションシステムを操作することができます。

- ① **音量調節スイッチ**
音量を調節できます。
- ② **選曲／選局スイッチ**
曲や放送局などの切り替えができます。
- ③ **通話開始スイッチ**
着信中に押すと電話を受けます。
- ④ **通話終了スイッチ**
通話中に押すと電話を切ります。
- ⑤ **SOURCEスイッチ**
スイッチを押すたびにCDやFMなどの切り替えができます。


 知識

- 取り扱いについては、日産オリジナルナビゲーションシステム用取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。
- 日産純正品以外のナビゲーションシステムでは作動の保証はいたしません。

始動する

エンジンスイッチ (インテリジェントキー付車)	P.160
キースイッチ (リモートコントロールエントリーシステム付車)	P.167

運転する

セレクトレバー (オートマチック車)	P.172
シフトレバー (マニュアル車)	P.176
パーキングブレーキ	P.178
発進 (オートマチック車)	P.180
停車・駐車 (オートマチック車)	P.183

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ	P.185
ヘッドランプレベライザースイッチ (ハロゲンヘッドランプ付車)	P.193
フォグランプスイッチ★	P.195
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.197

運転支援機能

ECOモード★	P.201
アイドリングストップ★	P.204
ABS (アンチロックブレーキシステム)	P.211
VDC (ビークルダイナミクスコントロール)	P.212
ヒルスタートアシスト★	P.216
走行支援システム★	P.218
インテリジェント クルーズコントロール★	P.220
インテリジェント エマージェンシーブレーキ★	P.251
踏み間違い衝突防止アシスト★	P.260
LDW (車線逸脱警報) ★ / インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) ★	P.282

カメラ・ソナーシステム

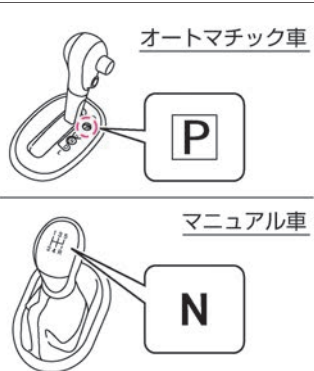
インテリジェント アラウンドビューモニター (移動物 検知機能付) ★	P.290
インテリジェント アラウンドビューモニターに関する 注意事項★	P.303
ソナーシステム★	P.313

エンジンの始動のしかた

- 1 アクセルペダル、ブレーキペダルおよびクラッチペダル（マニュアル車）の位置を確認し、正しい運転姿勢（➡P.16）がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。



- 2 **オートマチック車**
パーキングブレーキがかかっていることと、セレクトレバーが **P** に入っていることを確認します。
マニュアル車
パーキングブレーキがかかっていることと、シフトレバーが **N** であることを確認します。



⚠ 警告

- エンジンを始動する前にペダルの位置を確認する。
ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- 換気の悪い場所では、エンジンを始動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンを始動するときは、必ず運転席に座る。
運転席以外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

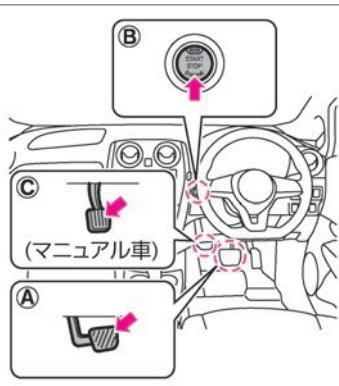
3

オートマチック車

ブレーキペダル④をしっかりと踏み込みながら、エンジンスイッチ③を1回押します。

マニュアル車

ブレーキペダル④をしっかりと踏み込みながら、アクセルペダルを踏まずにクラッチペダル⑤をいっぱい踏み込んで、エンジンスイッチ③を1回押します。



知識

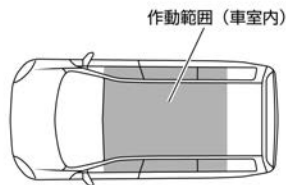
- エンジン始動前のブレーキペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ブレーキペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、エンジンが始動しません。ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。
- エンジンの始動を連続して行うと保護機能が作動し、エンジンがかからなくなることがあります。その場合は、3分以上待ってから再度エンジンスイッチを押して始動してください。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。

エンジンがかかりにくいときは

- オートマチック車はブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでエンジンスイッチを一度押してください。ブレーキペダル、アクセルペダルは離さず、約5秒後にもう一度エンジンスイッチを押してください。その後、再度手順3の操作をしてください。

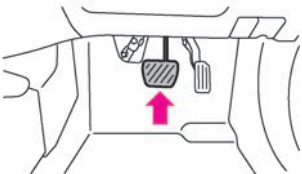
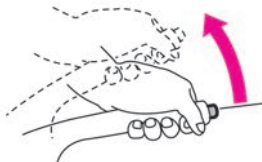
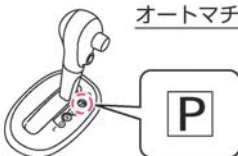

 知識**エンジンが暖まっているときの始動**

- 高速走行後や登坂走行後などエンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態でエンジンを始動し、エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転数の上昇に合わせて戻します。
- キーが作動範囲（車室内）にあるときに、エンジンを始動することができます。（ラゲッジルーム内は除きます。）

**クラッチ・スタートシステム（マニュアル車）**

- マニュアル車は、クラッチペダルを踏み込んだ状態でエンジンスイッチを押さないと、エンジンが始動できません。

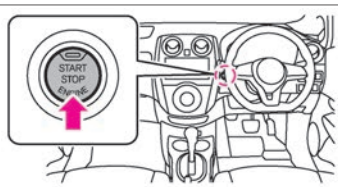
エンジン停止のしかた

1	ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。	
2	ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。 ➡ <u>パーキングブレーキのかけかた</u> (P.178)	
3	オートマチック車はセレクトレバーを P 、マニュアル車はシフトレバーをNにします。 ➡ <u>セレクトレバーの操作</u> (P.172) ➡ <u>シフトレバーの操作</u> (P.176)	<div style="text-align: center;"> <p>オートマチック車</p>  </div> <hr/> <div style="text-align: center;"> <p>マニュアル車</p>  </div>

エンジンスイッチ（インテリジェントキー付車）

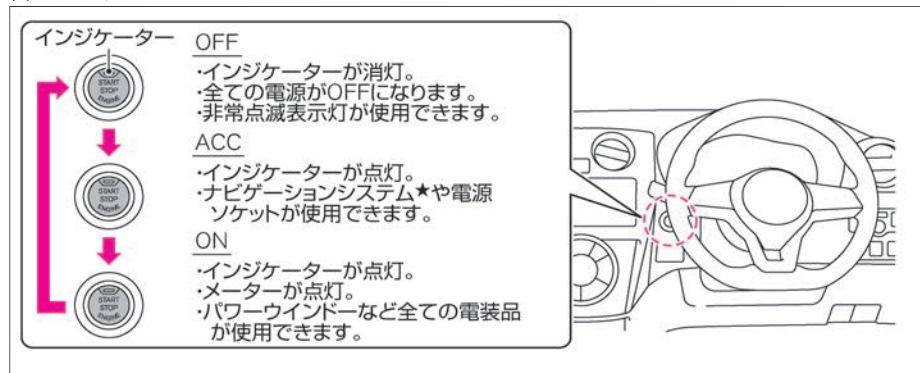

4

エンジンスイッチを1回押すと、エンジンが停止します。



電源ポジションの切り替えかた

ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと、次のように電源ポジションが切り替わります。


 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、電装品（電源ソケットなど）はエンジンをかけてご使用ください。エンジンを始動しないときは、電装品を長時間使用することや同時に複数使用することは避けてください。
- 次の条件がそろった状態で約60分経過すると自動的に電源ポジションがOFFになります。
 - － 電源ポジションがACCのとき
 - － 全ドアが閉まっているとき
 - － セレクトレバーがPのとき（オートマチック車）

 知識

- 電源ポジションがOFFのとき、ハンドルロック（ステアリングロック）がかかっていない場合は、いずれかのドアを開けるか、または閉めるとハンドルロック（ステアリングロック）が作動します。
 - ➡ ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは（P.352）

エンジンの非常停止のしかた

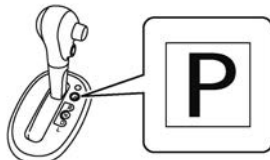
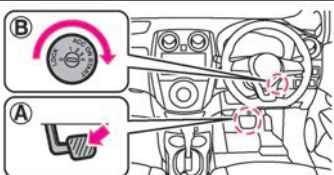
緊急時など、走行中に強制的にエンジンを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- エンジンスイッチをすばやく3回押す。
- エンジンスイッチを2秒以上押し続ける。

警告

- **非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。**
非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

エンジンの始動のしかた

1	アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（➡P.16）がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。	
2	パーキングブレーキがかかっていることと、セレクトレバーがPに入っていることを確認します。	
3	ブレーキペダル(A)をしっかりと踏み込みながら、キースイッチ(B)をSTARTまで回します。	

⚠ 警告

- エンジンを始動する前にペダルの位置を確認する。
ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- 換気の悪い場所では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンを始動するときは、必ず運転席に座る。
運転席以外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 知識

- エンジン始動前のブレーキペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ブレーキペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、エンジンが始動しません。ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。

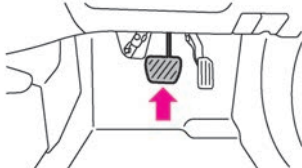
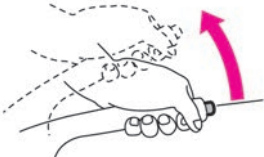
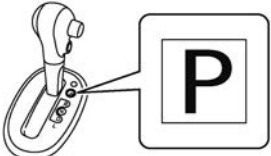
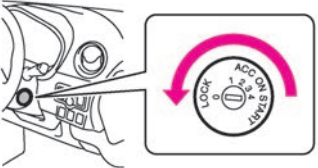
エンジンがかかりにくいときは

- ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでキースイッチをSTARTの位置まで約5秒間回し続けてください。その後、再度手順3の操作をしてください。

エンジンが暖まっているときの始動

- 高速走行後や登坂走行後などエンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態でエンジンを始動し、エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転数の上昇に合わせて徐々に戻します。

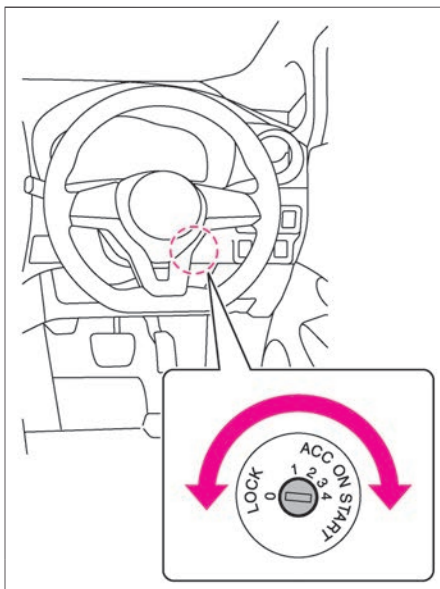
エンジン停止のしかた

1	ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。	
2	ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。 ➡ <u>パーキングブレーキのかけかた (P.178)</u>	
3	セレクトレバーを P にします。 ➡ <u>セレクトレバーの操作 (P.172)</u>	
4	キースイッチを左側に回すと、エンジンが停止します。	

次ページに続く

キースイッチの位置について

キー スイッチ 位置	働き
LOCK (0)	● キーを抜き差しできる位置 （ハンドルロック（ステア リングロック）が作動する 位置）
OFF (1)	● 電源が切れる位置
ACC (2)	● オーディオ★、ドアミラー などが使える位置
ON (3)	● すべての電装品が使える位 置
START (4)	● エンジンを始動する位置 （手を離すと自動的にONの 位置に戻ります）



⚠ 注意

- 変形したキーを使用したり、純正品以外を使用しない。
始動時にキーがSTART位置から戻らなくなり、車両故障やモーターの過熱による火災につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、電装品（電源ソケットなど）はエンジンをかけてご使用ください。エンジンを始動しないときは、電装品を長時間使用することや同時に複数使用することは避けてください。

キースイッチの使いかた

- キーをキースイッチに差し込み回します。
- キーを抜くときは、セレクトレバーを **P** に入れてからLOCKまで回します。



アドバイス

- セレクトレバーを **P** に入れないでキーを回すと (1) の位置で止まります。その場合は、セレクトレバーを **P** に入れたあと、キーをON方向に少し回し、再度LOCKまで回してください。

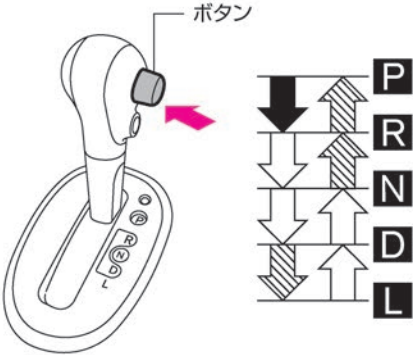


知識




- キーが回りにくいときは、ハンドルロック（ステアリングロック）がかかっている場合があります。ハンドルロック（ステアリングロック）を解除するときは、ハンドルを左右に軽く回しながらキーを回してください。
 ➡ ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは (P.352)
- エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けるとキー抜き忘れ警報が鳴ります。（キースイッチがONのときは鳴りません。）

セレクトレバーの操作

- セレクトレバー位置は目で確認し、メーター内のポジションインジケータも合わせて確認してください。
- ➡ **ポジションインジケータ（オートマチック車）** (P.65)
- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、すべてのセレクトレバー位置に操作することができます。



ボタン

セレクトレバー操作	
	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
	ボタンを押さずにそのまま操作します。
	ボタンを押して操作します。


警告

- 次のような操作は、絶対に行わない。
トランスミッションを破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- － 車が完全に停止する前に **P** に入れる
- － 車を前進させているときに **R** に入れる
- － 車を後退させているときに **D**、**L** に入れる

アドバイス

- ⇄ の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反して **P**、**R**、**L** に入れてしまうおそれがあります。
- **P** から操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かさないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

知識

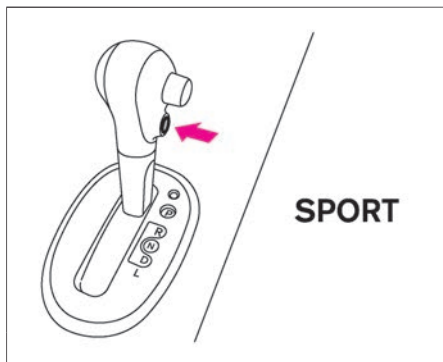
- セレクトレバーを **R** に入れるとブザーが鳴ります。
- 万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーを **P** から動かせないときは、 セレクトレバーが動かないときは（オートマチック車）(P.377)をお読みください。

各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働き
P	<p>駐車およびエンジンを始動する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントキー付車は、電源ポジションをOFFにすることができます。 ● リモートコントロールエントリーシステム付車は、キースイッチをOFFまたはLOCKにすることができます。 (P以外ではキースイッチをLOCKにできません。)
R	<p>後退する</p> <p>車室内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 (車外の人に注意するものではありません。)</p>
N	<p>動力を伝えない</p> <p>(Nでもエンジンの始動ができますが、安全のためPで始動してください。)</p>
D	<p>通常走行</p> <p>速度に応じて無段階に自動変速します。</p>
L	<p>急な下り坂を走行する</p> <p>強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 (急な下り坂以外ではなるべく使用しないでください。)</p>

■ スポーツモードスイッチの使いかた

- セレクトレバーが **D** のとき使えます。
- 通常走行するときはスイッチを押してメーター内の表示灯を消灯させます。（スポーツモードOFF状態）
- スポーティーな走行をするときや、下り坂で軽いエンジンプレーキをかけたいときはスイッチを押してメーター内の表示灯を点灯させます。（スポーツモードON状態）



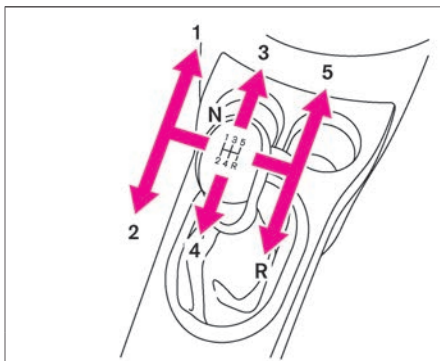
スポーツモード (メーター内表示灯)	働き
ON (点灯)	登坂路走行、パワフル走行など走りを重視した走行や、下り坂で軽いエンジンプレーキをかけることができます。
OFF (消灯)	燃費性能など、経済性を重視した走行ができます。

📖 知識

- セレクトレバーを **D** 以外に入れると自動的にスポーツモードがOFFになります。
- スポーツモードではエンジンが高出力を発生する回転域を使用したギヤ比が自動的に選択されます。

シフトレバーの操作

- クラッチペダルを踏んでからシフトレバーを動かします。
- 1速で発進し、車のスピードに合わせて、2速から5速に変速します。
- 後退するときは、車を完全に停止させたあと、Rに入れます。
- 駐車するときは、シフトレバーをNに入れ、パーキングブレーキをかけます。
- 上り坂で駐車するときは、シフトレバーを1、下り坂ではRに入れてください。



⚠ 注意

- 滑りやすい路面では不要なシフトダウンをしない。
タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- Rを入れるときは、車両が完全に停止したことを確認する。

🚗 アドバイス

- 必ずクラッチペダルを完全に奥まで踏み込んでからシフトレバーを操作してください。ペダルを奥まで踏まずに操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

📖 知識

- 信号待ちなど短時間の停車をするときは、ブレーキペダルを踏んだままNに入れ、クラッチペダルから足を離してください。

各シフトレバー位置の働き

シフトポジション	働き
N（ニュートラル）	エンジンを始動する
1速	車を走り出させるとき、または大きな力や、強いエンジンブレーキが必要なときに使う
2速、3速	加速していくとき、または普通走行から減速しエンジンブレーキをかける
4速、5速	普通走行や高速走行する
R（リバース）	後退させる

各シフトポジションの限界速度

シフトレバーを操作するときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

シフトポジション	限界速度（km/h）
1速	46
2速	84
3速	123
4速	156

注意

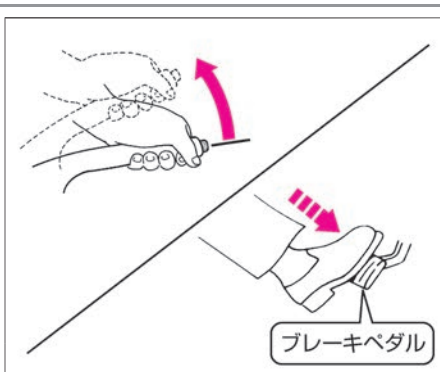
- エンジンブレーキを使うときなどシフトダウンするときは、限界速度以下で変速する。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。

パーキングブレーキのかけかた

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左手でパーキングブレーキレバーをいっばいに引きます。



警告

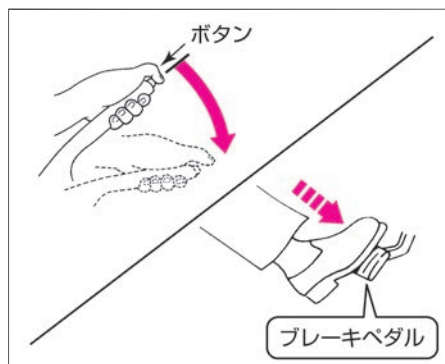
- **パーキングブレーキをかけたまま走行しない。**
ブレーキが過熱することによって、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **窓から身を乗り入れてパーキングブレーキを解除しない。**
車両が動き出したときにブレーキペダルを踏めず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。

パーキングブレーキの解除のしかた

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左手でパーキングブレーキレバーを少し引き上げながらボタンを押し、レバーを戻します。



発進のしかた

<p>1</p>	<p>ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンを始動します。 ⤷ キー (インテリジェントキー) ★ (P.90) ⤷ キー (リモートコントロールエントリーシステム) ★ (P.96)</p>	
<p>2</p>	<p>ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、ボタンを押してセレクトレバーを D に入れます。</p>	
<p>3</p>	<p>パーキングブレーキを解除します。</p>	
<p>4</p>	<p>ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。</p>	

警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。
急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 停車中、セレクトレバーが **P**、**N** 以外に入っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
クリープ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

知識

- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト★ (⤷ P.216) が作動します。

運転のしかた

走行のしかた

- セレクトレバーを **D** にしたまま走行します。
 - アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。アクセルペダルの踏み加減と走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。
 - 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンし急加速します。
 - 下り坂では、エンジンブレーキを併用して走行します。セレクトレバーが **D** でも、アクセルペダルを戻すと自動的にエンジンブレーキが得られます。また坂の勾配に応じて強いエンジンブレーキが必要な場合は、**L** に入れます。勾配のゆるい下り坂では、スポーツモードにしても、軽いエンジンブレーキが得られます。
- 🔍 **スポーツモードスイッチの使いかた (P.175)**

警告

- **下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用する。**
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。
- **滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせない。**
タイヤがスリップするおそれがあり危険です。
- **走行中はセレクトレバーを **N** に切り替えない。**
エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

アドバイス

- 上り坂ではクリーブ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 上り坂でセレクトレバーを **D** または **L** のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で **R** のまま故意に車両を

次ページに続く

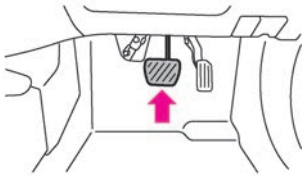
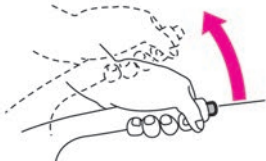
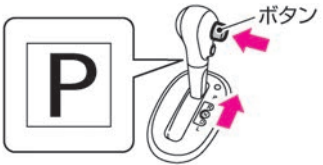
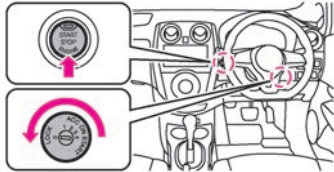


アドバイス

前進させたりしないでください。車両故障につながるおそれがあります。

- 冠水路など深い水たまりは無理に走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。

停車・駐車の手順

<p>1</p>	<p>停車するときは、セレクトレバーはDまたはLのまま、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。</p>	
<p>2</p>	<p>そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。 ➡パーキングブレーキのかけかた (P.178)</p>	
<p>3</p>	<p>ブレーキペダルを踏んだままボタンを押してセレクトレバーをPに入れます。 ➡セレクトレバーの操作 (P.172)</p>	
<p>4</p>	<p>キースイッチを左側に回す、またはエンジンスイッチを1回押すと、エンジンが停止します。</p>	

警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。
 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたり、そのままにしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。
- 停車中の空ぶかしはしない。
 万一、セレクトレバーが**D**、**N**以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後に再発進するときは、セレクトレバーを目で確認してください。
- 換気の悪い場所では、エンジンを始動したままにしない。
 排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

- 車から離れるときは、必ずセレクトレバーを **P** にして、エンジンを停止する。

エンジンがかかったままで、セレクトレバーが **P**、**N** 以外だと、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐停車しない。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意する。


アドバイス

- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

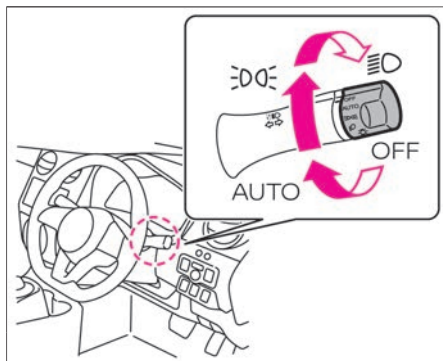
知識

- 屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナ★が当たるような場所ではアンテナを倒してください。

ライトスイッチの使いかた

スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。ランプが点灯しているときはテールランプ表示灯  が点灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
OFF	全ランプが消灯
AUTO	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯
	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯



警告

- 夕暮れや夜間時はLEDハイパーディライトの点灯だけで走行しない。
(LEDハイパーディライト付車)
必ずヘッドランプを点灯して走行してください。

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

知識

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したままキースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、リモコンまたはドアハンドルのスイッチで施錠する（インテリジェントキー付車）とバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。（次回、解錠後に運転席ドアを開けるとランプが再点灯します。）

オートレベライザー★

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車

知識

人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するシステムです。

ヘッドランプ消し忘れ警報

- キースイッチ（電源ポジション）がON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがOFFまたはAUTO以外の位置にあるとブザーが鳴ります。

LEDハイパーデイライト*

- 周囲の車や歩行者などからの視認性を向上させます。
- 車幅灯、尾灯、番号灯と連動して点灯します。
LEDハイパーデイライト (➔ P.2)

AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた

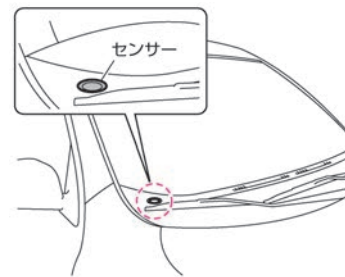
- 電源ポジションがONのとき、スイッチ位置をAUTOの位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドランプや車幅灯などを自動的に点灯、消灯させます。
- 電源ポジションがOFFのときは消灯します。

フロントワイパー連動、薄暮れ感知機能

- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。

アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラススクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



知識

- インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の感度を調整したい場合は、日産販売会社へご相談ください。

ハイビームアシストについて★

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、自動的にハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）を切り替えます。

約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに自動的に切り替えを行い、約15km/h以下になると自動的にロービーム（下向き）に切り替わります。

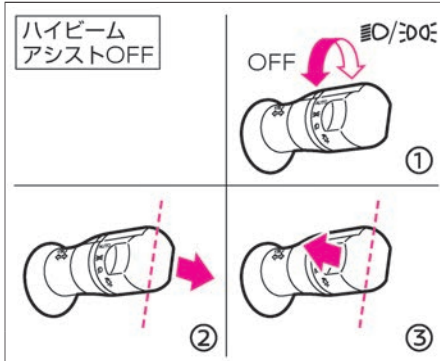
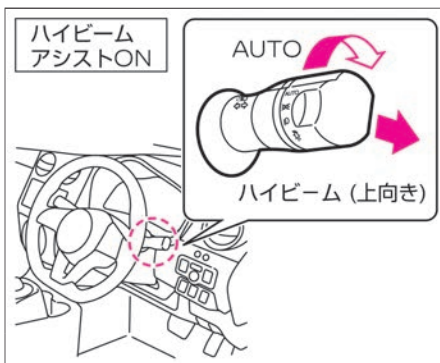
ハイビームアシストをONにする方法

- ライトスイッチがAUTOの位置でレバーを車両前方に押し、ハイビームアシストがONになります。（メーター内のハイビームアシスト表示灯が点灯）

ハイビームアシストをOFFにする方法

次のいずれかの操作をすると、ハイビームアシストがOFFになります。

- ハイビームのとき
 - ー ライトスイッチをAUTO位置以外にする…①
 - ー ライトスイッチを車両前方に押し（ハイビームに切り替わります）…②
 - ー ライトスイッチを車両後方に引く（ロービームに切り替わります）…③
- ロービームのとき
 - ー ライトスイッチをAUTO位置以外にする…①
 - ー ライトスイッチを車両前方に押し（ハイビームに切り替わります）…②



⚠ 警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。
 - ー 悪天候のとき（雨、霧、雪、強風など）
 - ー 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
 - ー 対向車または先行車が無灯火のとき
 - ー 対向車のヘッドランプが汚れているたり、光軸がずれているとき
 - ー 明るさの急激な変化が連続しているとき
 - ー 段差や起伏のある道路を走行しているとき
 - ー カーブが多い道路を走行しているとき
 - ー ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき

ライトスイッチ

警告

- トレーラーやコンテナなど先行車両の後部の反射が強いとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れているとき
- バンクやけん引などで車両が傾いているとき

アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーターにハイビームアシスト表示灯が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。
ハイビームアシスト表示灯
(➡ P.367)

知識

- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の向きや動き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している

知識

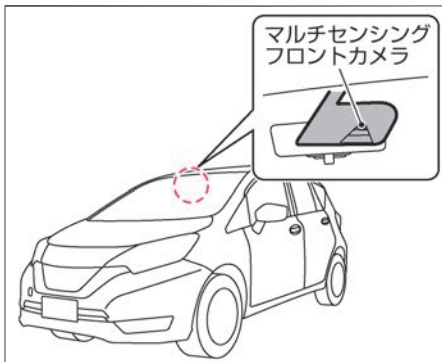
- 対向車または先行車が二輪車
- 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
- 乗車している人数や荷物の量
- ハイビームアシストがONでロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。（ハイビームアシストはONを維持）
- ライトスイッチは車両前方に押ししても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

■ マルチセンシングフロントカメラについて


フロントガラス上部に周囲の状況を検知するためのカメラがあります。ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

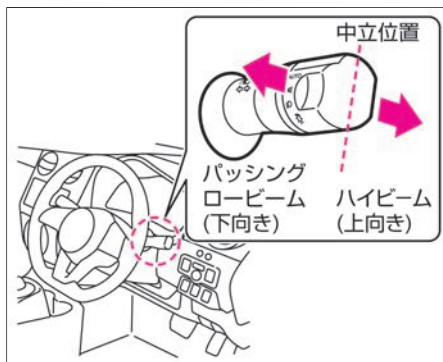
- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリやステッカーなどを取り付けしないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周辺に強い衝撃を与えないでください。

➔ マルチセンシングフロントカメラ★の取り扱い (P.437)



ハイビーム（上向き）への切り替えかた

- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
- ハイビームに切り替えているときは、ヘッドランプ上向き表示灯  が点灯します。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。
- ライトスイッチがAUTOの位置でライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームアシスト (👉P.188) がONになります。(ハイビームアシスト付車)



アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

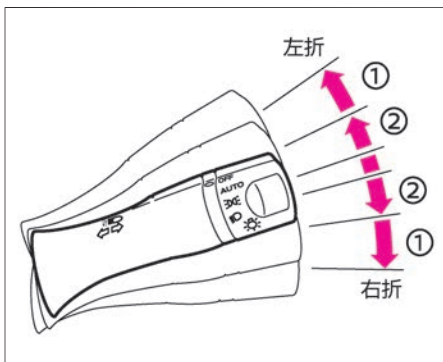
知識

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

■ 方向指示器の使いかた

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かし軽く押さえます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。



🚗 アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
➡ 電球（バルブ）が切れたときは (P.383)

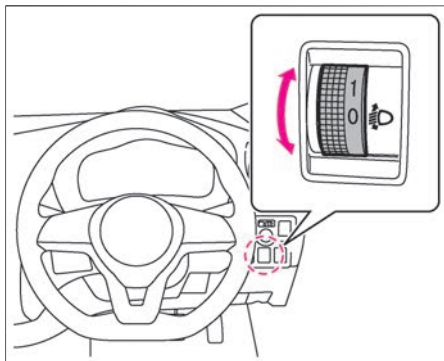
ヘッドランプレベライザースイッチ（ハロゲンヘッドランプ付車）

ヘッドランプの照らす方向（光軸）を調節します。乗員の人数や荷物の重さなどに応じ、調節してください。

ヘッドランプレベライザースイッチの使いかた

ヘッドランプが下向きするとき、ダイヤルを回して調節します。

- 通常は、ダイヤルが0の位置で使います。
- ダイヤルを大きな数字の方へ回すほど、照らす方向は下向きになります。



🚗 アドバイス

- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドランプが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調節してください。

📖 知識

- LEDヘッドランプ付車は、ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するオートレベライザー機能が付いています。

■ ダイヤル位置の目安

次の表を目安に、乗員の人数や荷物の量に応じてダイヤル位置を選択してください。

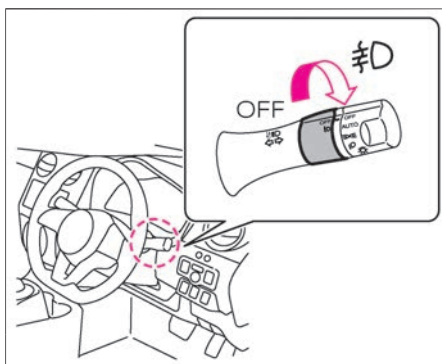
スイッチ位置	前席シート乗員数	後席シート乗員数	ラゲッジルームの積載重量
0	1または2	0	積載なし
1	2	3	積載なし
2	2	3	約104kg
3	1	0	約325kg

ランプをつける、ワイパーを使う フォグランプスイッチ★

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、ヘッドランプの補助または後続車からの視認性向上のために使用します。

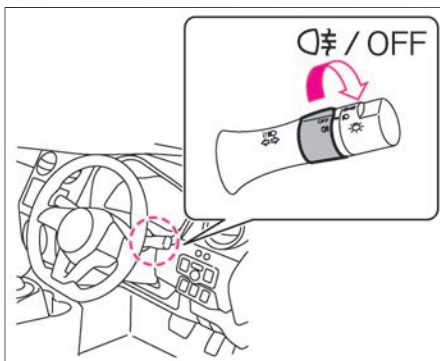
フォグランプの使いかた★

- ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているとき使用できます。
- スイッチを回して $\neq D$ を●の位置に合わせて使用します。
- フォグランプが点灯しているときは、フォグランプ表示灯 $\neq D$ が点灯します。



リヤフォグランプの使いかた★

- ヘッドランプが点灯しているときに使用できません。
- **Q**を●の位置に合わせるようにスイッチを回して使用します。(スイッチから手を離すと自動的にOFFの位置に戻ります。)
- 消灯するときは、もう一度スイッチを回します。
- リヤフォグランプが点灯しているときは、リヤフォグランプ表示灯 **Q**が点灯します。



⚠ 警告

- 晴天時は使用しない。
後続車の視界を悪くするおそれがあります。

⚠ 注意

- リヤフォグランプは霧、雨、雪などの視界が悪いとき、尾灯の補助として使用する。

🚗 アドバイス

- 降雪時にはこまめにリヤフォグランプの雪を取り除いてください。雪が積もる場合があります。

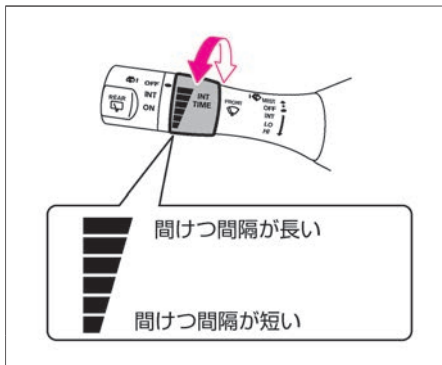
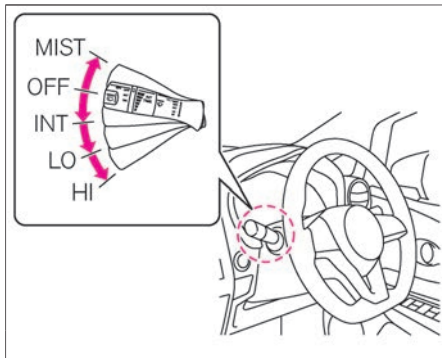
ワイパー・ウォッシャースイッチ

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使用できます。

フロントワイパーの使いかた

スイッチを動かすと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
MIST	レバーを上げている間作動します。手を離すと自動的にOFFに戻ります。
OFF	停止します。
INT	間けつで作動します。スイッチを回し、ワイパーの間けつ時間を調節します。
LO	低速で連続して作動します。
HI	高速で連続して作動します。



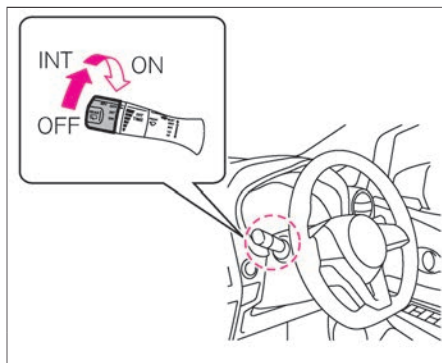
知識

- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）は、ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくランプが点灯します。
➡AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた (P.187)
- 車速感知機能のON・OFFを切り替えたい場合は、日産販売会社へご相談ください。

リヤワイパーの使いかた

スイッチを回すと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
OFF	停止します。
INT	間けつで作動します。
ON	低速で連続して作動します。



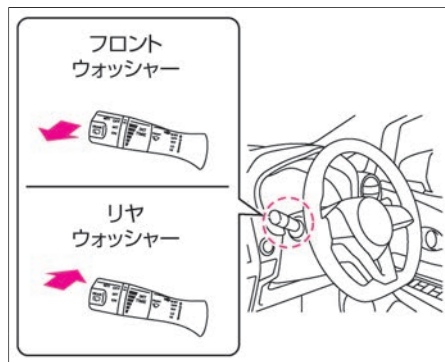
ウォッシャーの使いかた

フロントウォッシャー

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

リヤウォッシャー

- スイッチを車両前方に押し、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを押している間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。



ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項

警告


- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。
寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

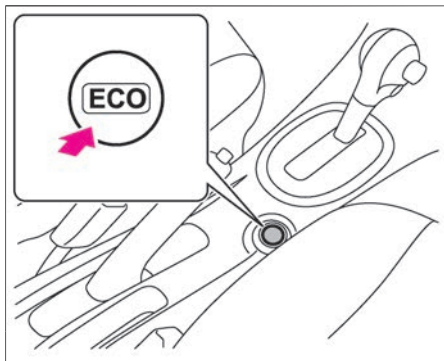
アドバイス

- 雪が降りそうなきや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分間程度）待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

ECOモードは、エンジンとCVTの作動を自動制御して、急加速を抑えることで燃費の向上をサポートするシステムです。

ECOモードの使いかた

- 電源ポジションがONのとき、ECOモードスイッチを押すごとにON・OFFが切り替わります。（ONのときはECOモードインジケータ  が点灯）
ECOモードインジケータ（➡P.369）
- システムに異常が発生したときは、自動的にECOモードが解除されます。

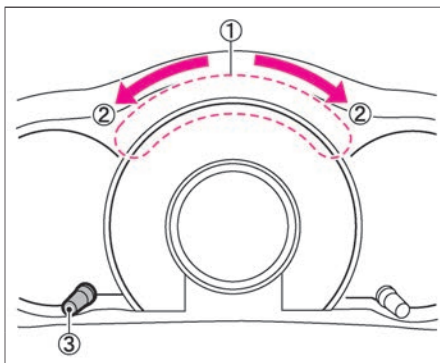


知識

- ECOモードのON・OFF設定は、電源ポジションをOFFにしても、再度設定変更するまで、その状態が維持されます。
- ECOモードを解除するときは、スイッチを操作したあと、一旦アクセルペダルから足を離してください。
- 次のような加速が必要な場合は、必要に応じてECOモードをOFFにしてください。
 - 乗車人員や荷物量が多いとき
 - 急勾配を登坂走行するとき

エコドライブインジケータ

- ECOモードで走行中、アクセルペダル操作に応じてエコドライブインジケータ①が3段階で点灯します。
- エコドライブをするほど、②の方向にインジケータが広範囲点灯します。

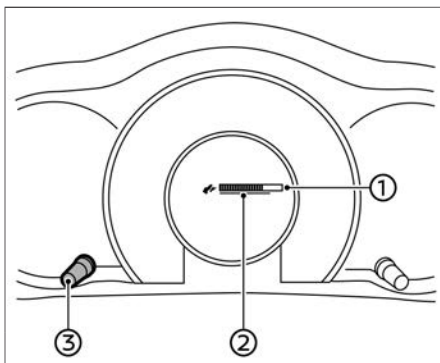


知識

- セレクトレバーが **R** のときは、点灯しません。
- スイッチ③を約2秒以上押すと、エコドライブインジケータの表示/非表示を切り替えることができます。

エコペダルガイド

- ECOモードで走行中、アクセルペダルの踏み加減①を表示します。
- アクセルペダルの踏み加減①がエコ運転領域②に入るように調整することで、燃費向上につながります。

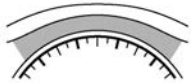




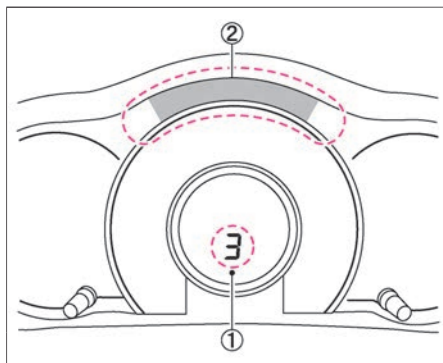
知識

- セレクトレバーが **R** のときは、表示しません。
- スイッチ③を短押しすると、エコペダルガイドの表示/非表示を切り替えることができます。

エコドライブレポート

- 走行中（電源ポジションをONにしてからOFFにするまで）にエコドライブができていたかを運転後に評価します。
- 電源ポジションをOFFにすると、車両情報ディスプレイ①とエコドライブインジケータ②にスコアを表示します。

車両情報ディスプレイ	スコア エコドライブインジケータ	ECO度 (アクセルペダルの踏み加減)
5		良い
3		普通
1		低い



知識

- 次の場合は、スコアが表示されません
 - － ECOモードでの走行時間が10分以下のとき
 - － 電源ポジションをOFFにする前にECOモードをOFFにしたとき
 - － 電源ポジションをOFFにする前に運転席ドアを開けたとき
- アイドリング中や信号待ちなどの停車時間は、走行時間に含まれません。

アイドリングストップ★

アイドリングストップは、車両が停車したときまたは停車する前にエンジンを停止させ、発進するときにエンジンを始動することで、アイドリングによる排気ガスの発生や騒音を抑制するとともに燃費を向上させるシステムです。

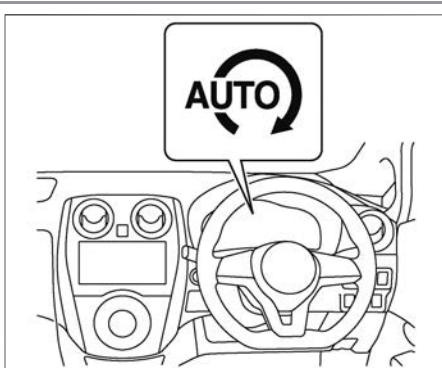
■ アイドリングストップの使いかた

走行中にアイドリングストップが作動する条件を満たすと、メーター内のディスプレイにあるアイドリングストップ表示灯が点灯します。

アイドリングストップには、通常のアイドリングストップと停車前アイドリングストップがあります。

アイドリングストップ

- 次のときに、エンジンが自動的に停止します。
 - － セレクトレバーが **D** または **L** のときに、ブレーキペダルを踏んで停車したとき。
 - － セレクトレバーを **N** にして、ブレーキペダルを踏み停車しているとき。
 - － セレクトレバーが **P** のとき。
(セレクトレバーが **P** のときは、ブレーキペダルを踏まなくてもエンジンが自動的に停止します。)
- ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが自動的に再始動します。
(セレクトレバーが **P** でアイドリングストップしているときは、ブレーキペダルから足を離しても、エンジンは再始動しません。)



⚠ 警告

- アイドリングストップ中に車両が動き出したときは、すみやかにブレーキペダルを踏む。
アイドリングストップによるエンジン停止中に車両が動き出した場合は、エンジンが自動的に再始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- メーター内のディスプレイにあるアイドリングストップ表示灯で、アイドリングストップの状態をお知らせします。
アイドリングストップ表示灯 (➡ P.368)

停車前アイドリングストップ

- セレクトレバーが **□** のときブレーキペダルを踏んで減速中、車速が約8km/hになると自動的にエンジンが停止します。(HR12DDRエンジン搭載車)
- ブレーキペダルから足を離すと自動的にエンジンが再始動します。

アイドリングストップ警告ブザー

- アイドリングストップ中にボンネットが開いたときにブザーが鳴ります。

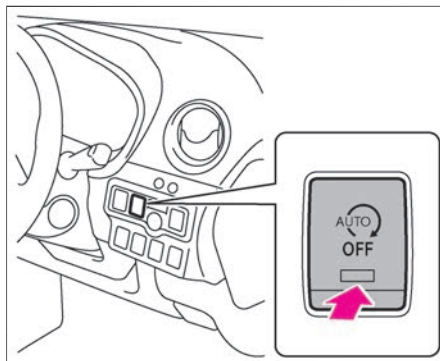
知識

- アイドリングストップ警告ブザーが鳴ったときは、ボンネットが開いていないか確認してください。ボンネットが開いていると、通常のエンジン停止状態となるため、エンジンをかけ直してください。

アイドリングストップの作動停止のしかた

アイドリングストップの作動を停止するには、アイドリングストップOFFスイッチを押します。

- アイドリングストップOFFスイッチを押すと、アイドリングストップの作動が停止します。
(アイドリングストップOFFスイッチの表示灯が点灯)
- 再度、アイドリングストップを使用するときは、もう一度アイドリングストップOFFスイッチを押します。
(アイドリングストップOFFスイッチの表示灯が消灯)



アイドリングストップを使うときの注意事項

アドバイス

- 充放電能力と寿命性能を強化したアイドリングストップ付車専用のバッテリーをご使用ください。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。
- バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

知識

- 次のような場合は、アイドリングストップまたは停車前アイドリングストップが作動しません。
 - － エンジンを始動して、一度も走行しないでアイドリングを続けているとき
 - － エンジン冷却水の温度が低いとき
 - － バッテリーの容量が低いとき
 - － バッテリーの温度が低いまたは極端に高いとき
 - － ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
 - － エンジン回転中にボンネットを開けたとき
 - － ボンネットを開けた状態でエンジンを始動させたとき
 - － 運転席のシートベルトが着用されていないとき
 - － 運転席ドアが開いているとき
 - － ハンドル操作をしているとき
 - － アイドリングストップ表示灯が点滅しているとき
 - － アクセルペダルを踏んでいるとき
 - － セレクトレバーが **R** のとき

 知識

- エアコンの風量切り替えダイヤルがOFF (0) 以外の位置で、吹き出し口切り替えダイヤルをデフロスター位置にしたとき (マニュアルエアコン付車)
- リヤウインドーデフォグスイッチ (👉P.144または👉P.147) をONにしたとき
- デフロスタースイッチ (👉P.144) をONにしたとき (オートエアコン付車)
- アイドリングストップOFFスイッチがONのとき
- EPS (電動パワーステアリング) 警告灯、ABS警告灯、VDC警告灯が点灯しているとき
- ブレーキペダルの踏み込みが弱いとき
- 消費電力が大きいとき
- 標高約2000m以上の高地のとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ★または踏み間違い衝突防止アシスト★が作動しているとき
- 次のような場合は、アイドリングストップが作動しません。
 - 車両が動いているとき
 - 急勾配の坂道で停車したとき
- 次のような場合は、停車前アイドリングストップが作動しません。
 - 車速が約8km/h以上のとき
 - セレクトレバーがD以外のとき
 - ヘッドランプが点灯しているとき
 - フォグランプ★が点灯しているとき
 - ワイパースイッチがONのとき
 - 平坦路以外のとき
 - 踏み間違い衝突防止アシスト★が前方に車両や歩行者を検知しているとき

 知識

- 次のような場合は、システムが作動するまでに時間がかかる場合があります。
 - － バッテリーがあがっているとき
 - － 外気温が低いとき
 - － バッテリー交換したあとや、長期間バッテリー端子を外したあと
- 外気温が低く、暖房中のときは、アイドリングストップしない場合があります。
- 次のような場合は、アイドリングストップ中にブレーキペダルから足を離しても、エンジンが再始動しません。
 - － セレクトレバーが **P** のとき
- 次のような場合は、アイドリングストップ中または停車前アイドリングストップ中にブレーキペダルから足を離さなくても、エンジンが再始動します。
 - － アイドリングストップOFFスイッチを押したとき
 - － エアコン風量切り替えダイヤルがOFF (0) 以外の位置で、吹き出し口切り替えダイヤルをデフロスター位置にしたとき (マニュアルエアコン付車)
 - － デフロスタースイッチ (➡P.144) をONにしたとき (オートエアコン付車)
 - － リヤウインドーデフォグスイッチ (➡P.144または➡P.147) をONにしたとき
 - － アクセルペダルを踏んだとき
 - － ハンドル操作をしたとき
 - － バッテリーの容量が低くなったとき
 - － 消費電力が大きいとき
 - － ブレーキペダルを数回踏みなおすなどして、ブレーキ装置の負圧が不足したとき
 - － 運転席シートベルトを外したり運転席ドアを開けたとき
- 次のような場合は、アイドリングストップ中にエンジンが再始動します。
 - － 坂道でブレーキを緩め、車両が動き出したとき

知識

- セレクトレバーが **N**、**D**、**L** でブレーキペダルを緩めたとき
- セレクトレバーを **P** または **N** から、**R**、**D**、**L** にしたとき
- 次のような場合は停車前アイドリングストップ中にエンジンが再始動します。
 - 車速が約8km/h以上になったとき
 - セレクトレバーを **D** 以外に操作したとき
 - ヘッドランプを点灯させたとき
 - フォグランプ★を点灯させたとき
 - ワイパースイッチをONにしたとき
 - ボンネットを開けたとき
 - 踏み間違い衝突防止アシスト★が、前方に車両や歩行者を検知したとき
- このシステムは、信号待ちなどのときに使用し、長時間の停車などの場合は、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてエンジンを停止してください。
- アイドリングストップ中にボンネットを開けると、ブザーが鳴るとともに通常のエンジン停止状態となります。その場合は、エンジンをかけ直してください。
- アイドリングストップ中または停車前アイドリングストップ中は、エアコン（冷房・暖房・除湿機能）がOFFになり、送風になります。
- アイドリングストップ中にハンドルを操作したとき、ハンドル操作力が重く感じることがあります。

車両後退抑制機能

- 坂道でアイドリングストップ中から発進するときに、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を軽減するシステムです。



- この装置はVDC (➡P.212) のブレーキ制御を利用しているため、VDC警告灯 (➡P.361) が点灯したときは作動しません。

ABS (アンチロックブレーキシステム)

ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABSについて

急ブレーキを踏まなければならないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームから音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。

警告

- **カーブの手前では十分に減速する。**
ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。
- **でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、特に速度を控え、車間距離を十分にとる。**
ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しやすくするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなる場合があります。このような道を走行するときは、特に速度を控え、車間距離を十分にとって運転してください。
- **タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。**
ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。


VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCは、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCの機能について

- VDCのシステムには次の機能があります。
 - － VDC機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。
 - － TCS(トラクションコントロール) 機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、エンジンの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
 - － ブレーキLSD機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
 - － ABS機能：ABS (➡P.211)




警告

- **滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。**
この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。
- **次の場合、メーター内のVDC警告灯  が点灯し正常に作動しないことがあるので注意する。**
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキ、ステアリング、エンジン関係部品などを純正品以外に交換したり、改造したとき
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- **VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。**

知識



- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

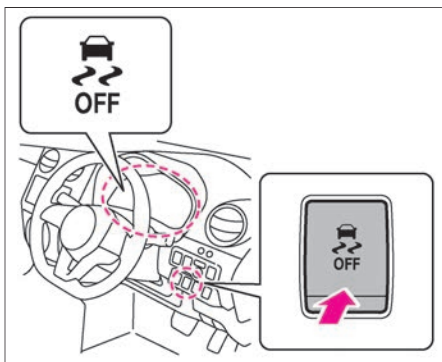
VDCの作動について

- VDCの作動と警告灯
 - － VDCが作動しているときは、メーター内のVDC警告灯  が点滅します。
 - － TCS機能のみが作動しているときもVDC警告灯  が点滅します。VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
- 次の場合、VDC警告灯  が点灯することがあります。一度キースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、再度エンジンを始動するとVDC警告灯は消灯します。
 - － 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき。
 - － 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき。

VDCの停止のしかた

VDCの作動を停止 (OFF) するにはVDC OFFスイッチを押します。

- VDC OFFスイッチを押すと、VDCが停止し、VDC OFF表示灯  が点灯します。
- 再度、VDCを使用 (ON) するときは、もう一度VDC OFFスイッチを押します。VDC OFF表示灯  が消灯し、VDCがONになります。



アドバイス

- VDCが作動しているときは、ぬかるみや雪道から脱出するときに、スリップ状態を検知するため、アクセルペダルを踏み込んでタイヤの回転数が上がらないことがあります。タイヤの回転数を上げたいときはVDC OFFスイッチを押してVDCを停止してください。
- VDC OFFスイッチを押すと、VDCのすべての機能と次の機能が停止します。(ABSおよびブレーキLSD機能を除く)
 - － インテリジェント クルーズコントロール★ (➡P.220)
 - － インテリジェント エマージェンシーブレーキ★ (➡P.251)
 - － 踏み間違い衝突防止アシスト★ (➡P.260)
 - － インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) ★ (➡P.284)

知識

- キースイッチ (電源ポジション) をONにするたびに、VDCは自動的にONになります。

 知識

- VDCが作動すると車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルーム内から音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ヒルスタートアシストは、上り坂での発進を補助するシステムです。

ヒルスタートアシストについて

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。
- セレクトレバーが **P**、**N** 以外するとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。

警告

- **ヒルスタートアシストの機能を過信しない。**
凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転に心がけてください。緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動せず後退する場合があります。その際はブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキをかけてください。
- **坂道での駐停車にヒルスタートアシストを使用しない。**
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **停車するときは、ブレーキペダルを踏み続ける。**
この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にセレクトレバーを **P** にして、パーキングブレーキをかけてください。



アドバイス

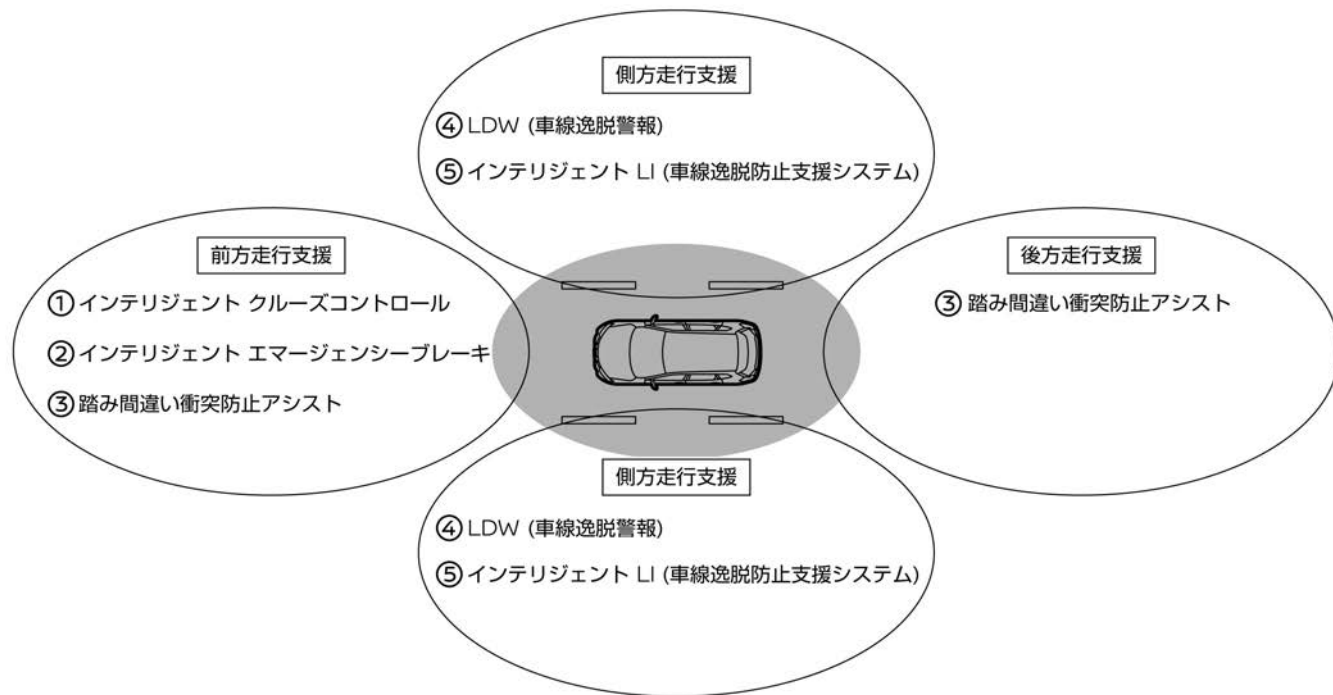
- セレクトレバーを操作した直後は、ブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。セレクトレバーを **P** から **D** または **N** から **D** にした直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。



知識

- VDC警告灯 (🚨 P.361) が点灯しているときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生することがありますが、異常ではありません。

走行支援システムについて

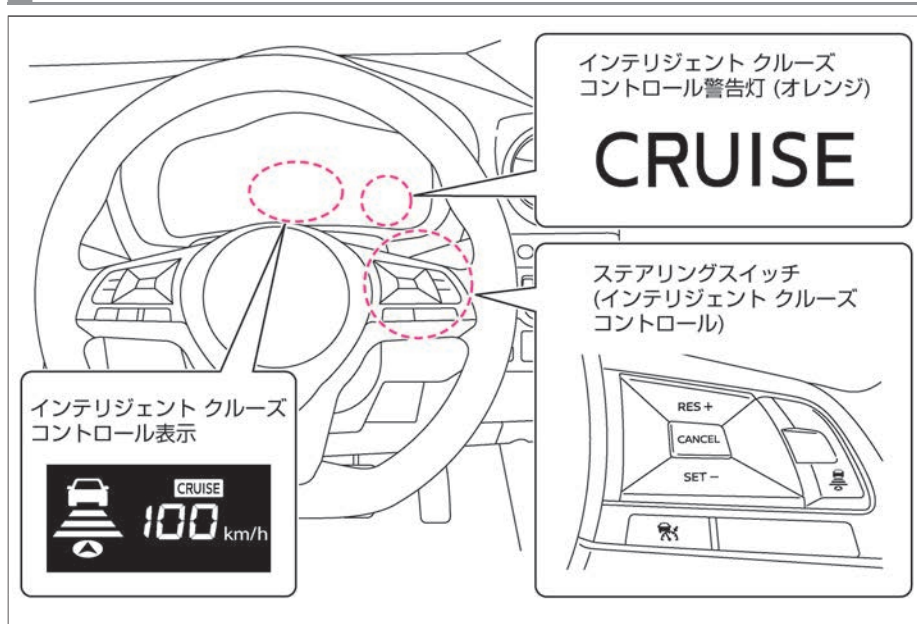


- ① **インテリジェント クルーズコントロール★**
 先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行するシステムです。(➡P.220)
- ② **インテリジェント エマージェンシーブレーキ★**
 前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。(➡P.251)
- ③ **踏み間違い衝突防止アシスト★**
 進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがある場所で、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いやブレーキ操作が遅れたとき、音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。
 (➡P.260)
- ④ **LDW（車線逸脱警報）★**
 運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなき、警報によって注意を促します。
 (➡P.282)
- ⑤ **インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★**
 運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。(➡P.284)

インテリジェント クルーズコントロール★

インテリジェント クルーズコントロールは、セレクトレバーが **D** または **L** のとき先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行することができます。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- **高速道路や自動車専用道路で使用する。**
インテリジェント クルーズコントロールは高速道路や自動車専用道路でご使用ください。
一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- **インテリジェント クルーズコントロールの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がける。**
自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、悪天候などでは、適切な減速が行えず先行車に接近することがあります。先行車との車間距離、周囲の状況に応じて自らアクセルペダル、ブレーキペダルを操作し、常に安全運転を心がけてください。
インテリジェント クルーズコントロールにより停止までブレーキ制御を行いますが、停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリーブ現象によりゆっくりと車両

 警告

が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。（先行車との車間距離が短いときや下り坂で追従走行しているときなど、状況により停止できない場合もあります。）

インテリジェント クルーズコントロールについて

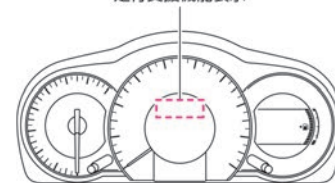
インテリジェント クルーズコントロールには次の機能があります。

- インテリジェント クルーズコントロール
 - － 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速（約30km/h以上）を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
 - － 先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。（停止後はシステムが自動的に解除されます。）
 - － 先行車を検出していない場合は運転者がセットした車速で定速走行します。（約30km/h以下では前方に車両がない場合使用できません。）
- ➡ インテリジェント クルーズコントロールの作動 (P.229)
- 定速制御機能
 - － 運転者がセットした車速（約40km/h以上）で定速走行します。（車間距離の制御は、行いません。）

📖 知識

- 機能によって制御内容が異なります。インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、どの機能が選択されているかを車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）で必ず確認してください。
- ➡ [車両情報ディスプレイ \(P.80\)](#)

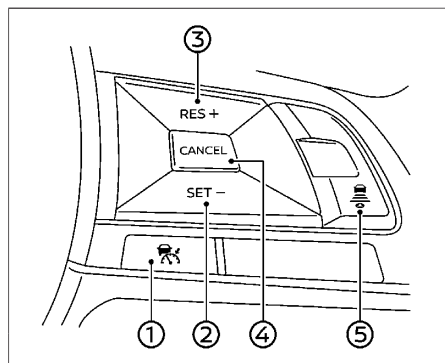
走行支援機能表示





- アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができる定速制御機能については、➡ [定速制御機能について \(P.245\)](#)をお読みください。

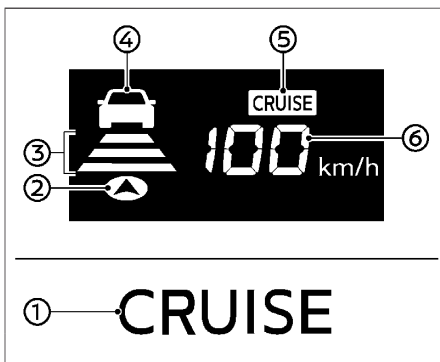
ステアリングスイッチ（インテリジェント クルーズコントロール）

- ① **メインスイッチ** ☆
インテリジェント クルーズコントロールのON・OFFができます。
- ② **SET-スイッチ**
- SET-スイッチを押したときの速度でインテリジェント クルーズコントロールを開始できます。
- 設定車速を下げるができます。
- ③ **RES+スイッチ**
- インテリジェント クルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速で再び開始することができます。
- 設定車速を上げることができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
インテリジェント クルーズコントロールの解除ができます。
- ⑤ **車間設定スイッチ** ☆
車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。




車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）

- ① インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）
インテリジェント クルーズコントロールのシステムに異常があることをお知らせします。
- ② 自車マーク
- ③ 車間設定表示
車間設定スイッチ  で設定した車間設定を表示します。
- ④ 先行車検出表示
先行車検出の有無をお知らせします。
- ⑤ クルーズ表示灯
メインスイッチ  がONになっていることをお知らせします。
- ⑥ 設定車速表示
設定した車速を表示します。




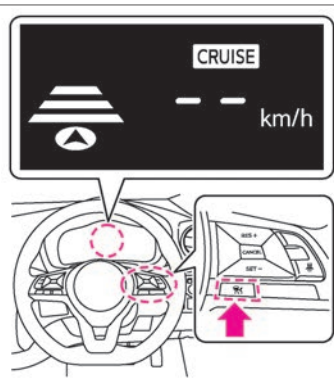
インテリジェント クルーズコントロールの使いかた

警告

- インテリジェント クルーズコントロールを使用しないときは、メインスイッチ  をOFFにしてください。
間違ってスイッチを押してしまった場合、インテリジェント クルーズコントロールがセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

インテリジェント クルーズコントロール★

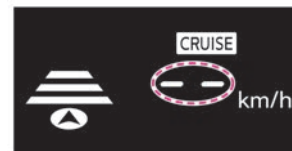
- 1 メインスイッチ  を押します。
 ・インテリジェント クルーズコントロールがONになります。
 ・車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）にクルーズ表示灯、車間設定表示、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。



- 2 設定したい速度まで加速または減速します。

知識

- 次の場合は、インテリジェント クルーズコントロールの制御を開始することができません。（設定車速表示が約2秒間点滅します。）



- － 車速が約30km/hを下回っていて、先行車両を検出していないとき
- － セレクトレバーが **D** または **L** 以外するとき
- － パーキングブレーキがかかっているとき
- － ブレーキペダルを踏んでいるとき
- － 雨、雪、霧、またはカメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
- － ワイパーを高速で作動させたとき
- － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき

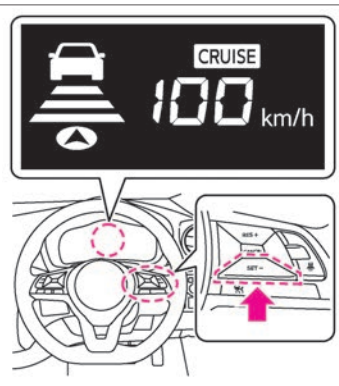
3

SET-スイッチを押します。


・スイッチを押したときの速度が設定車速になり、インテリジェント クルーズコントロールの制御が開始します。

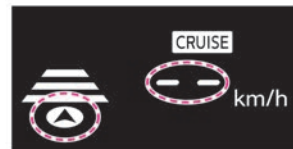
(車速約30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定車速は30km/hになります。)


先行車検出の有無、車間設定、設定車速を表示します。



知識


- メインスイッチ  を約1.5秒押すと、定速制御機能に切り替わります。
 ①定速制御機能について (P.245)
- エンジンを停止するとインテリジェント クルーズコントロールは自動的にOFFになります。
- 以下の場合には“ピー”というブザー音とともに、車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）が点滅し、セッティングすることができません。



- － VDCをOFFにしているとき
 (インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、VDCをONにしたあと、メインスイッチ  を一旦OFFにし、再度手順1から操作し直してください。)
- － VDC (トラクションコントロールを含む) が作動しているとき
- － タイヤが空転したとき
 (インテリジェント クルーズコン

次ページに続く

 知識

トロールを使用するときは、上記の状態が改善されてから、メインスイッチ  を一旦OFFにし、再度手順1から操作し直してください。)

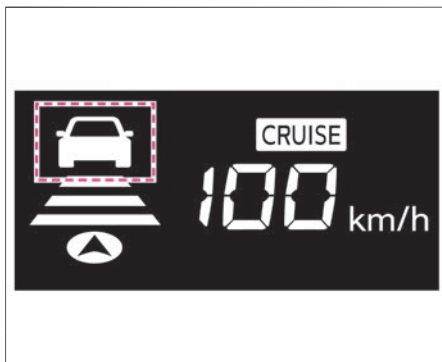
インテリジェント クルーズコントロールの作動

先行車を検出しているとき


- 運転者がセットした車速（約30km/h以上）を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車検出表示が点灯します。

先行車が停止したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。停止後はシステムが自動的に解除されます。

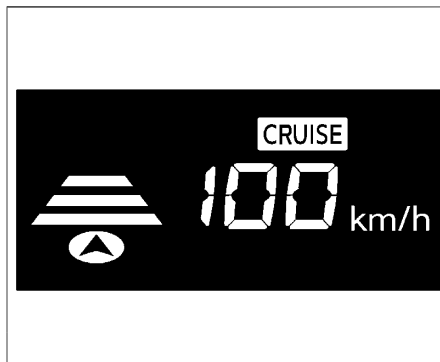


知識

- 車間設定スイッチ  により、車間を設定することができます。
 ⤴ 車間距離設定の変更のしかた (P.234)
- インテリジェント クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動した場合は、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

先行車を検出していないとき

- 設定車速までゆっくりと加速し、定速走行します。（先行車検出表示が消灯）



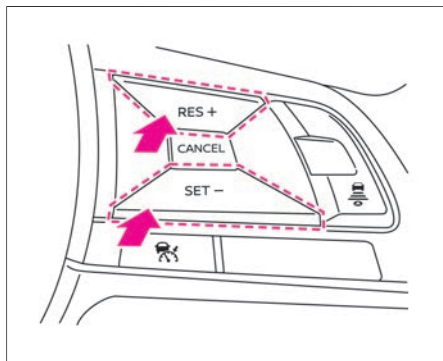
知識

- 設定車速までの加速中に先行車を検出すると、再び車間制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 先行車を検出していない場合、車速が約25km/h以下になると、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

設定車速の変更のしかた

設定車速が5km/hきざみで変更できます。

- 設定車速を上げたいときは、RES+スイッチを押します。
- 設定車速を下げたいときは、SET-スイッチを押します。



知識

- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、RES+スイッチを押して設定車速を上げても加速しません。
このとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速は車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）の設定車速表示を確認しながら変更してください。

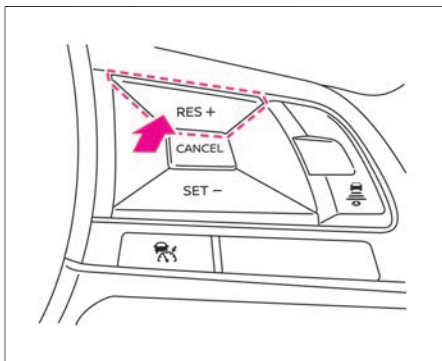
一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

- アクセルペダルを踏むと、加速します。
- アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
（設定車速表示の車速値が消灯し、セツト待機状態になります。）
- 解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+を押します。
（車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）が再びセット状態の表示になります。）



警告

- 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

知識

- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェント クルーズコントロールによるブレーキ制御も接近警報も行いません。
- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、SET-で設定車速を下げた場合などで設定車速より実際の速度の方が高くなったときは、設定車速表示が点滅します。




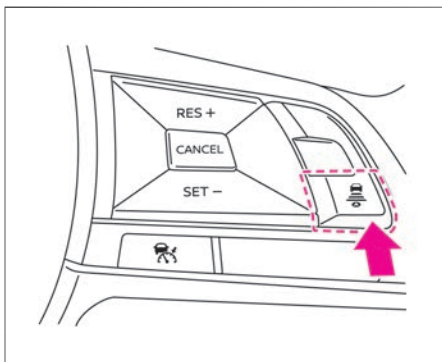
 知識

- アクセルペダルを戻したあとに定速走行し、車速が設定車速となった場合や、車間制御で車速が設定車速以下となったときは、設定車速が点灯状態に戻ります。

車間距離設定の変更のしかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。インテリジェント クルーズコントロール制御中またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

- 車間設定スイッチ  を押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



知識

- 車間距離は車速に応じて変わり、速度が高いほど長くなります。

車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

- 車間設定はメインスイッチをONにするたびに「長」に設定されます。
- 車間設定はエンジンを始動するたびに「長」に設定されます。
- 車速100km/hで走行しているとき、車間設定での制御車間距離の目安は次のとおりです。

 知識

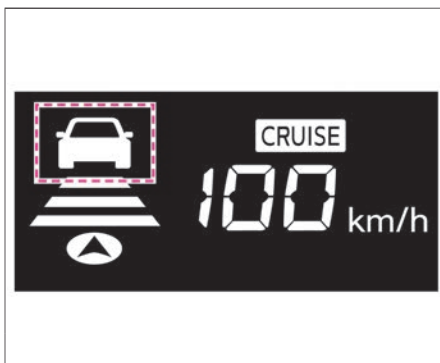
長：約60m

中：約45m

短：約35m

接近警報

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーと車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）の表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。
- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴り、車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）の先行車検出表示が点滅します。




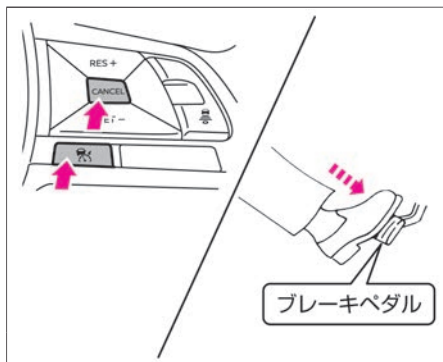
知識

- 接近警報が頻繁に作動するような状況では、インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。
 - － 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
 - － 先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
 - － 他車が至近距離に割り込んできたとき

インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた

次のいずれかの操作でインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- メインスイッチ  を押す
- ブレーキペダルを踏む



知識

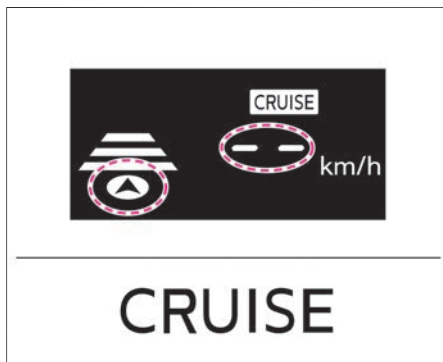
- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

インテリジェント クルーズコントロールの自動解除

- 次の場合は、解除音とともにインテリジェント クルーズコントロールが自動的に解除されます。
 - － 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
 - － インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止したとき
 - － セレクトレバーを **D** または **L** 以外にしたとき
 - － パーキングブレーキをかけたとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 - － VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
 - － タイヤが空転したとき
 - － 雨、雪、霧、またはカメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
 - － ワイパーを高速で作動させたとき
 - － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき

インテリジェント クルーズコントロールの警告表示について

- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントクルーズコントロールが自動的に解除され、車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）の一部が点灯または点滅しセットできなくなります。
 - － VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 - － タイヤが空転したとき
- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともに警告灯がオレンジ色に点灯し、自動的に作動が停止します。
 - － インテリジェント クルーズコントロールに異常があるとき
- システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。



アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

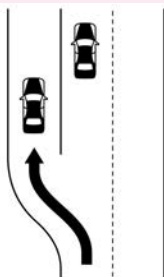
インテリジェント クルーズコントロールに関する注意事項

⚠ 警告

- インテリジェント クルーズコントロールの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がける。
 脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨・霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- インテリジェント クルーズコントロールの減速能力には限界があり、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあるため注意する。
 この場合は、ブザー音および表示による警報で注意を促します。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェントクルーズコントロールを使用しないでください。
 - － 急カーブや曲がりくねった道
 インテリジェント クルーズコントロールは直線路や緩やかなカーブ路での使用を想定して設計しているため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 急勾配の坂道
 停止状態を保持できず、車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 急な下り坂
 設定車速を超えてしまうおそれがあります。また先行車がいる場合は、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - － 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況
 ブレーキ作動が遅れて車間距離が短くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告

- 交通量の多い道や急カーブのある道
道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
- 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
- カメラ前方のフロントガラスに雨滴、雪などが付着しているとき
先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道
先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でインテリジェント クルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなるによりセット車速まで自動的に加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

● 次のような状況では先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります、適切に制御できず、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。

- － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
- － カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- － 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
- － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- － 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行するとき

● 次のような状況ではインテリジェント クルーズコントロールは正しく機能しません。インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。

- － タイヤの空気圧が適正ではないとき
- － 摩耗しているタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
- － 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
- － カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき

 **警告**

- － 極端に重い荷物を積んでいるとき
- － けん引しているとき

 **知識**

- インテリジェント クルーズコントロールを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラスのお手入れを行ってください。
 - ④ マルチセンシングフロントカメラ★の取り扱い (P.437)
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 次のような状況では車両の形状を正しく検出できず、適切な車間制御を行えない場合があります。
 - － 先行車が背景と似た色合いで区別ができないとき
 - － 先行車が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいるとき
 - － 先行車が路面の水たまりの付近にいるとき(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - － 先行車が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - － 先行車と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 次のような車両は正しく検出できず、適切な車間制御が行えない場合があります。
 - － 車高の低い車両
 - － 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - － 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - － 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - － 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両
 - － 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - － リヤタイヤから車両後端までが長い車両

次ページに続く


 知識

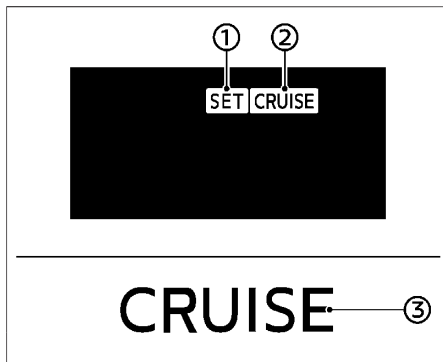
- 四輪車以外の車両(二輪車など)
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
- 路面または壁面の模様・ペイントや前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、ブレーキ制御や接近警報を行う場合があります。

定速制御機能について

定速制御機能を使用すると、セレクトレバーが**D**または**L**のとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。（車間制御は行いません。）約40km/h以上で任意の速度にセットできます。

■ 車両情報ディスプレイ（定速制御機能表示）

- ① **セット表示灯**
定速制御機能で走行していることをお知らせします。（設定車速をセットすると点灯します。）
- ② **クルーズ表示灯**
メインスイッチ  がONになっていることをお知らせします。
- ③ **インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）**
インテリジェント クルーズコントロールのシステムに異常があることをお知らせします。



⚠ 警告

- **定速制御機能を使用するときは、十分な車間距離をとる。**
定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- **次の状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使用しない。**
 - 交通量の多い道や急カーブのある道
 - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - 急な下り坂

アドバイス

- インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）が点灯したときは、日産販売会社で点検を受けてください。インテリジェント クルーズコントロール


次ページに続く

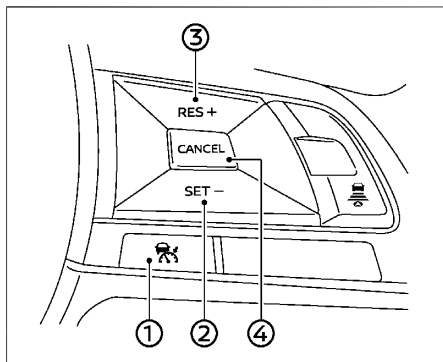


アドバイス


警告灯がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車して、電源ポジションをOFFにし、エンジンを再始動してから再度定速制御機能をセットしてください。エンジン再始動後もセットできない、またはインテリジェントクルーズコントロール警告灯がオレンジ色に点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

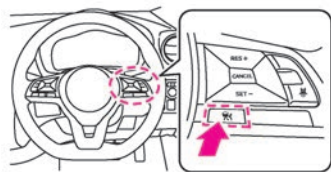
■ ステアリングスイッチ（定速制御機能）

- ① **メインスイッチ** 
定速制御機能のON・OFFができます。
- ② **SET-スイッチ**
- スイッチを押したときの車速で定速制御機能をセットできます。
- 設定車速を下げるができます。
- ③ **RES+スイッチ**
- 定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
- 設定速度を上げることができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
定速制御機能の解除ができます。



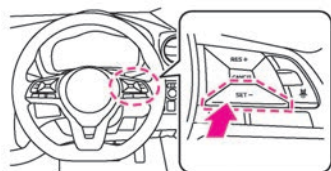
定速走行の使いかた

- 1** ハンドルにあるメインスイッチ  を1.5秒以上押し、定速制御機能をON（クルーズ表示灯が点灯し、セット待機状態になります）にします。
車両情報ディスプレイ（走行支援機能表示）に定速制御機能表示が点灯します。




- 2** 設定したい速度まで加速または減速します。

- 3** SET-スイッチを押します。
SET-スイッチを押したときの車速で定速走行を開始します。（セット表示灯が点灯）



警告

- 定速制御機能を使用しないときは、メインスイッチ  をOFFにしてください。間違えてスイッチを押してしまった場合、定速制御機能がセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

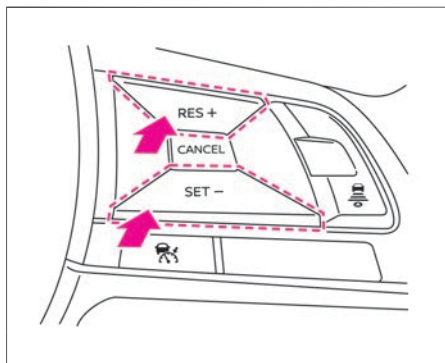
設定車速の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中にRES+スイッチを押し続けると加速します。設定したい速度で手を離します。


速度を下げる

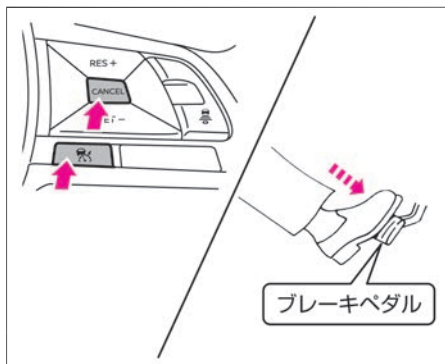
- 定速走行中にSET-スイッチを押し続けると減速します。設定したい速度で手を離します。



定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- メインスイッチ  を押す
- ブレーキペダルを踏む



アドバイス

- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セッ待機状態になります。解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+スイッチを押します。
(車速が約40km/h以上のとき戻せます。)
- 次の場合は、“ピー”という音とともに制御が自動的に解除されます。
ー 速度が約30km/h以下になったとき

次ページに続く



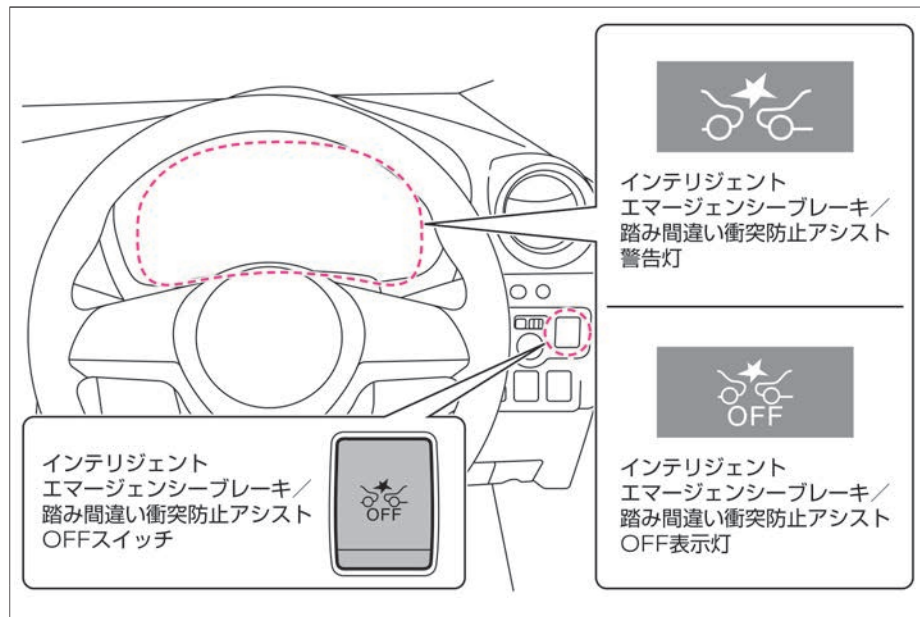
アドバイス

- 設定速度より約13km/h以上速度が低下したとき
- VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
- タイヤが空転したとき
- セレクトレバーを **D** または **L** 以外にしたとき
- システムに異常があるとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキ☆

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ

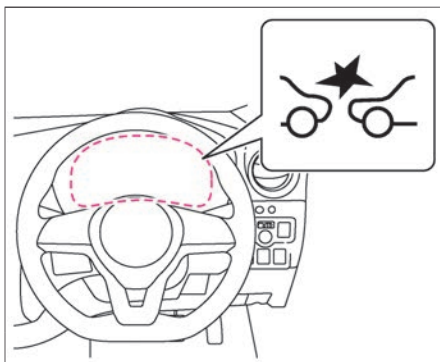


警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。
必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキについて

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- 車速約10～80km/hの範囲で作動します。
(車速約60km/h以上では、歩行者に対しては作動しません。)
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音（ブザー）とともにインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅し、警報音（ブザー）とともに、軽いブレーキが自動的にかけられます。さらに衝突危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキが自動的にかけられます。

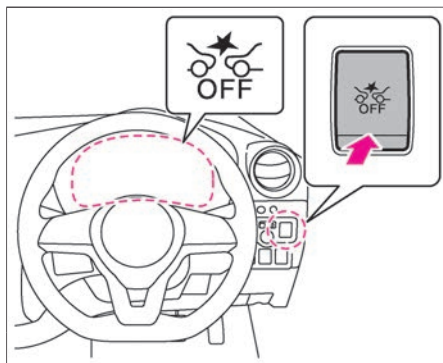


知識

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - － アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - － ハンドルを大きく、または素早くきったとき
 - － 前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅れる、または作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチを押すごとに、ON・OFFが切り替わります。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯)



知識

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチで機能をOFFにしても、エンジンを再始動すると自動的にONに切り替わります。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト★もOFFになります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項

知識

- 次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
 - － 対向車両
 - － 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しない、もしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき

 知識

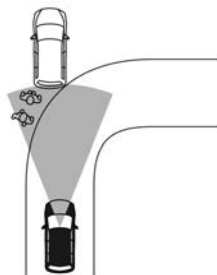
- － カーブを走行しているとき
- － 勾配の変化があるところを走行しているとき
- － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- － 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- － 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- － 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
- － 始動してから約15秒間のあいだ
- － カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
- － カメラの向きがずれているとき
- 以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - － 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - － 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - － 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - － 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - － 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。
 - － 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - － 車高の低い車両
 - － 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両

 知識

- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
 - 自車の正面から横にすれた位置に存在する車両や歩行者
 - 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両(二輪車など)
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- 以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
 - 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
 - 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - 勾配のある路面を走行しているとき
 - 車両が傾いているとき（後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効が悪くなっているとき
 - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効が悪くなっているとき
 - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき

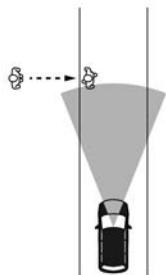
📖 知識

- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 車両が傾いているとき(重い荷物を積載しているとき)
- 路面または壁面の模様・ペイント(かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む)、前方の道路構造物(トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器(リフレクター)、反射シート、ガードレール)などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。
- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような場合、システムが衝突の可能性があると判断して作動する場合があります。
 - カーブ入り口の道路脇に、車両、人がいる場合



 知識

— 歩行者が自車前方の走行レーンに近づいた場合



インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯し、作動が停止します。
 - － VDCをOFFにしたとき
- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - － フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - － 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - － 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
(室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。)
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。
警告灯 (👉 P.366)



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(👉 P.437)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (👉 P.366)

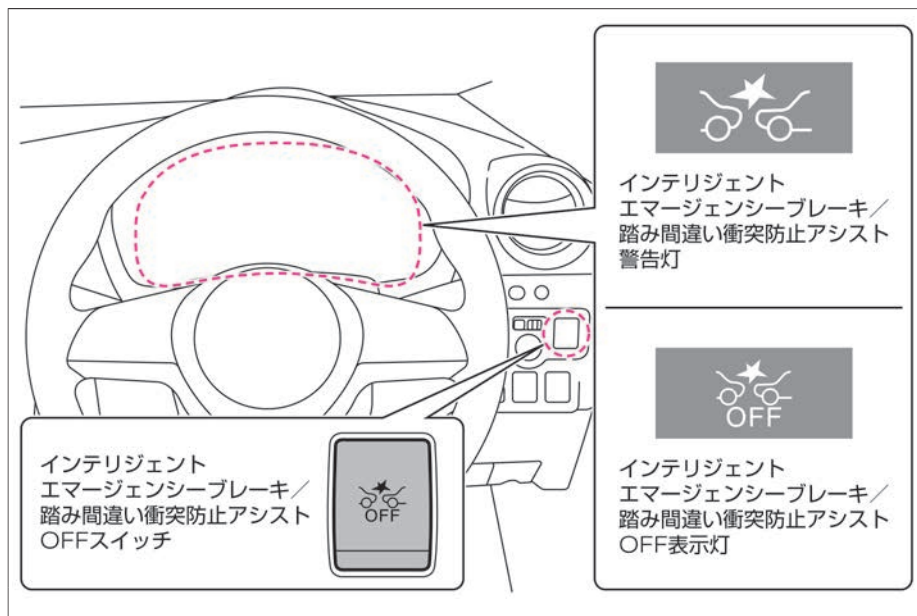
知識

- VDCをOFFにしたときは、メーターの表示と警報音(ブザー)のみ作動します。
- 夜間、ライトを付けずに走行するなど、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★警告灯が点滅する場合があります。

踏み間違い衝突防止アシスト*

踏み間違い衝突防止アシストは、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがある場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。さらに自動的にエンジンやブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

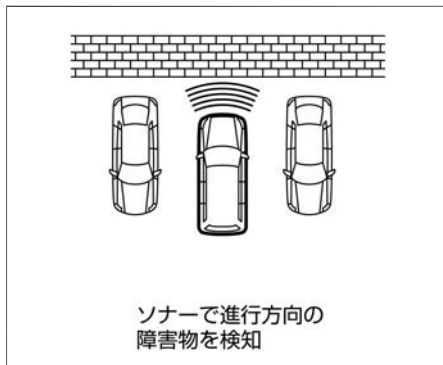
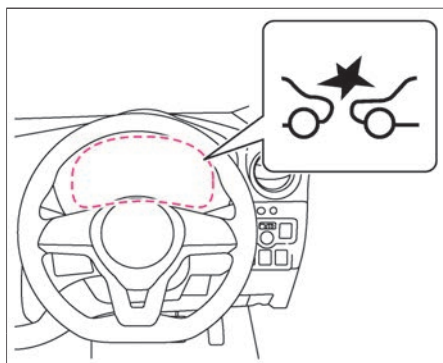
踏み間違い衝突防止アシストについて

前進時

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。

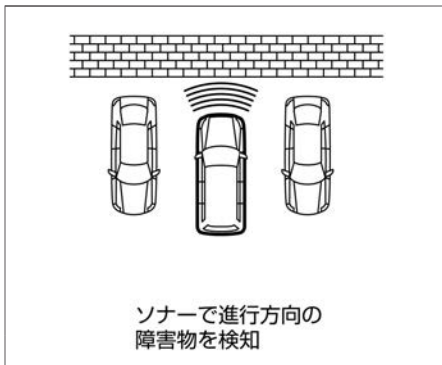
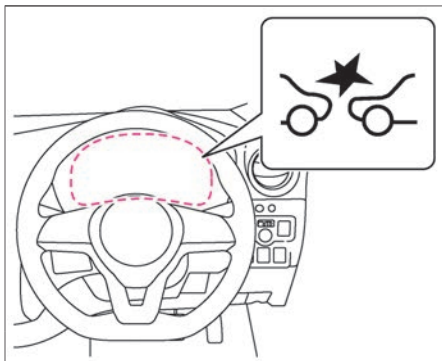
後退時

- リヤバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。
- 踏み間違い衝突防止アシストには、2つの機能があります。次ページ以降をお読みください。



低速加速抑制機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動で加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動で加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/hの範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/hの範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音（ブザー）と警告灯の点滅によって運転者に警告します。
警告灯 (P.366)

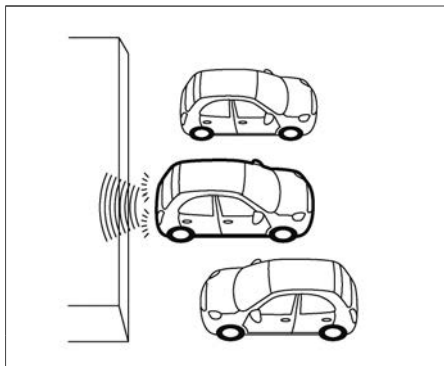
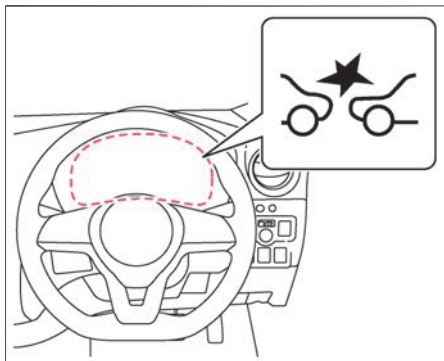


警告

- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。
低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、または後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、自動的にエンジンの制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約2～15km/hの範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音（ブザー）と警告灯の点滅によって運転者に警告します。
警告灯 (➡P.366)



知識

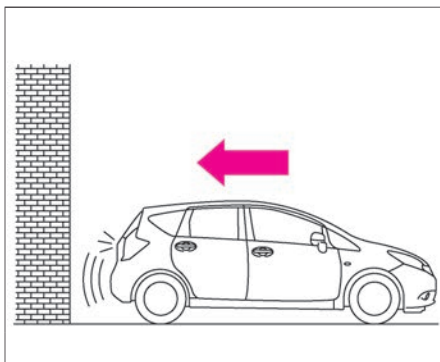
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。

■ 低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうになったとき

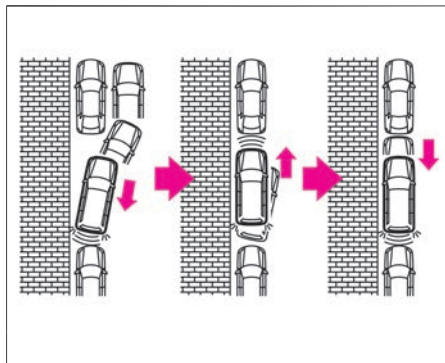
万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）と警告灯が点滅し、自動的にブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

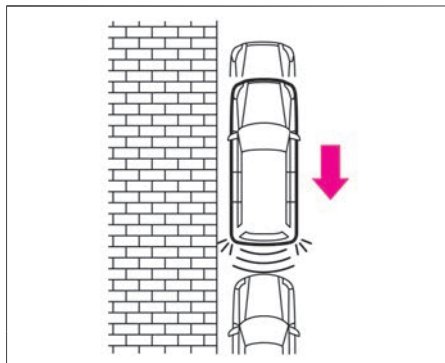


縦列駐車をするとき

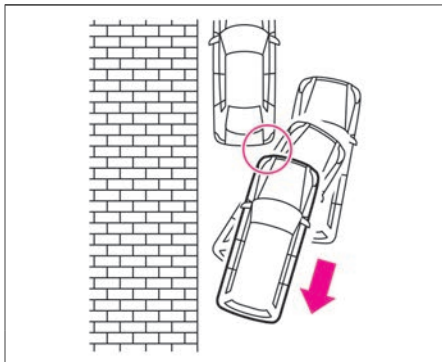
セレクトレバーを**D**から**R**、または**R**から**D**に切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。



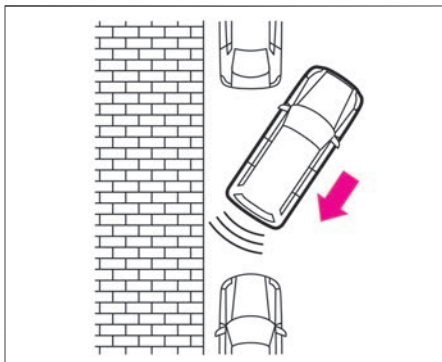
- ブレーキ制御が作動したあと、セレクトレバーを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をした場合、ブレーキ制御は作動しません。
- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。



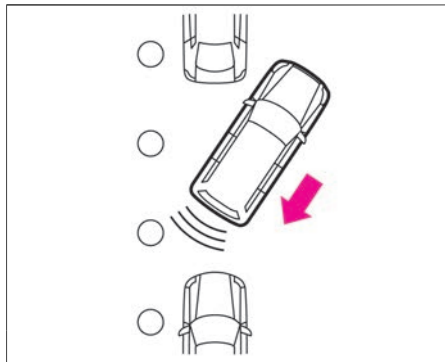
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対して作動しません。



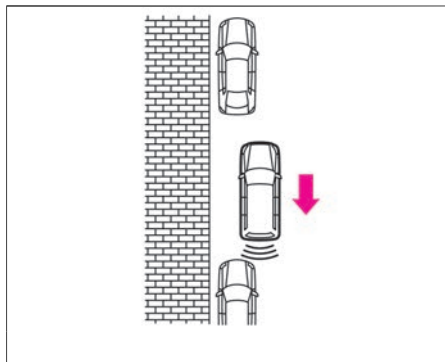
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。

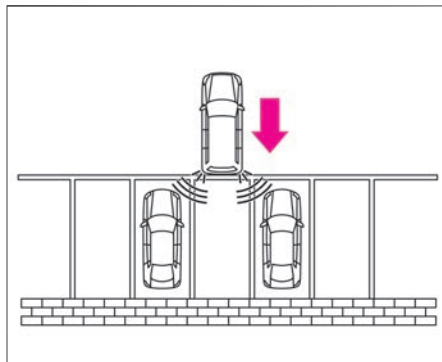


- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

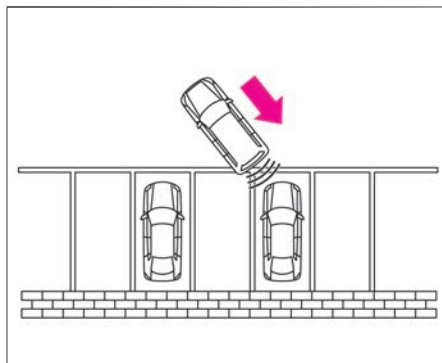


並列駐車をするとき

- 狭いスペースに進入するときに作動することがあります。

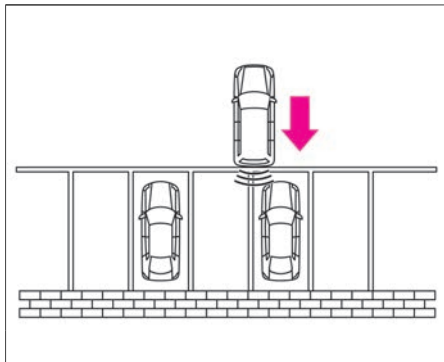


- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。

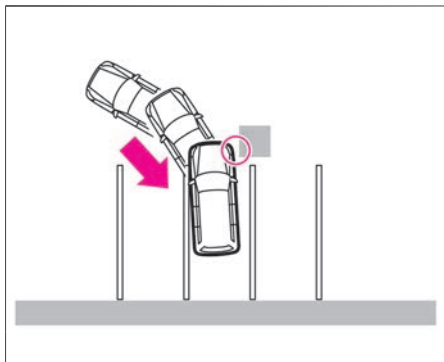


踏み間違い衝突防止アシスト☆

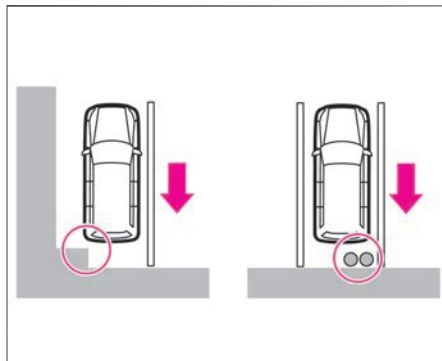
- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。



- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。

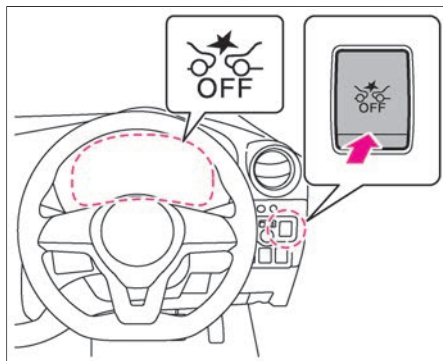


- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト OFFスイッチを押すごとにON・OFFが切り替わります。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト OFF表示灯が点灯)



知識

- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定と連動しています。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチで機能をOFFにしても、エンジンを再始動すると自動的にONに切り替わります。

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項

警告

- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。
 - － けん引するとき
 - － トレーラーなどに積載するとき
 - － 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
 - － 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)
- ソナーは次のような障害物は検知しません。
 - － 背の低い障害物
 - － 幅の狭い障害物
 - － 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - － バンパーに非常に近い障害物
 - － 急に進行方向に現れた障害物
- ソナーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - － 地面から高い位置に存在する障害物
 - － スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。
 - － 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - － 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - － 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - － 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めするとき



警告

- ソナーは次のような場合は検知することがあります。
 - － 周囲に草が生い茂っているとき
 - － 車両側面の近くに壁があるとき
 - － 路面上に段差や突起物があるとき
 - － 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - － 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - － 他車のソナーなど超音波を発生するものが付近にいたとき
- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 対向車両
 - － 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき

 警告

- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - カーブを走行しているとき
 - 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
 - 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
 - 始動してから約15秒間のあいだ
 - カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
 - カメラの向きがずれているとき
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
- 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき

警告

- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
 - **以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**
 - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
 - 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両(二輪車など)
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
 - **マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。**
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
 - **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**
- 低速衝突軽減ブレーキ機能について**
- **ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。**


 **警告**

- 車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏む。
低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動で解除され、車両が動き出します。

 **注意**

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。
車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。

 **アドバイス**

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
 - － 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - － 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - － 滑りやすい路面を走行しているとき
 - － ハンドルを大きくきって旋回しているとき
 - － 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - － 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効が悪くなっているとき



アドバイス

- 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 車両が傾いているとき(後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき)
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。(前方の車両、歩行者を除く)



知識

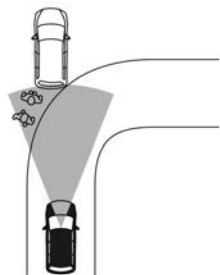
低速加速抑制機能について

- ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に自動的に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。

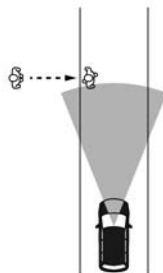
 知識

- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速制御機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
 - － 車速が約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約25km/h以上）
 - － ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - － セレクトレバーが **D**、**L**、**R** 以外のとき
 - － トラクションコントロール（TCS）が作動しているとき
 - － タイヤが空転しているとき
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。
- 自転車で行っている人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような場合、システムが衝突の可能性があると判断して作動する場合があります。
 - － カーブ入り口の道路脇に、車両、人がいる場合

知識



— 歩行者が自車前方の走行レーンに近づいた場合



低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 次の場合は作動しません。

 知識

- 車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき
- セレクトレバーが **D**、**L**、**R** 以外のとき
- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯し、作動が停止します。
 — VDCをOFFにしたとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅し、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。
 詳しくは、➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき (P.259)をお読みください。
- システムに異常があると、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。
 警告灯 (➡ P.366)



アドバイス

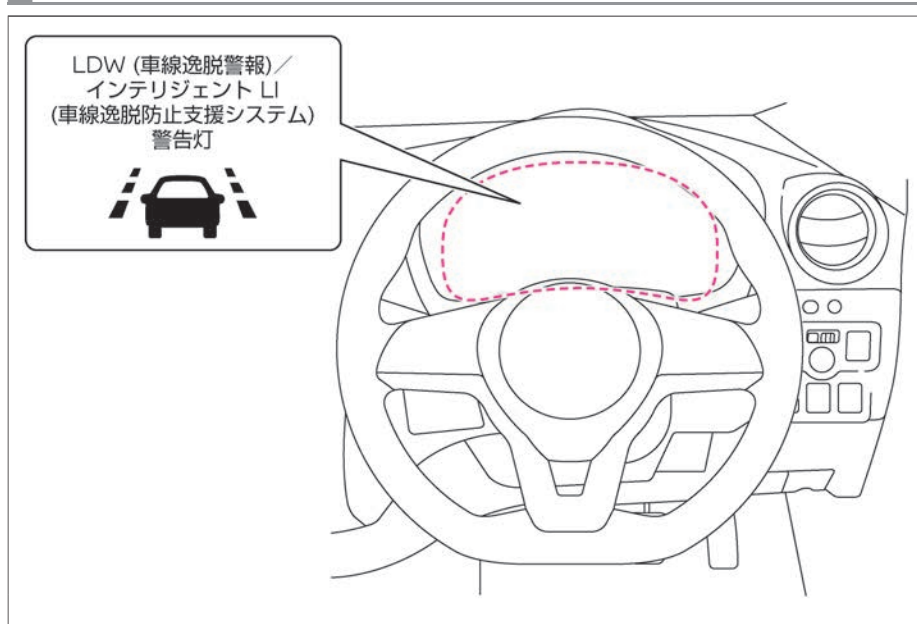
- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、(➡ P.440)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
 上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
 警告灯 (➡ P.366)

LDW（車線逸脱警報）★／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★

LDW（車線逸脱警報）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなおとき、警報によって注意を促します。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなおとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。

システムに関連する表示



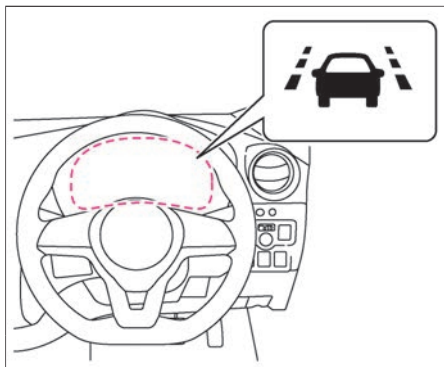
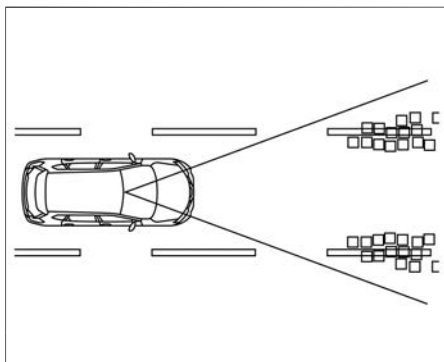
警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。
- **カメラには限界があるため、機能を過信しない。**
道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

LDW (車線逸脱警報) について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、警報音（ブザー）とともにメーター内のLDW (車線逸脱警報)警告灯が点滅します。

レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



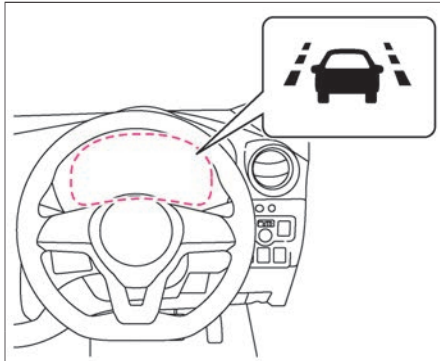
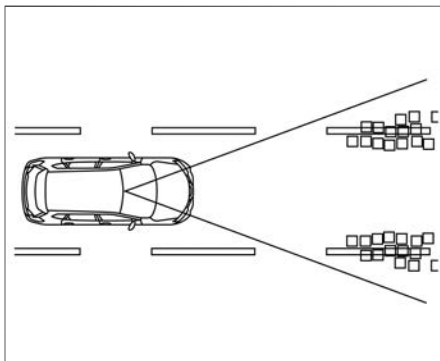
知識

- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。
(方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません)

インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカに近づいたと判断すると、警報音（ブザー）とともにメーター内のインテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 警告灯が点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、車両を車線内に戻す方向に制御力を短時間発生させて車両を車線内に戻す操作を促します。

レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



知識

- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報もブレーキ制御も行いません。
(方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません)

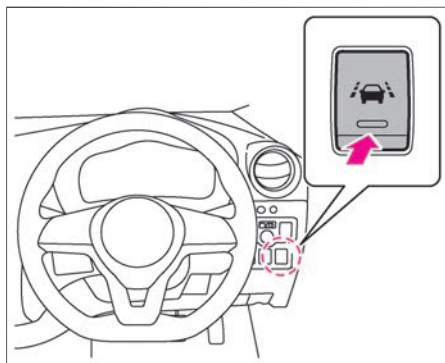
LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) の使いかた

LDW (車線逸脱警報)

インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 付車

- インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) がOFFの状態 (スイッチ表示が消灯している状態) のときに、LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) スイッチを長押し (約4秒間) すると、ON・OFFが切り替わり、スイッチの表示灯が3回点滅します。
 - － “ピッ、ピッ、ピッ、ピッ” と4回ブザー音が鳴ると、ONになります。
 - － “ピー” と1回ブザー音が鳴ると、OFFになります。

ブザー音	ON・OFF状態
4回	ON
1回	OFF



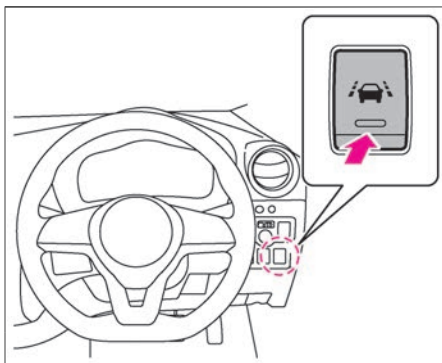
知識

インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 付車

- エンジンを始動したときにLDW (車線逸脱警報) がONの場合は、スイッチ表示灯が約4秒間点灯します。LDW (車線逸脱警報) がOFFの場合は、消灯のままです。
- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 無車

- LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) スイッチを押すごとにON・OFFが切り替わります。
- 設定をONにすると、スイッチの表示灯が点灯します。

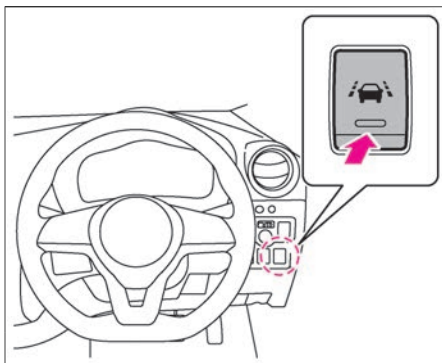


知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

■ インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム)

- LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) スイッチを押すごとにON・OFFが切り替わります。
- 設定をONにすると、スイッチの表示灯が点灯します。



知識

- エンジンを停止するとインテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) は自動的にOFFになります。

LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) に関する注意事項


⚠ 警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) を使用しないでください。
 - － 悪天候 (雨、雪、霧など) のとき
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - － 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - － 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - － 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
 - － 純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - － 検出しにくいレーンマーカー (不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー) がある道路を走行するとき
 - － 急なカーブのある道路を走行するとき
 - － 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
 - － 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき (これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります。)
 - － 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき

次ページに続く

 警告

- － 自車がレーンマーカに対してまっすぐに走行していないとき
- － 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
- － 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- － 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
- － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- － 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

 アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

■ 作動が停止するとき

LDW (車線逸脱警報)

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) スイッチの表示灯が点滅し、一時的に作動が停止します。(室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。)
- システムに異常があると、メーター内のLDW (車線逸脱警報)警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。
警告灯 (👉P.365)

インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム)

- 次の場合は、“ポー”というブザー音とともに警告灯が表示され、自動的に作動を解除します。
 - － ABSまたはVDC (トラクションコントロールは含まない) が作動したとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度スイッチをOFFにし、再度LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) スイッチをONにしてください。
- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) スイッチの表示灯が点滅し、一時的に作動が停止します。(室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。)
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。
警告灯 (👉P.365)

アドバイス

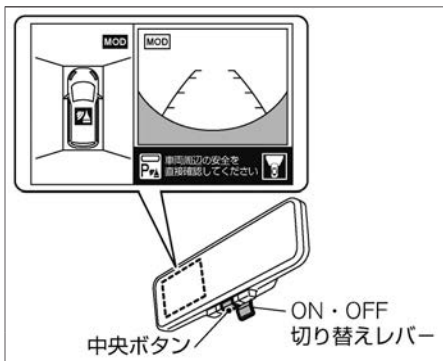
- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(👉P.437)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (👉P.365)

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

インテリジェント アラウンドビューモニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

インテリジェント アラウンドビューモニターについて

- インテリジェント アラウンドビューモニターはインテリジェント ルームミラーに表示されます。
- 電源ポジションがONのときに、インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引き、中央ボタンを押すか、セレクトレバーを **R** にすると表示します。



警告

- **インテリジェント アラウンドビューモニターの機能を過信しない。**
インテリジェント アラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リアビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。
- **実際の距離感を間違えないように注意する。**
インテリジェント アラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

知識

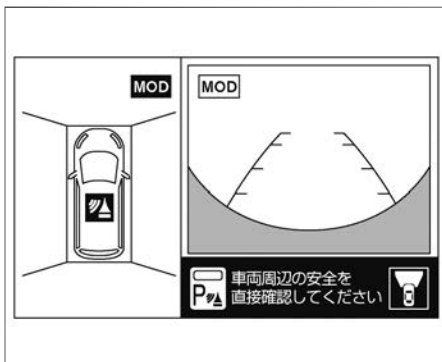
- インテリジェント ルームミラーの設定で、インテリジェント アラウンドビューモニター画面位置を切り替えることができます。

 知識

- 🔍 インテリジェント アラウンドビュー
モニター画面位置の切り替えかた (P.130)

インテリジェント アラウンドビューモニターの使用かた

- インテリジェント ルームミラーがインテリジェント ルームミラーモードの時に使用できます。
 ② インテリジェント ルームミラー（インテリジェント アラウンドビューモニター表示機能付）★ (P.125)
- セレクトレバーを **R** にするとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）を表示します。セレクトレバーを **R** から他の位置にすると、インテリジェント アラウンドビューモニターがOFFになります。
- セレクトレバーが **D** または **L** のときに、ソナーが障害物を検知したときはインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。障害物の検知がなくなると、インテリジェント アラウンドビューモニターはOFFになります。
- インテリジェント ルームミラーの中央ボタンを押すとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。



警告

- ドアミラーを格納した状態で使用しない。
適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

知識

- インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、インテリジェント アラウンドビューモニターがOFFになります。
- 中央ボタンを押すことで、左側画面を切り替えることができます。トップビュー→サイドブラインドビュー→インテリジェント アラウンドビューモニターOFF
- 右側画面にフロントビューが表示されているときにセレクトレバーを **R** にすると、リヤビューに切り替わります。セレクトレバーを **R** から他の位置にすると、再度、フロントビューに切り替わります。

3分タイマー機能

 知識



- インテリジェント ルームミラーの中央ボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターを表示させてから、約3分後に自動的にインテリジェント アラウンドビューモニターの表示が消える機能です。セレクタレバーが**R**以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中に中央ボタンを押すとタイマーがリセットされます。）

画面の見かた

①左側画面

- トップビューまたはサイドブラインドビューを表示します。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

- 移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。
 -  : 移動物 検知機能が作動します
 -  : 移動物 検知機能が作動しません



③右側画面

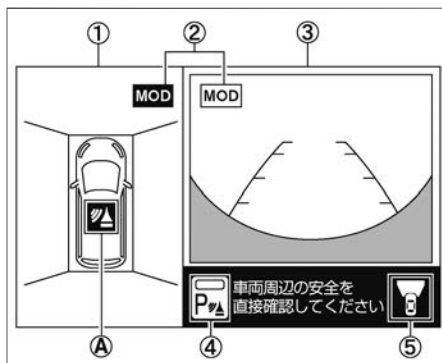
- セレクトレバーが **R** のときはリヤビューを、**R** 以外の場合はフロントビューを表示します。

④ソナーインジケータ

- ソナー機能のONまたはOFFを表します。ソナー機能がONのときはソナーインジケータが点灯し、OFFのときは消灯します。

⑤方向指示アイコン

- 右側画面の映している方向を表します。
 -  : リヤビュー表示
 -  : フロントビュー表示



知識

- 電源ポジションをONにしてから初めてインテリジェント アラウンドビューモニターを表示したときに、アイコン②の色と点滅（約3秒間）で、ソナーの作動状況を表します。
 - 赤色に点滅：ソナーON
 - 灰色に点滅：ソナーOFF（ソナーをOFFにした直後も点滅します。）
- 表示しているビューで映している範囲でのみ移動物 検知機能が作動します。例えば、リヤビューで移動物 検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

画面表示の種類について

■ フロントビュー／リヤビュー

- 車両の前方／後方の映像をインテリジェントアラウンドビューモニター右側画面に表示します。

距離目安ライン

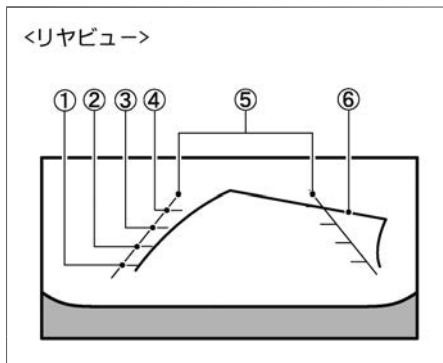
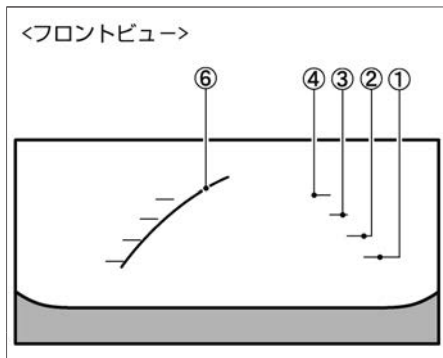
- 車体からの距離の目安を表示します。
 - － ①赤色：約0.5m
 - － ②黄色：約1m
 - － ③緑色：約2m
 - － ④緑色：約3m

⑤車幅目安ライン

- 車幅の目安を示します。

⑥予想進路線

- 運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。
- フロントビューは、車速が10km/hを超えると表示されなくなります。



⚠ 警告

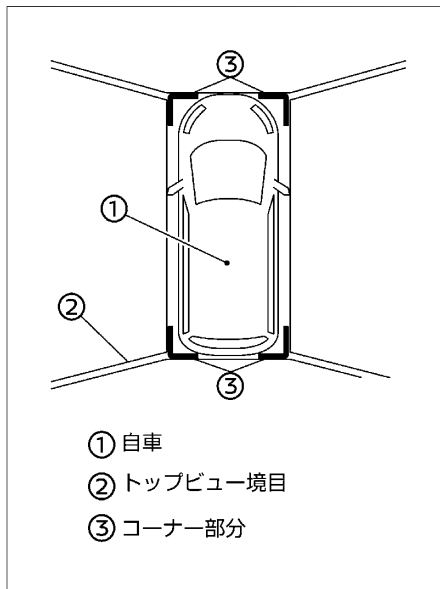
- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

🚗 アドバイス

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

■ トップビュー

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をインテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。
- 自車アイコン①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。カメラでは撮影できない領域トップビュー境目②は、黒色で表示されます。
- 電源ポジションをONにし、トップビューを表示すると、トップビュー境目②と撮影されないコーナー部分③は、約3秒間黄色で強調表示されます。ソナーがOFFのとき、撮影されないコーナー部分③は赤色で表示されます。



⚠ 警告

- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせ処理した疑似的な映像のため、トップビューは障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

■ サイドブラインドビュー

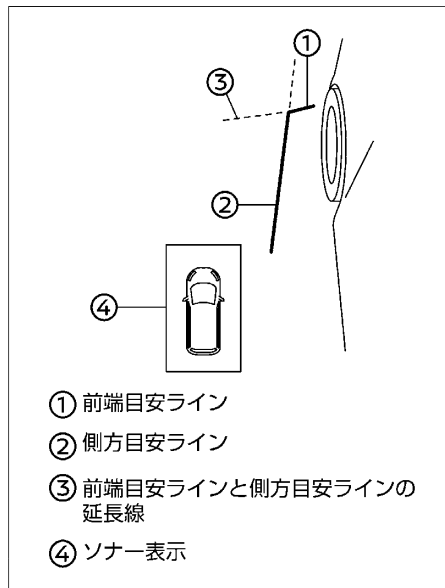
- 車両の左側前輪付近から前方を、インテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

目安ライン

- モニターには車幅と車両の前輪を示す目安ラインが表示されます。
 - － ①前端目安ラインは、車両前部の位置の目安を示します。
 - － ②側方目安ラインは、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
 - － ③前端目安ラインと側方目安ラインの延長線は、緑色の破線で表示します。

ソナー表示

- ④ソナー表示はサイドブラインドビューを表示させると、表示されます。



🚗 アドバイス

- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。

移動物 検知機能について

- 車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。
- 車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。
- トップビューに **MOD** 表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。
- 移動物 検知機能は以下の条件のとき、**MOD** が表示されている画面で作動します。
 - － セレクトレバーが **P** または **N** で停車しているときに、トップビュー側で作動します。
 - － セレクトレバーが **D** で車速約8km/h以下のときに、フロントビューで作動します。
 - － セレクトレバーが **R** で車速約8km/h以下のときに、リヤビューで表示します。

⚠ 注意

- 車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

📖 知識

- ソナーブザーが鳴っている場合は移動物 検知機能ブザーは鳴りません。
- サイドブラインドビューには移動物 検知機能がないため、**MOD** アイコンを表示しません。

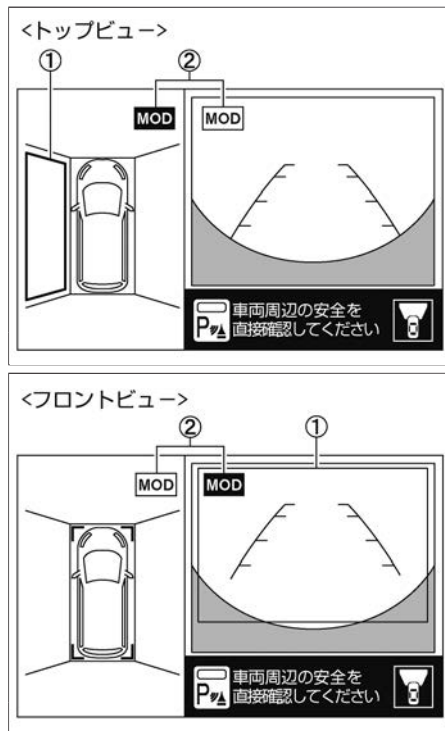
画面の見かた

①移動物 検知表示

- 移動物 検知機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

- 移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。
 - MOD : 移動物 検知機能が作動します
 - MOD : 移動物 検知機能が作動しません

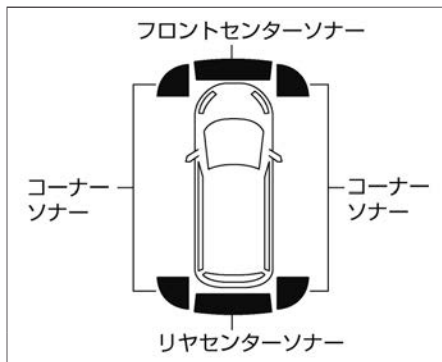


知識

- 以下の場合には移動物 検知機能は作動しません。
 - 車速やセレクトレバーの位置が移動物 検知機能の作動条件から外れている場合
 - トップビューによる移動物 検知機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
 - リヤビューによる移動物 検知機能作動中でバックドアが開いている場合
- トップビューによる移動物 検知機能作動中で電動格納ミラーが作動していると、誤検知する場合があります。

ソナー機能について

- インテリジェント ルームミラーがインテリジェント ルームミラーモードのとき、車速約10km/h以下で前進中にソナーが障害物を検知した場合は、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニター画面に切り替わり、ソナー表示とブザーでお知らせします。
- ソナー表示はトップビューまたはサイドブラインドビュー画面に表示されます。



⚠ 警告

- バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、誤検知する場合があります。

⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物が動いていたり小さい場合にはセンサーが検知できないことがあります。必ず周囲の安全を確認してから運転してください。
- センサーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリなどを取り付けないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

■ コーナーソナー

障害物までの距離（目安）	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■ フロントセンターソナー

障害物までの距離（目安）	100～70cm	70～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	遅い	早い	点灯
ブザー音	無し	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■ リヤセンターソナー

障害物までの距離（目安）	150～70cm	70～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

次ページに続く

■ ソナー表示色

- ソナー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

■ ブザー音

- 障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
- 障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- フロントソナーが検知したときは低音、バックソナーが検知したときは高音でお知らせします。
- コーナーソナーが検知したときは障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音は消え、ソナー表示のみとなります。

■ ソナー機能OFF


- カメラ画面表示中にインテリジェント ルームミラーの中央ボタンを長押し（約3秒間）すると、ソナー機能がOFFになります。再度中央ボタンを長押し（約3秒間）するとONになります。

■ ソナーによるカメラ画面の自動表示機能

- セレクトレバーが **D** かつ車速約10km/h以下でカメラが表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知した場合はインテリジェント アラウンドビューモニター画面を自動で表示します。
- 障害物がなくなると、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニターはOFFになります。
- インテリジェント ルームミラーの中央ボタンを操作した場合には戻りません。

 警告

- カメラはフロントグリル中央部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けしないでください。字光式ナンバープレートを装着すると、リヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。
- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。

 アドバイス

- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなる場合があります。カメラを清掃してください。
🔄 フロントビュー★/サイドビューカメラ★の取り扱い (P.438)
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて含ませた布でふき取ったあと、乾いた布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。

 知識

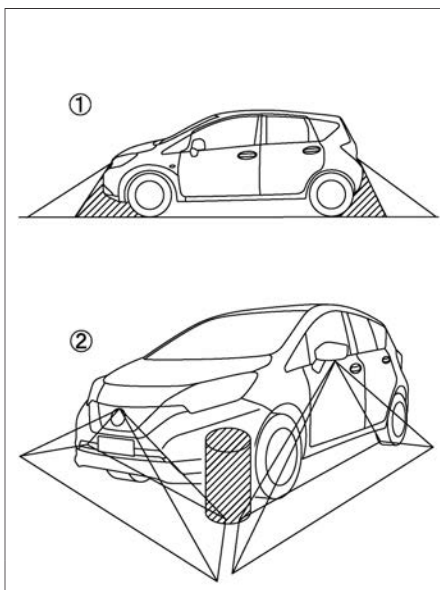
- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広くなっています。
- セレクトレバーが **R** 以外のとき、インテリジェント ルームミラーの中央ボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターを表示させたあと、約3分間操作を行わないでいると、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニター表示が消えます（3分間タイマー機能）。
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。インテリジェント アラウンドビューモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなる場合がありますが、異常ではありません。

 知識

- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなる場合がありますが、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出る場合がありますが、異常ではありません。
- インテリジェント アラウンドビューモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。
- 暗い所や夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見える場合がありますが、異常ではありません。
- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じる場合があります。
- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
 - － 立体物が倒れこんで見える
 - － 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
 - － 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
 - － 各カメラ画像の明るさが違う

映し出す範囲

- 特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビューまたはリヤビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。

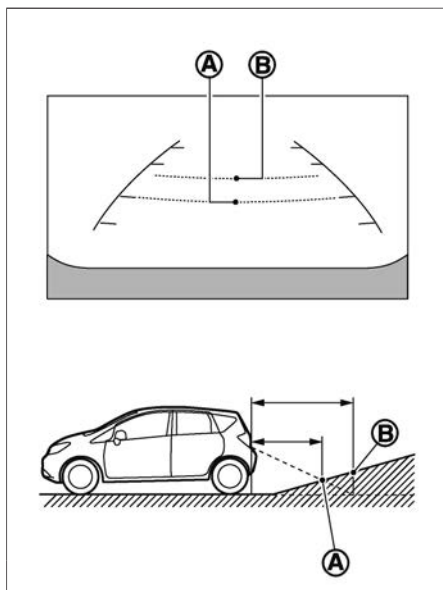


映像と実際の路面との誤差

- フロントビューとリヤビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

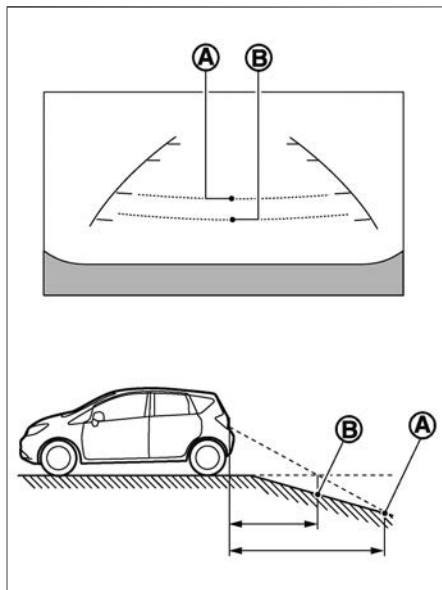
急な上り坂が後方にあるとき

- 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くに見えるようになります。



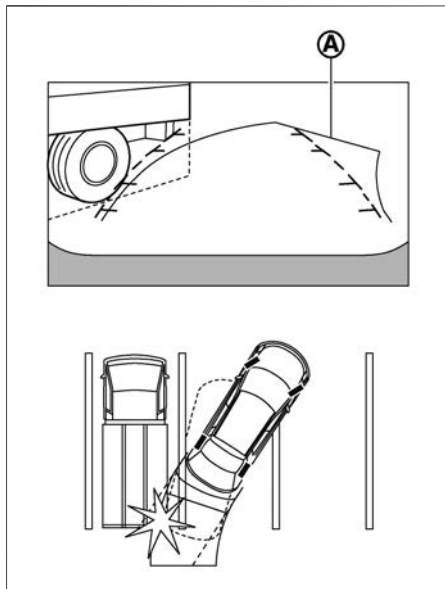
急な下り坂が後方にあるとき

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置①までの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置②です。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くに見えるようになります。

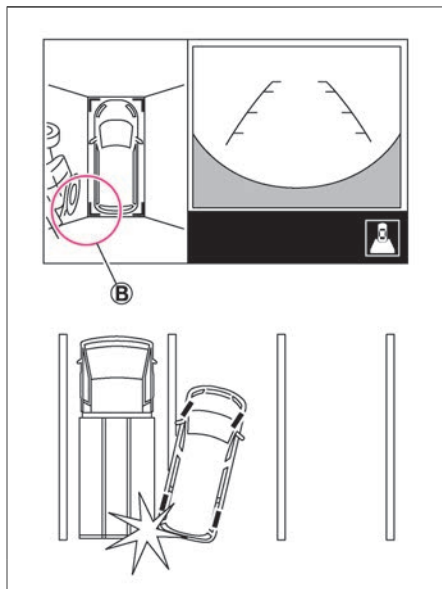


立体物が近くにあるとき

- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
- 例1: 予想進路線Ⓐは表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。

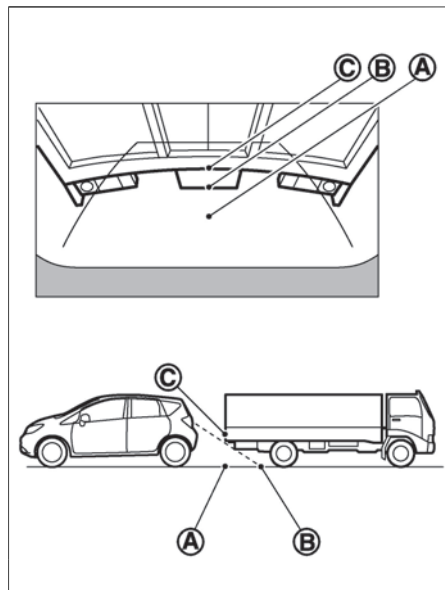


- 例2:表示されているトップビュー[Ⓑ]では、自車とトラックの車体間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。



立体物に接近するとき

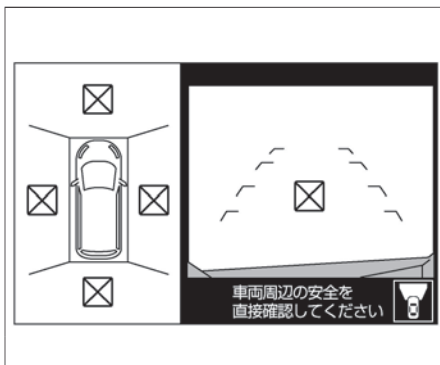
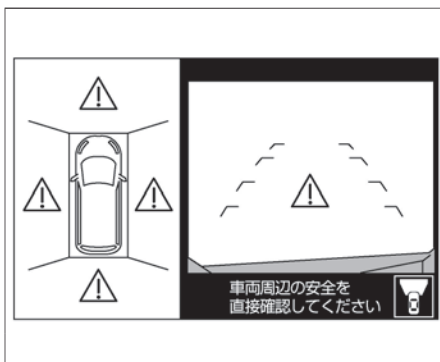
- ㉔の位置は㉓の位置よりも遠くにあるように見えますが、実際は㉑の位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、㉑の位置まで下がるとぶつかることがあります。



画面のエラー表示について

△ アイコンが画面内に表示された場合は、インテリジェント アラウンドビューモニターの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

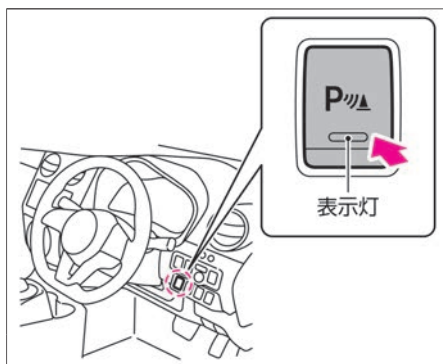
☒ アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。



車速約10km/h以下で前進中または後退中にソナーが障害物を検知した場合は、ブザー音でお知らせします。

ソナーシステムについて

- 車両が障害物に近づくと、ブザー音が鳴ります。障害物との距離に応じて、音の間隔が変わります。
- 次の場合にソナー機能が作動します。
 - － セレクトレバーを **R** にしたとき
 - － セレクトレバーが **D** で障害物を検知したとき (10km/h 以下)
- ソナー作動中にソナースイッチを押すと、一時的にソナー機能を停止できます。(スイッチの表示灯が消灯します。)
- ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
 - － セレクトレバーを **R** 以外にしてから再度 **R** にしたとき
 - － 約15km以上に加速したのち約10km以下に減速したとき
 - － 電源ポジションをOFFにして、再度ONにしたとき
- ブザー音の鳴りかたについては、インテリジェント アラウンドビューモニター (移動物 検知機能付) 装着車と同じです。詳細は (➡P.301) をお読みください。



知識

- ソナーのお手入れについては、(➡P.440) をお読みください。

MEMO



運
転
の
し
か
た

室内灯

マップランプ★/ルームランプ	P.316
----------------	-------

収納装備

グローブボックス	P.318
----------	-------

インストアッパーボックス	P.319
--------------	-------

カップホルダー/ボトルホルダー	P.320
-----------------	-------

その他の室内装備

電源ソケット	P.323
--------	-------

フロアカーペット	P.325
----------	-------

サンバイザー/バニティミラー★	P.327
-----------------	-------

カードホルダー	P.328
---------	-------

ラゲッジサイドフック	P.329
------------	-------

マップランプ/ルームランプの使いかた/ラゲッジルームランプについて

マップランプ/ルームランプの使いかた

- マップランプは、天井部の車両前方にあります。
- ルームランプは、天井部の車両中央にあります。
- 次のように点灯・消灯します。

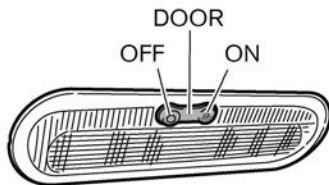
スイッチ	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
DOOR (中立)	ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	消灯

ラゲッジルームランプについて

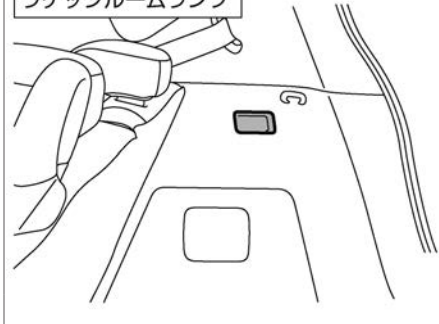
ラゲッジルームランプはラゲッジルームの右側にあります。

- バックドアを開けると自動で点灯し、バックドアを閉めると消灯します。

マップランプ/ルームランプ



ラゲッジルームランプ



🚗 アドバイス

- エンジンが停止しているときは、マップランプ、ルームランプおよびラゲッジルームランプを長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

📖 知識

キー連動室内照明システム（ラゲッジルームランプを除く）

- マップランプ/ルームランプのスイッチがDOOR位置にあると、次の条件で点灯します。
 - － キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから約15秒間
 - － キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を解錠してから約15秒間
 - － キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を閉めてから約15秒間
 - － ドアが開いているとき
- キー連動室内照明システムのON・OFFを切り替えたい場合は、日産販売会社へご相談ください。

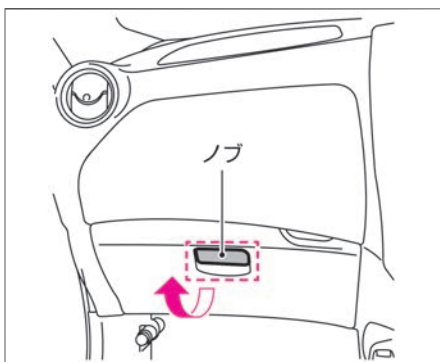
 知識

バッテリーセーバー

- マップランプスイッチおよびルームランプスイッチをDOOR位置にし、ドアを開けたまま15分以上放置した場合には、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。

グローブボックスの使いかた

- 開けるときは、ノブを手前に引きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



⚠ 注意

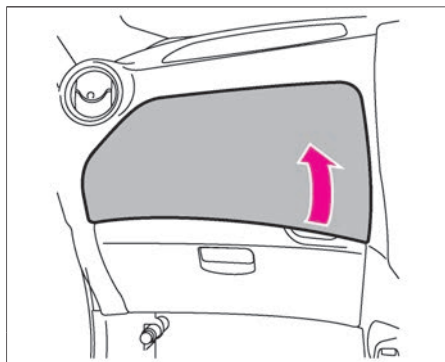
- **グローブボックスを開けたまま走行しない。**
走行中に収納したものが飛び出したり、開いたふたが身体に当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- **ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。**
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

📖 知識

- ふたの裏にはカードホルダーが付いています。

■ インストアッパーボックスの使いかた

- 開けるときは、ふたを持ち上げます。
- 閉めるときは、ふたを下ろします。

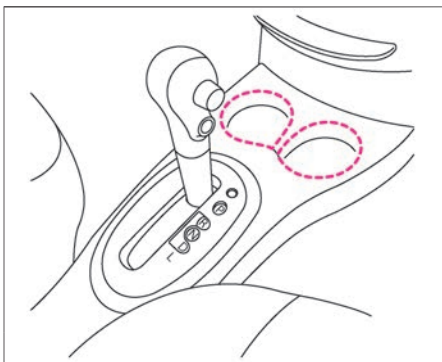


⚠ 注意

- ふたを開けたまま走行しない。
収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

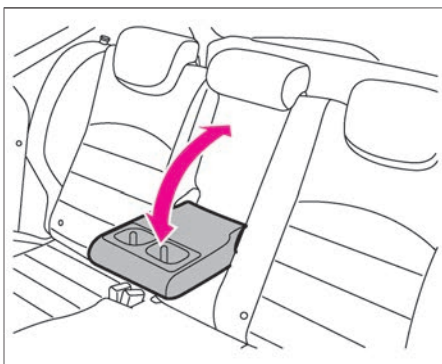
■ 前席シート用カップホルダーについて

- センターコンソールの前側にあります。



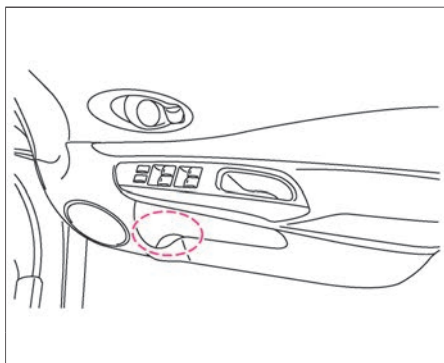
■ 後席用カップホルダー★について

- 後席アームレストを前に倒して使います。
- 元に戻すときは、アームレストを起こします。



■ ボトルホルダーについて

- ボトルホルダーは、前席および後席のドアポケットにあります。




■ カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項

 警告

- 走行中に飲物を出し入れしない。
走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。
- ビンなどの硬いものは入れない。
側面衝突などの事故のとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

 注意

- 飲物をこぼさないように注意する。
飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。
- 車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。
故障や火災のおそれがあります。

 アドバイス

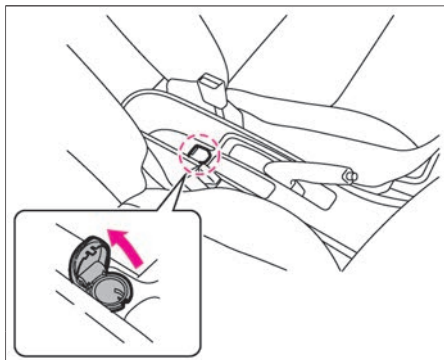
- 飲物や液体がいっぱいに満たされた容器をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、漏れ出したりして、車両の電子機器などに損傷を与えるおそれがあります。いっぱい満たされた容器を置かないでください。

電源ソケット

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。キースイッチ（電源ポジション）がONまたはACCのときに使えます。


電源ソケットの使いかた

- 電源ソケットはセンターコンソールにあります。
- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源をOFFにするか、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてください。




警告

- **電源ソケットを使うときは、次のことを守る。**
電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。
 - － 2マタソケットなどでタコ足配線をしてはならない
 - － 消費電力120W以下のものを使用する
 - － 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入する
 - － 使用中や使用後はソケットやプラグに注意する
 - － シガーライターをソケットに差し込まない
 - － ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない

 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンを始動した状態で使用してください。また、長時間使用した

 **アドバイス**

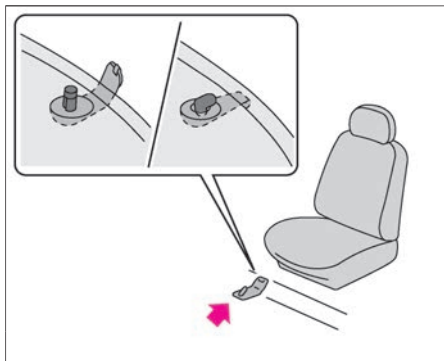
り、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォグガーなどを同時に使用したりしないでください。

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

固定のしかた

- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。



警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用する。
フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬ速度が出る、またはブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。
 - － 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない
 - － フロアカーペットでペダルを覆わない
 - － フロアカーペットを重ねて敷かない
 - － 運転席専用のフロアカーペットを使用する
 - － フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返して使用しない
- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的確認し、洗車後は必ず確認する。
- 運転に支障がないことを確認する。
運転する前、キースイッチ（電源ポジ

次ページに続く

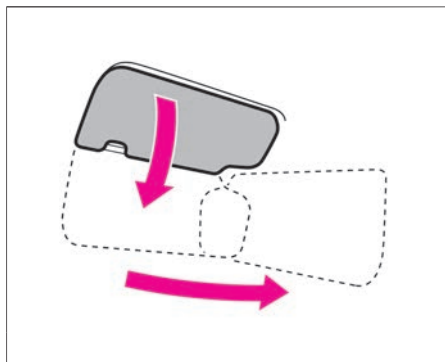
 警告

ション) がOFFの状態です。オートマチック車はセレクトレバーがP、マニュアル車はシフトレバーがNのとき、各ペダルをいっばいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

- **タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。**
火災につながるおそれがあります。

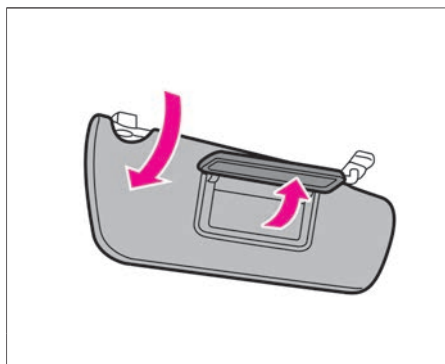
サンバイザーの使いかた

- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げて、フックから外し、横にして使います。



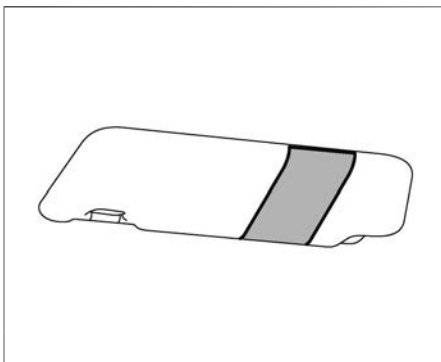
バニティミラーの使いかた

- サンバイザー裏側にバニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げて、カバーを開けて使います。



カードホルダーの使いかた

- 運転席側のサンバイザーにカードホルダーが付いています。
- カードをスライドさせ、差し込みます。

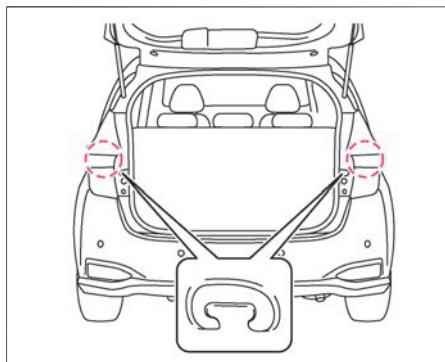


アドバイス

- 炎天下での駐車は車室内が大変高温になりますので、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

ラゲッジサイドフックの使いかた

買い物袋などを引っ掛けるときに使います。



アドバイス

- フックには大きな力がかからないようにしてください。フックが破損するおそれがあります。
- 3kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

MEMO

トラブルがおきたときは

まずはじめに

故障したときは	P.332
発炎筒	P.333
けん引について	P.334

緊急時の対処方法

パンクしたときは	P.339
ドアが開かないときは	P.349
インテリジェントキーで始動できないときは★	P.351
ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは	P.352
バッテリーがあがったときは	P.353
警告灯がついたときは	P.358
表示灯がついたときは	P.367
ブザー（警報音）が鳴ったときは	P.370
窓ガラスがくもったときは	P.372
オーバーヒートしたときは	P.375
セレクトレバーが動かないときは（オートマチック車）	P.377
雪道やぬかるみにはまったときは	P.378
ヒューズが切れたときは	P.379
電球（バルブ）が切れたときは	P.383

故障したときは

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

故障したときの対処のしかた

1	非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。	
2	同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。 ➡ 発炎筒 (P.333)	
3	運転者もガードレールの外側などに避難します。避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないように注意してください。	
4	非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。	

警告

- 発炎筒はトンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

注意

- エンジンが停止しているときは慎重に運転する。
故障によりエンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりするので慎重に運転してください。

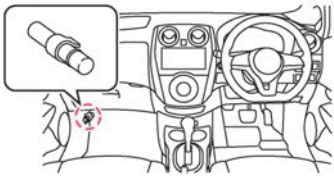
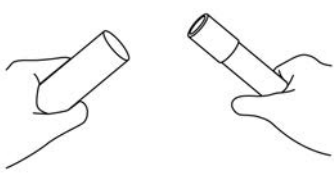
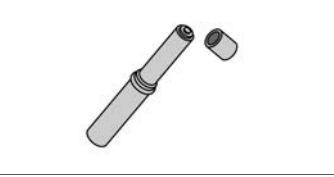
アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

発炎筒

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

1	助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。	
2	本体をひねりながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。	
3	先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。	

警告

- **お子さまには触らせない。**
いたすらなどで発火するおそれがあり危険です。
- **可燃物の近くで使用しない。**
引火するおそれがあります。
- **点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。**
やけどをするおそれがあります。
- **トンネル内では使用しない。**
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

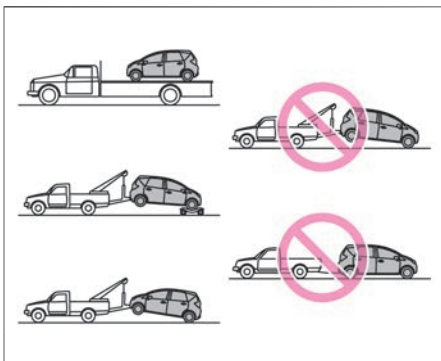
アドバイス

- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。
やむをえずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

けん引時の注意事項

- 車両が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 車両を運搬するときは、前輪または4輪を持ち上げてください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、オートマチック車はセレクトレバーをN、マニュアル車はシフトレバーをNに入れて行ってください。
- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損するおそれがあります。できるだけレッカー車、またはトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。



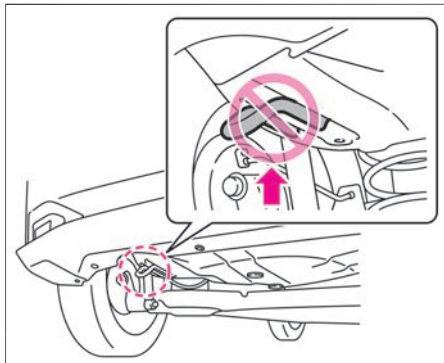
⚠ 注意

- 前輪を持ち上げてけん引するときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにしない。VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

他車のけん引について

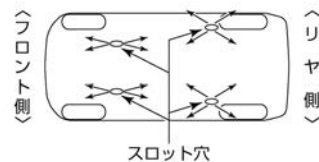
この車両で他車をけん引することはできません。後ろ側についているフックは船舶輸送時の固定専用です。

けん引やトレーラー輸送などの固定には絶対使用しないでください。

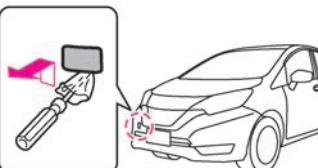
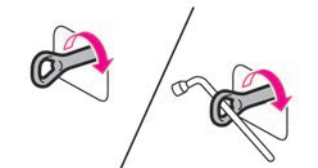
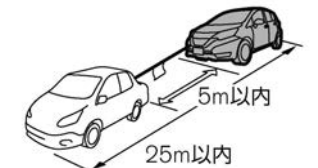
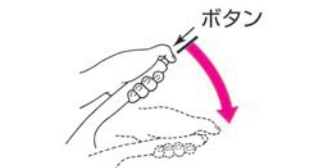


アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。
- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のスロット穴を使い固定してください。



やむをえず4輪接地でけん引されるときは

<p>1</p>	<p>先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。</p>	
<p>2</p>	<p>ホイールナットレンチを使用して、けん引フックを取り付けます。 ➡ 工具、ジャッキ、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.401)</p>	
<p>3</p>	<p>自転車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に30cm×30cm 以上の白い布を取り付けます。 ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。</p>	
<p>4</p>	<p>エンジンを始動しオートマチック車はセレクトレバーをN、マニュアル車はシフトレバーをNに入れ、パーキングブレーキを解除します。</p>	

⚠ 警告

インテリジェントキー付車

- 4輪接地でけん引されるときは、電源ポジションをOFFにしない。

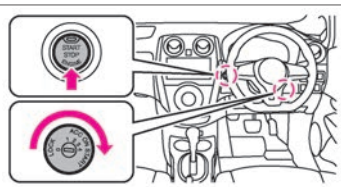
電源ポジションがOFFでバッテリーがあがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをOFFにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

リモートコントロールエントリーシステム付車

- 4輪接地でけん引されるときは、キースイッチをLOCKにしない。ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。

5

エンジンを始動できないときはキースイッチ（電源ポジション）をONにし、オートマチック車はセレクトレバーを**N**、マニュアル車はシフトレバーをNにしてください。



⚠ 注意

- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなるので注意する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。
ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。

アドバイス

- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

 知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両にはスベアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。
タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

応急修理を行うときは、次の準備をしてください。

- 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
- パーキングブレーキをかける。
- オートマチック車はセレクトレバーをP、マニュアル車はシフトレバーをRにする。
- キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする。
- 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を置く。
- ➡ 故障したときの対処のしかた (P.332)
- 人や荷物を降ろす。
- 工具、タイヤ応急修理キットを取り出す。
- ➡ 工具、ジャッキ、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.401)
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理ができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。
 - － 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - － タイヤサイド部が損傷を受けたとき
 - － ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
 - － タイヤがホイールから外れているとき
 - － ホイールが破損しているとき
 - － タイヤが2本以上パンクしているとき
 - － 修理剤の有効期限が切れているとき



アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。

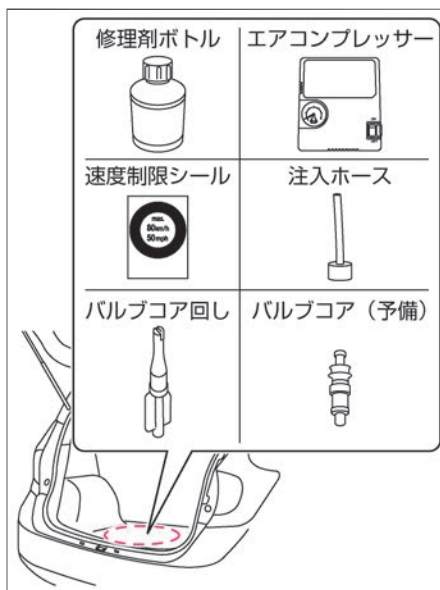


知識

- タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

■ タイヤ応急修理キットについて

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。



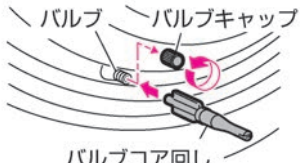


知識

- 車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。

応急修理のしかた


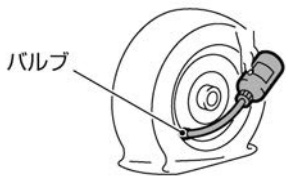


■ 修理剤の注入

1	修理剤ボトルとエアコンプレッサーを取り出し、修理剤ボトルをよく振ります。	
2	修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたを付けたまま注入ホースをねじ込みます。 (注入ホースをねじ込むと内ぶたが破れます。)	
3	パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを外し、ビニール袋に入っているバルブコア回しの後ろでバルブ内のバルブコアを押し、タイヤの空気を完全に抜きます。	

知識

- 修理剤ボトルは注入ホースをねじ込む前によく振ってください。注入ホースをねじ込んだあとに修理剤ボトルを振ると、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 修理剤は衣服などに付着すると取れなくなるおそれがありますので注意してください。
- 寒冷時には修理剤の粘度が高くなり、注入作業がしにくくなります。その場合、車内などで温めると注入作業がしやすくなります。

パンクしたときは

4	バルブコア回しでバルブコアを回し、取り外します。	
5	注入ホースをバルブに差し込みます。その後、修理剤ボトルをさかさまにして持ち、修理剤が全てタイヤ内に注入できるまで何回も圧迫します。	
6	注入し終わったら、注入ホースをバルブから引き抜き、バルブコア回しを使ってバルブコアをバルブにしっかりとねじ込みます。	
7	注入が終わった空ボトルから修理剤が漏れるのを防ぐため、注入ホースの先端にバルブコア回しを差し込んで栓をします。	

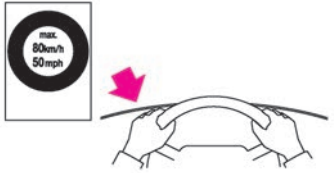
⚠ 注意

- バルブコアは慎重に取り外す。外すときにタイヤに空気が残っていると、コアが飛び出すおそれがあります。

📖 知識

- バルブコアは汚れないようにきれいに保管してください。
- 空になった修理剤ボトルは、タイヤ交換または恒久修理のときに修理剤の回収に使いますので、捨てずに日産販売会社または修理業者までお持ちください。

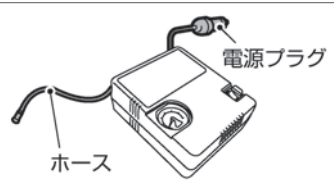
パンクしたときは

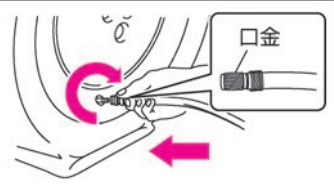
8	速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼ります。	
----------	----------------------------	--

⚠ 注意

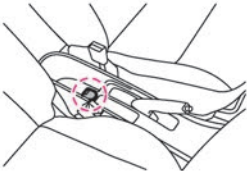


- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

■ エアの注入

1	エアコンプレッサーに格納されているホースと電源プラグを取り出します。	
----------	------------------------------------	--

2	エアコンプレッサーのホースの口金をタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。	
----------	--------------------------------------	--

トラブルがおきたときは

3	電源プラグを車内の電源ソケットに差し込みます。	
4	キースイッチ（電源ポジション）をACCにします。	
5	エアコンプレッサーのスイッチをONにし、タイヤを指定空気圧まで昇圧させます。	
6	指定空気圧または180 k Paまで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチをOFFにし、電源プラグを電源ソケットから抜きます。	
7	ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。	

⚠ 注意

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあるため、やけどしないように注意する。

🚗 アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、15分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

📖 知識

- タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示してあります。

15分以内に指定空気圧または180kPaまで昇圧できない場合

15分以内に指定空気圧または180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。

日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき

ホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

■ 点検走行

1 ただちに走行を始め、10分間または5km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

2 走行後、エアコンプレッサーのスイッチがOFFになっていることを確認し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

エアコンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。


JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

⚠ 注意

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

 アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。

タイヤ応急修理キットの注意事項


注意

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤ応急修理キットは、搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しない。
- タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はできません。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。
故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

- 修理剤を口に入れない。
修理剤を飲みこむと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合は、水でよく洗い流す。
それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

 アドバイス

タイヤ応急修理キットについて

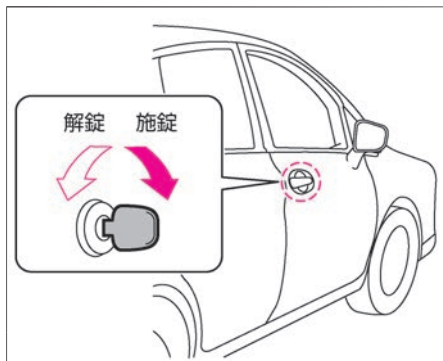
- タイヤ応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

キーの電池が切れたときや、バッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

■ メカニカルキーでのドアの開けかた

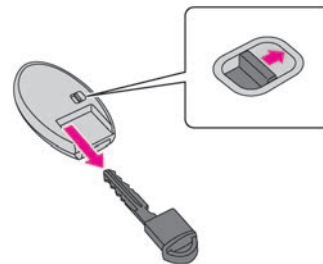
運転席ドアにある鍵穴にメカニカルキーを差し込んで車両後方にメカニカルキーを回すと解錠します。施錠するときは、車両前方にメカニカルキーを回します。



📖 知識

インテリジェントキー付車

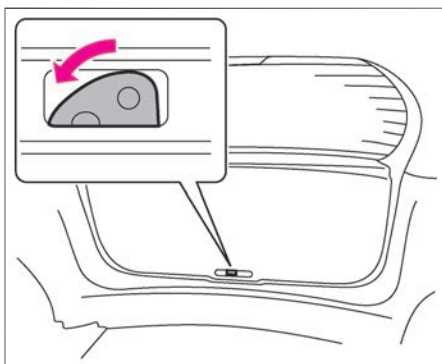
- メカニカルキーはインテリジェントキーに内蔵されています。



緊急時のバックドアの開けかた

バッテリーあがりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- バックドアの車室内側にあるカバーの穴に、お手持ちのマイナスドライバーなどを差し込みます。
- レバーを矢印の方向に動かして解錠し、外側のバックドアハンドルを引いてバックドアを開きます。



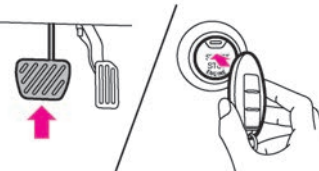
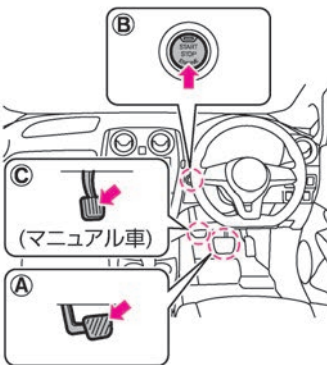
アドバイス


- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェントキーで始動できないときは★

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でエンジンを始動してください。

エンジンの始動のしかた

1	<p>ブレーキペダルを踏み、キー（インテリジェントキー）の裏面をエンジンスイッチに接触させます。 （ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）</p>	
2	<p>ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダル①およびマニュアル車はクラッチペダル②をしっかりと踏み込みながら、エンジンスイッチ③を押します。</p>	

 アドバイス

- 左記の手順でエンジンを始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。

 知識

- 停止操作は通常と同じ手順です。
- 左記手順でエンジンを始動すると、キー（インテリジェントキー）が車内にあってもKEY警告灯が点滅しますが異常ではありません。警告灯の点滅を止めるには、再びキー（インテリジェントキー）をエンジンスイッチに接触させます。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（➡P.349）をご使用ください。
- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
➡キー（インテリジェントキー）の電池交換★（P.425）

ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは

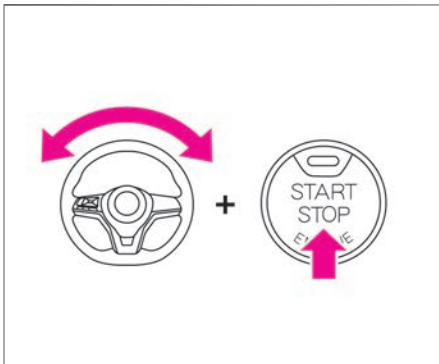
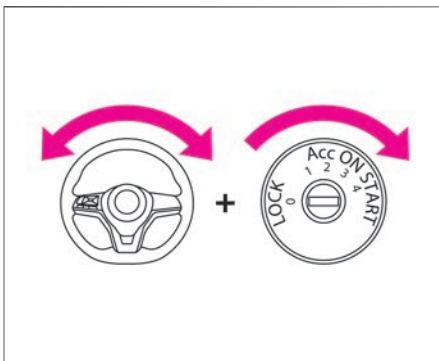
ハンドルがロックされているときはキーが回せなかったり（リモートコントロールエントリーシステム付車）、エンジンスイッチを押しても電源ポジションが切り替わらない場合があります。（インテリジェントキー付車）次の手順でハンドルロック（ステアリングロック）を解除してください。

■ **ハンドルロック（ステアリングロック）の解除のしかた**リモートコントロールエントリーシステム付車

- ハンドルを左右に回しながらキーを回します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。
エンジンの始動のしかた（➡P.167）

インテリジェントキー付車

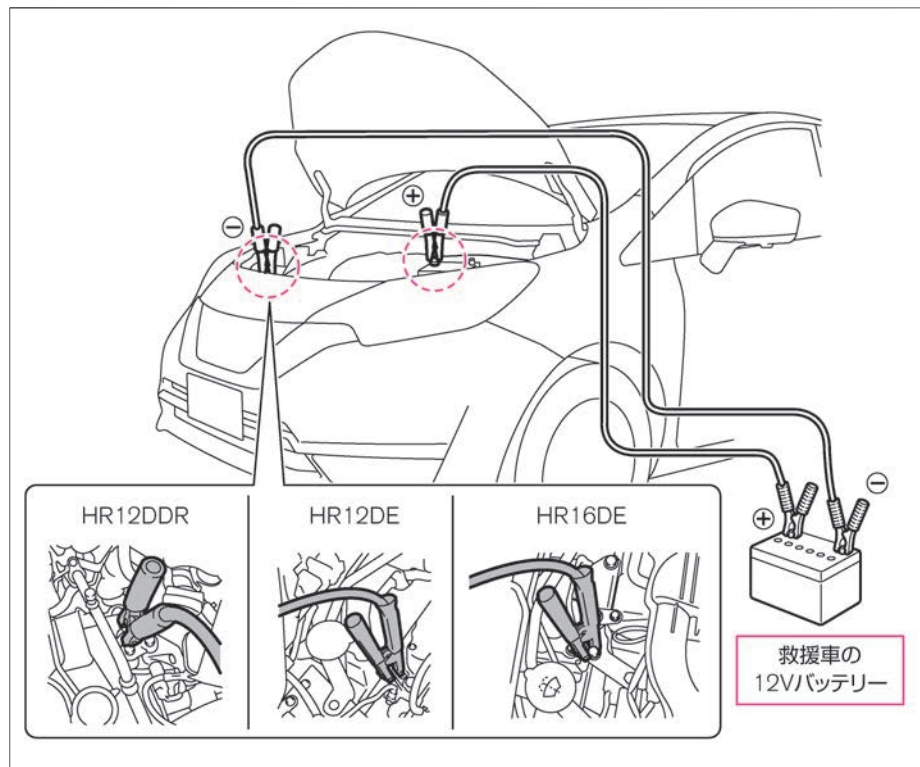
- ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチを押します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。
エンジンの始動のしかた（➡P.160）

🚗 **アドバイス**

- ハンドルがロックされていても、数mm～数cmだけ動かすことができます。その範囲内でハンドルを左右にゆっくり回しながらキーを回す（リモートコントロールエントリーシステム付車）、またはエンジンスイッチを押してください。（インテリジェントキー付車）
- ハンドルがロックされているときはハンドルが重く、力を入れないと回すことができないことがあります。
- インテリジェントキー付車は、バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがり、エンジンの始動ができなくなったときは、救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。



警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなく。
- ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- バッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、

トラブルがおきたときは

次ページに続く

バッテリーがあがったときは

 警告

バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

- **バッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**
しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

バッテリーがあがったときは

ジャンプスタートのしかた

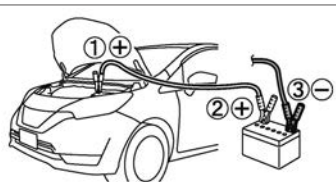
1	<p>自車と救援車のキースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。 インテリジェントキー付車（➡P.165） リモートコントロールエントリーシステム付車（➡P.170）</p>	
2	<p>自車の運転席の右下にあるボンネットオープナーを引いて、ボンネットを開けます。 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.410)</p>	
3	<p>ブースターケーブル①を自車のバッテリーの⊕端子に接続します。</p>	
4	<p>手順3で接続したケーブルの反対側②を救援車のバッテリーの⊕端子に接続します。</p>	

⚠ 注意

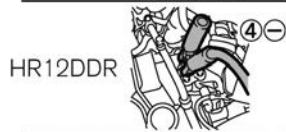
- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意する。
- ブースターケーブルは、確実に接続する。
エンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。
- 冷却ファンやベルトに注意する。
ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

バッテリーがあがったときは

- 5 もう1本のブースターケーブル③を救援車のバッテリーの⊖端子に接続します。



- 6 手順5で接続したケーブルの反対側④を右記のような自車の車体（手順3で接続した位置から離れた未塗装の金属部）に接続します。



- 7 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。


バッテリーがあがったときは

8

自車のエンジンを始動します。
エンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。

インテリジェントキー付車の始動のしかた (➡P.160)

リモートコントロールエントリーシステム付車の始動のしかた (➡P.167)

 アドバイス


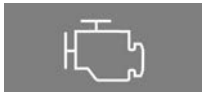

- 押しがけによる始動はできません。
- 救急車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- インテリジェントキー付車は、バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。
- エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
- エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオ★を使用しないでください。



インテリジェントキー付車


- エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。




警告灯がついたときは



警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。





警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	油圧警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 油圧警告灯が点灯したまま走行しない。 エンジンを破損するおそれがあります。
	故障警告灯 (MIL)	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯または点滅したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	充電警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、バッテリーの充電システムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 充電警告灯が点灯したまま走行しない。 バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。





警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ABS警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯し続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <div data-bbox="1050 378 1228 408" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  アドバイス </div> <ul style="list-style-type: none"> ● ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。





警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ブレーキ警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 （パーキングブレーキをかけているときは消灯しません） ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、次の場合は点灯し続けます。 <ul style="list-style-type: none"> － パーキングブレーキをかけているとき － ブレーキ液が不足しているとき － ブレーキシステムに異常があるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 ● パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ● ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パーキングブレーキを解除してもブレーキ警告灯が点灯し続けるときは、点灯したまま走行しない。 ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。 <p>🚗 アドバイス</p> <p>パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行（約7km/h以上）すると、ブザーが鳴りません。</p>


警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	シートベルト警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。 <p>シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● シートベルトを着用してください。 <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 走行中は全員がシートベルトを着用する。 着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
	SRSエアバッグ警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。 	<p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、または点灯や点滅を続けるときは、放置したまま走行しない。 万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
	VDC警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、VDCが作動すると点滅します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、VDC、ヒルスタートアシスト★の電子制御システムに異常があると点灯し続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときはVDC、ヒルスタートアシスト★の作動は停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	燃料残量警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、燃料の残量が少ないと点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに指定の燃料を補給してください。 <div data-bbox="1038 300 1129 325" style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 燃料の残量が約6ℓ以下で点灯します。なお、走行に使用できる燃料容量は、上記残量よりも少なくなります。 ● 車両姿勢、走行状況などによって燃料がタンク内で移動するため、警告灯の点灯するタイミングが変わる場合があります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。 <p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくることがありますが、異常ではありません。
	ヘッドランプ警告灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ポジションがONのとき、LEDヘッドランプに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	KEY警告灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONまたはACCのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されるとKEY警告灯が黄色に点滅します。 ● ハンドルロック（ステアリングロック）やインテリジェントキーのシステムに異常があると、KEY警告灯が黄色に点灯します。 ● インテリジェントキーの電池切れが近くなると、KEY警告灯が緑色に点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントキーは必ず車室内で携帯してください。 ● KEY警告灯が黄色に点灯しているときは、ハンドルロック（ステアリングロック）を解除できないか、エンジンを始動できないおそれがあります。エンジン回転中にKEY警告灯が点灯しても走行を続けることができますが、その場合でも、できるだけ早く日産販売会社に連絡してください。 ● KEY警告灯が緑色に点滅しているときは、電池を新品と交換してください。🔑キー（インテリジェントキー）の電池交換★（P.425）
	📐戻し忘れ警告灯（オートマチック車）★	<ul style="list-style-type: none"> ● セレクトレバーが📐以外で、電源ポジションをONからOFFにすると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● セレクトレバーを📐に入れるか、電源ポジションをONにしてください。
	半ドア警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、いずれかのドアが開いているか、完全に閉まっていないとき点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアを閉めてください。 ●  警告 ● 走行前に警告灯が消えていることを確認する。 ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	高水温警告灯（赤色表示）★	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき、エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、処置してください。  オーバーヒートしたときは (P.375) <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したまま走行しない。 エンジンが故障する原因となり、火災につながるおそれがあります。
	インテリジェントクルーズコントロール警告灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● インテリジェントクルーズコントロールのシステムに異常があると、“ピー”というブザー音とともに点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
	LDW（車線逸脱警報）／インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）警告灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、点滅します。 ● LDW（車線逸脱警報）／インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。








警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● 次の場合は点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> － インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき ● インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストが作動したときは点滅します。 ● 次の場合はゆっくり点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> － フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき － 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき － 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき － フロントガラスの結露や曇りなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ➡ マルチセンシングフロントカメラ★の取り扱い (P.437) ● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。各システムについては、インテリジェントエマージェンシーブレーキ(➡ P.251)および踏み間違い衝突防止アシスト(➡ P.260)をお読みください。








表示灯がついたときは



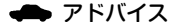


表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。

点灯している理由は、次の説明をお読みください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常点滅表示灯スイッチを押すと左右同時に点滅します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 方向指示器の電球（バルブ）が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。 ➡ 方向指示器の使いかた (P.192) ➡ 電球（バルブ）が切れたときは (P.383)
	ヘッドランプ上向き表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ ハイビーム（上向き）への切り替えかた (P.191)
	テールランプ表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ ライトスイッチの使いかた (P.185)
	SPORT表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ スポーツモードスイッチの使いかた (P.175)
	フォグランプ表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● フォグランプを点灯させると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ フォグランプの使いかた★ (P.195)
	リヤフォグランプ表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● リヤフォグランプを点灯させると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ リヤフォグランプの使いかた★ (P.196)
	ハイビームアシスト表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイビームアシストをONにすると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ ハイビームアシストについて★ (P.188)

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	アイドリングストップ表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップ中またはアイドリングストップが可能な状態のときに点灯します。 ● アイドリングストップ中に、ボンネットが開いたときに、速く点滅します。 ● アイドリングストップに異常があると遅く点滅します。 ● アイドリングストップOFFスイッチをONにすると消灯します。 	<p>速い点滅をしたとき（約1秒間に2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ボンネットが開いていないか確認してください。ボンネットが開いていると、通常のエンジン停止状態となります。その場合はエンジンをかけ直してください。 <p>遅い点滅をしたとき（約2秒間に1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 停車前にアイドリングストップ表示灯が点灯していても、坂道やハンドル操作などによっては停車前アイドリングストップ（HR12DDRエンジン搭載車）またはアイドリングストップが作動しないことがあります。 <p> アイドリングストップ★ (P.204)</p>
	VDC OFF表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、VDC OFFスイッチを押すと点灯します。 	<p> VDC（ビークルダイナミクスコントロール） (P.212)</p>
	セキュリティインジケータ★	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ポジションがON以外のときに点滅します。 <p> イモビライザー（盗難防止装置）★ (P.57)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ポジションをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ECOモードインジケーター★	<ul style="list-style-type: none"> ● ECOモードスイッチをONにすると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ ECOモードの使いかた (P.201)
	低水温表示灯（緑色表示）★	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン冷却水温が低いと点灯します。 ● 電源ポジションをONにすると、高水温警告灯（赤色表示）が約1秒間点灯後、低水温表示灯（緑色表示）が約1秒間点灯して消灯します。 エンジン冷却水温が低いときは、低水温表示灯（緑色表示）が消灯せずに点灯し続けますが、エンジンの暖機により、しばらくすると既定の水温以上に達して、消灯します。 	<p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● しばらく走行したあとも点灯し続けるときは、水温センサーの異常が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 赤色表示が点灯し続ける場合は、高水温警告灯（赤色表示）（➡P.365）をお読みください。
	エンジン始動操作表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントキーを持って車室内に入ると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オートマチック車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルを踏みながらエンジンスイッチを押してください。エンジンが始動します。
	インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチを押すと点灯します。 ● VDCをOFFにすると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各システムについては、インテリジェントエマージェンシーブレーキ（➡P.251）および踏み間違い衝突防止アシスト（➡P.260）をお読みください。 ● VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ➡ VDCの停止のしかた (P.214)

ブザー（警報音）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…（数秒間） （インテリジェントキー付車）	ドアハンドルのスイッチを押したとき	電源ポジションはOFFになっているか キーを車室内またはラゲッジルーム内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キーのドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
	ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを押していないか	
	ピッピッピッ（3回） （インテリジェントキー付車）	ドアを閉めたとき	電源ポジションがONまたはACCのまま、キーが車外に持ち出されていないか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
ピー（継続） （インテリジェントキー付車） （オートマチック車）	ドアを閉めたとき	セレクトレバーが P 以外のままキーが車外に持ち出されていないか	

ブザー（警報音）が鳴ったときは

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピピピッ、 ピピピピッ…（繰り返し） （インテリジェントキー付車）	運転席ドアを開けたとき	電源ポジションがACCのままになっていないか
	ピピッピピッピピッ（3回） （インテリジェントキー付車）	ドアを閉めたとき	電源ポジションがONまたはACCのまま、キーが車外に持ち出されていないか
		エンジンスイッチを押したとき	キーを携帯しているか キーを携帯してもブザーが鳴るときは、キーの電池を交換してください
ピピピピピピッ（約1秒間） （インテリジェントキー付車） （オートマチック車）	エンジンスイッチを押したとき	セレクトレバーを P に入れているか	

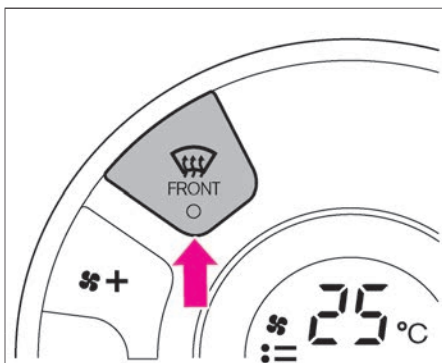
窓ガラスがくもったときは

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

フロントガラスのくもりの取りかた

オートエアコン付車

- デフロスタースイッチを押すとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。（スイッチの表示灯が点灯）
- もう一度スイッチを押すと止まります。（スイッチの表示灯が消灯）



⚠ 注意

- デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

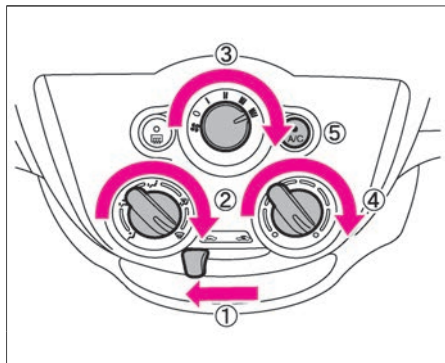

📖 知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも自動的に作動します。

窓ガラスがくもったときは

マニュアルエアコン付車

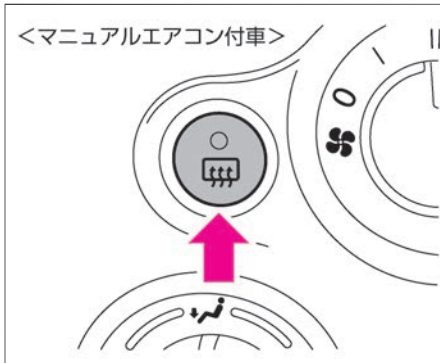
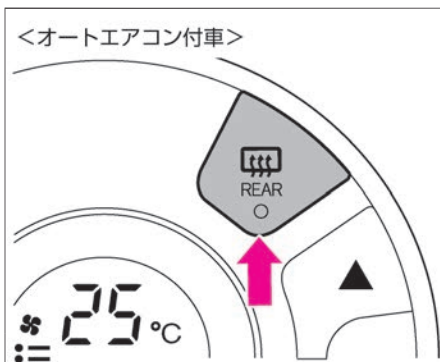

- 内外気切り替えレバー①を外気導入位置にします。
- 吹き出し口切り替えダイヤル②をデフロスター位置にします。
- 風量切り替えダイヤル③を回し、風量を最大にします。
- 温度調節ダイヤル④を高温側に回します。
- A/Cスイッチ⑤を押してONにします。


 アドバイス

- 吹き出し口切り替えダイヤルをデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低温にしないでください。フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。
- 吹き出し口切り替えダイヤルをデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

バックドアガラスのくもりの取りかた

- リヤウインドーデフォグスイッチを押すと約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。
(リヤウインドーデフォグスイッチの表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(リヤウインドーデフォグスイッチの表示灯が消灯)




 アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因になります。


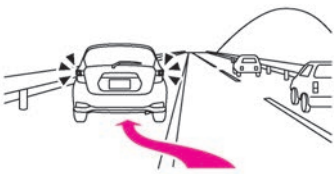
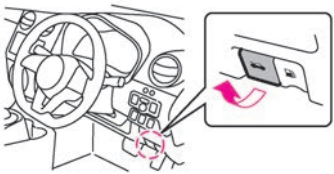

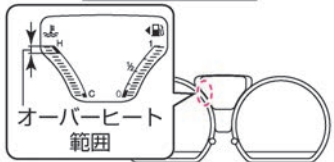
 知識

- リヤウインドーデフォグスイッチを押すと、ドアミラーヒーター★も同時に作動します。

オーバーヒートしたときは

高水温警告灯（赤色表示）（ P.72）が点灯したとき（メータータイプ④）、水温計がオーバーヒート範囲（ P.61）を示したとき（メータータイプ⑤）や、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしています。次の方法で処置してください。

処置のしかた

<p>1</p>	<p>ただちに安全な場所に停車します。  故障したときの対処のしかた (P.332)</p>	
<p>2</p>	<p>エンジンを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。 万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを停止し、自然冷却してください。</p>	
<p>3</p>	<p>メータータイプ④ 高水温警告灯（赤色表示）が消灯したら、エンジンを停止させしばらく待ちます。 エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。 メータータイプ⑤ 水温計がオーバーヒートの範囲より下がったら、エンジンを止めしばらく待ちます。 エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。</p>	<p>メータータイプ④</p>  <p>メータータイプ⑤</p> 

警告

- **ボンネットを開けるときは十分に注意する。**
 エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**
 やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
 エンジンを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- **エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバタンクのキャップを外さない。**
 蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。**
 そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

オーバーヒートしたときは

4

冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。

HR12DEエンジン搭載車 (P.407)

HR12DDRエンジン搭載車 (P.408)

HR16DEエンジン搭載車 (P.409)

補充後は、しっかりキャップを閉めてください。



アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

5

メータータイプ①

走行中、再度高水温警告灯（赤色表示）が点灯したときは、手順1～手順4の作業を繰り返し行ってください。

メータータイプ②

走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、手順1～手順4の作業を繰り返し行ってください。

メータータイプ①



メータータイプ②



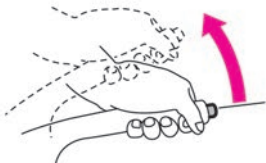
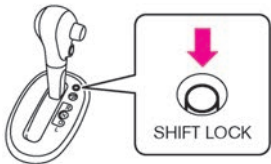
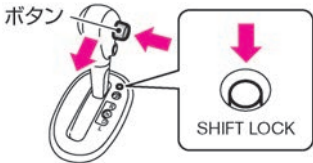
6


早めに日産販売会社で点検を受けてください。

セレクトレバーが動かないときは（オートマチック車）

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときは、次の方法で動かすことができます

セレクトレバーの動かしかた

1	安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。	
2	シフトロック解除ボタンを押し込みます。	
3	シフトロック解除ボタンを押し込んだままセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを動かします。	

 アドバイス

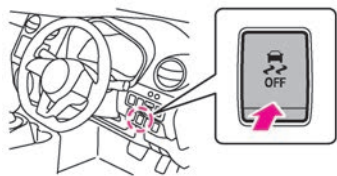
- セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

雪道やぬかるみにはまったときは

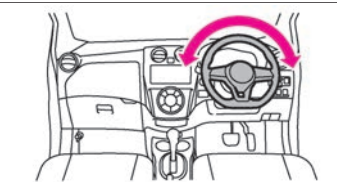
雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

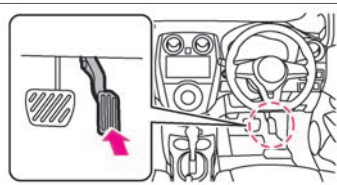
- 1 VDC OFF スイッチを押して、VDC をOFF にします。
 ⤷ VDCの停止のしかた (P.214)



- 2 車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
 必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。



- 3 ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
 周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。



⚠ 警告

- **周囲の安全を必ず確認する。**
 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何も無いことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- **必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。**
 急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。**
 タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品の異常加熱により思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

🚗 アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

ヒューズが切れたときは

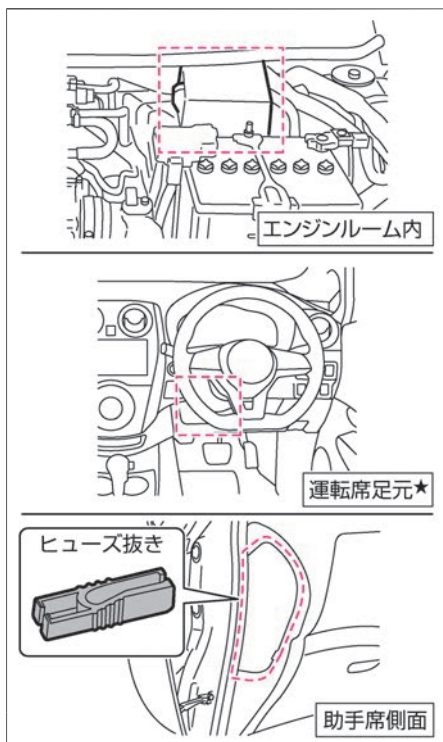
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

ヒューズボックスの位置

- ヒューズボックスは、次の位置にあります。
 - － エンジンルーム内
 - － 運転席足元★
 - － 助手席側面
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側に表示してあります。

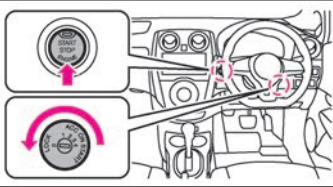
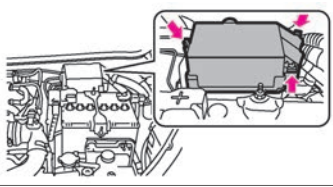

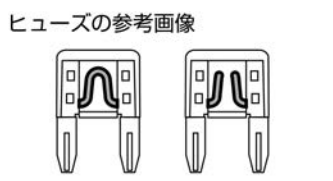
ヒューズ抜きについて

- 助手席側面のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。



ヒューズが切れたときは

ヒューズの点検・交換のしかた（エンジンルーム内）

1	<p>キースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、ボンネットを開けます。</p> <p>➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.410)</p>	
2	<p>ヒューズボックスのカバーをツメを押しながら外します。</p>	
3	<p>ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。</p> <p>ヒューズ抜き (➡ P.379)</p>	 <p>ヒューズ抜きで 引き抜く</p>
4	<p>ヒューズが切れていないか点検します。切れているときは新しいヒューズと交換します。</p>	<p>ヒューズの参考画像</p> 

⚠ 警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ヒューズが切れたときは

ヒューズの点検・交換のしかた（運転席足元）★

1	<p>キースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。</p>	
2	<p>手前に引いてふたを外します。</p>	
3	<p>ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。 ヒューズ抜き (👉P.379)</p>	<p>ヒューズ抜きで 引き抜く</p>
4	<p>ヒューズが切れていないか点検します。 切れているときは新しいヒューズと交換します。</p>	<p>ヒューズの参考画像</p>

⚠ 警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

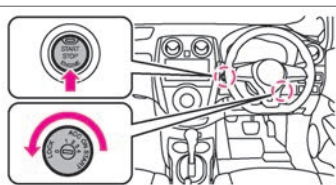
🚗 アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

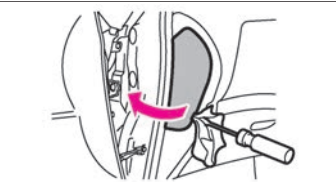
ヒューズが切れたときは

ヒューズの点検・交換のしかた（助手席側面）

- 1 キースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。



- 2 お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）をスリットに差し込み、ヒューズボックスカバーを外します。

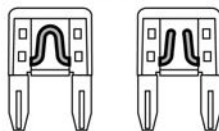


- 3 ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
ヒューズ抜き (➡ P.379)



- 4 ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像



警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

アドバイス

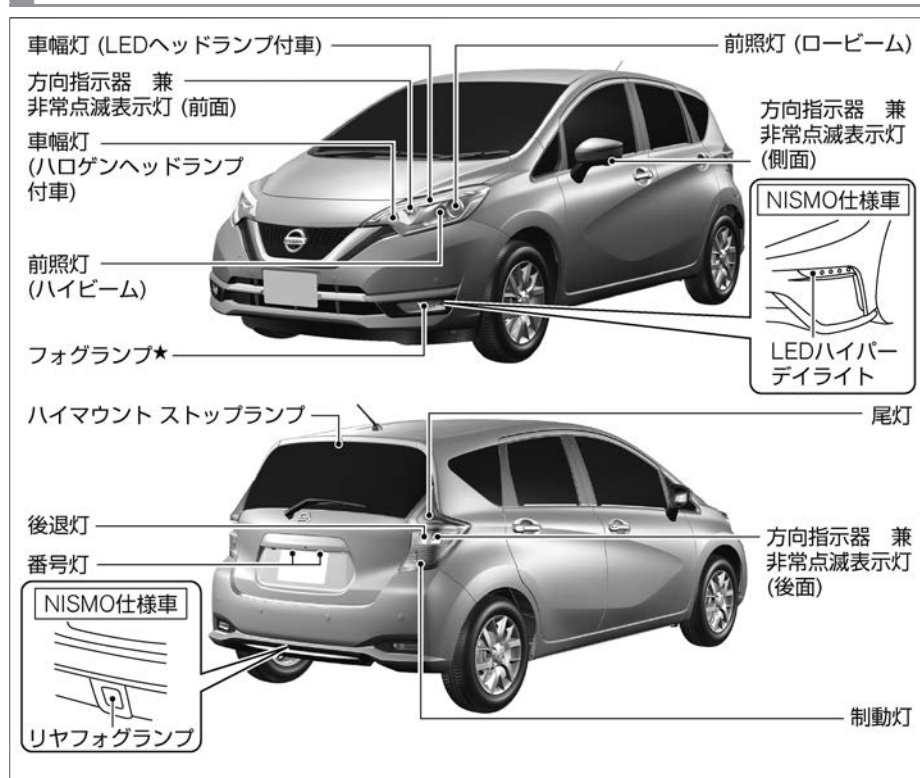
- お手持ちの工具を布などで覆い、傷をつけないように注意してください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

電球（バルブ）が切れたときは

外装ランプが点灯しないときは、電球の球切れが考えられます。

電球の交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

各電球（バルブ）の位置



⚠ 注意

- 電球交換は、ボンネットや電球が冷えた状態で行う。やけどをするおそれがあります。
- ステアなどの端で指や腕をケガしないように注意する。
- 電球は確実に取り付ける。電球は点灯中、表面が高温になります。電球が正しく取り付けられていないと、走行中に電球が外れて周辺の部品に接触するなどし、発熱、発火につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 電球交換をするときは、軍手などを着用してください。
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- 電球に油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。電球の寿命が短くなったり電球が破損するおそれがあります。

次ページに続く

 知識

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。また、ヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

電球（バルブ）が切れたときは

ロービーム（ハロゲンヘッドランプ付車）

1	<p>ボンネットを開けます。</p> <p>➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.410)</p>	
2	<p>カバーを取り外します。</p>	
3	<p>ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。</p> <p>取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります</p>	

⚠ 注意

- 電球の取り扱いには注意する。
ロービームに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

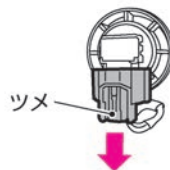
📖 知識

- ロービームヘッドランプ：
- 12V-55W

電球（バルブ）が切れたときは

4

コネクターを取り外し、電球を交換します。
（ツメを押しながら外します。）



5

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

電球（バルブ）が切れたときは

ハイビーム

1	<p>ボンネットを開けます。</p> <p>➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.410)</p>
2	<p>カバーを取り外します。</p> 
3	<p>ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。</p> <p>取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります</p> 

⚠ 注意

- 電球の取り扱いには注意する。
ハイビームに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

📖 知識

- ハイビームヘッドランプ：12V-60W

電球（バルブ）が切れたときは

4

コネクターを取り外し、電球を交換します。
（ツメを押しながら外します。）



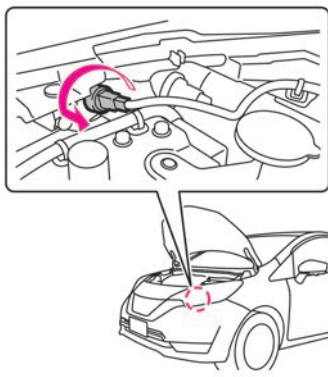
5

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

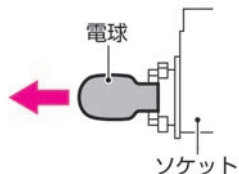
電球（バルブ）が切れたときは

車幅灯（ハロゲンヘッドランプ付車）

- 1** ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。
取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。
➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.410)



- 2** 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



- 3** 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

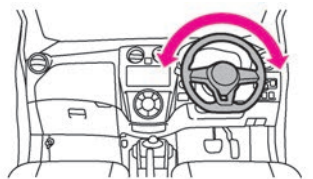
知識

- 車幅灯：
— 12V-5W

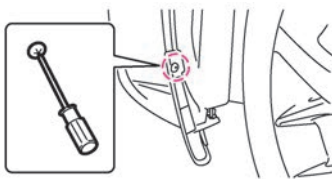
電球（バルブ）が切れたときは

フォグランプ★

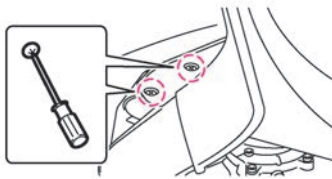
1 作業スペースを確保するため、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。



2 お手持ちの工具（トルクス）でネジを外します。



3 下側のネジを外します。



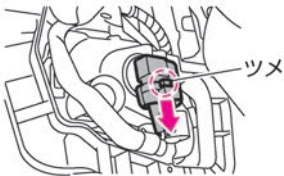
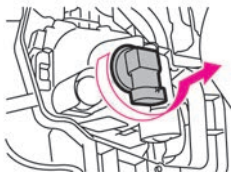
4 カバーをめくり、作業スペースを確保します。



知識

- フォグランプ：12V-35W

電球（バルブ）が切れたときは

<p>5</p>	<p>コネクターを取り外します。 （ツメを押しながら外します。） 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。</p>	
<p>6</p>	<p>ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、電球を交換します。</p>	
<p>7</p>	<p>取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。</p>	

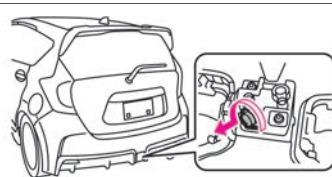
電球（バルブ）が切れたときは

リヤフォグランプ★

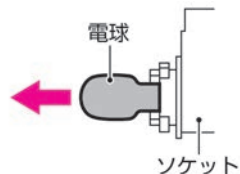
- 1 リヤバンパー下部のクリップ3箇所を外します。



- 2 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。
リヤバンパーを必要以上にめくらないでください。変形するおそれがあります。
取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。



- 3 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



- 4 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

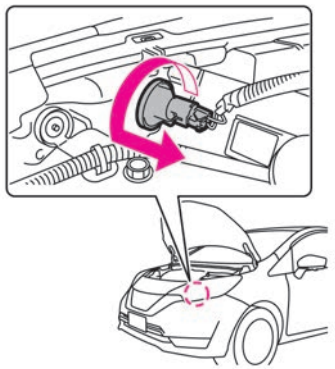
知識

- リヤフォグランプ：12V-21W

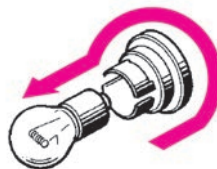
電球（バルブ）が切れたときは

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

- 1** ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。
取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。
➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.410)



- 2** 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



- 3** 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

知識

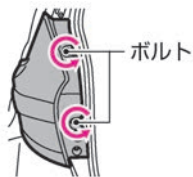
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）：12V-21W（アンバー）

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）／後退灯／尾灯

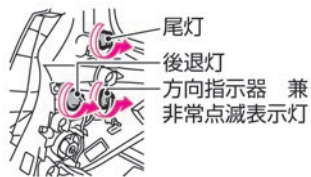
1 バックドアを開けます。



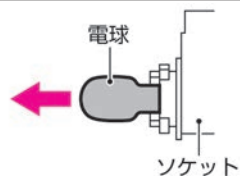
2 リヤコンビランプのボルトを外し、ランプをまっすぐ後方に引いて取り外します。取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。



3 交換したい電球のソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



4 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



知識

- 尾灯：12V-5W
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）：12V-21W（アンバー）
- 後退灯：12V-16W

電球（バルブ）が切れたときは

5

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

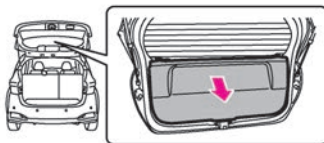
電球（バルブ）が切れたときは

番号灯

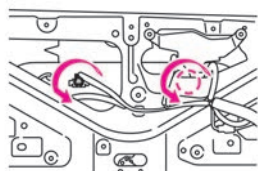
1 バックドアを開けます。



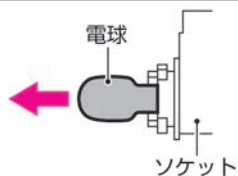
2 バックドアフィニッシャーインナーを外します。



3 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。
取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。



4 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



知識

- 番号灯：12V-5W

電球（バルブ）が切れたときは

5

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

その他の電球

次の電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

- ロービーム（LEDヘッドランプ付車）
- 車幅灯（LEDヘッドランプ付車）
- 制動灯（LED）
- ハイマウントストップランプ（LED）
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）（LED）
- LEDハイパーデイライト★（LED）

メンテナンス

メンテナンスの前に

点検整備について	P.400
----------	-------

工具・ジャッキ

工具・ジャッキ★について	P.401
--------------	-------

点検と整備

エンジンルーム	P.407
---------	-------

ウォッシュ液の補給	P.412
-----------	-------

寒冷時の取り扱い	P.413
----------	-------

タイヤ	P.417
-----	-------

冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.422
---------------	-------

ワイパー	P.423
------	-------

キー（インテリジェントキー）の電池交換★	P.425
----------------------	-------

キー（リモートコントロールエントリーシステム）の電池交換★	P.426
-------------------------------	-------

バッテリー	P.428
-------	-------

エンジンオイル	P.429
---------	-------

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.430
---------	-------

内装のお手入れ	P.441
---------	-------

サービスデータ

点検値／交換油脂類	P.446
-----------	-------

車両仕様	P.450
------	-------

イベントデータレコーダ（EDR）	P.452
------------------	-------

点検整備について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

- **日常点検**
走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。いつもと違うことに気がいたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、におい、水もれ、油もれなど）
- **定期点検**
1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。
- **その他の点検**
新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

知識

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

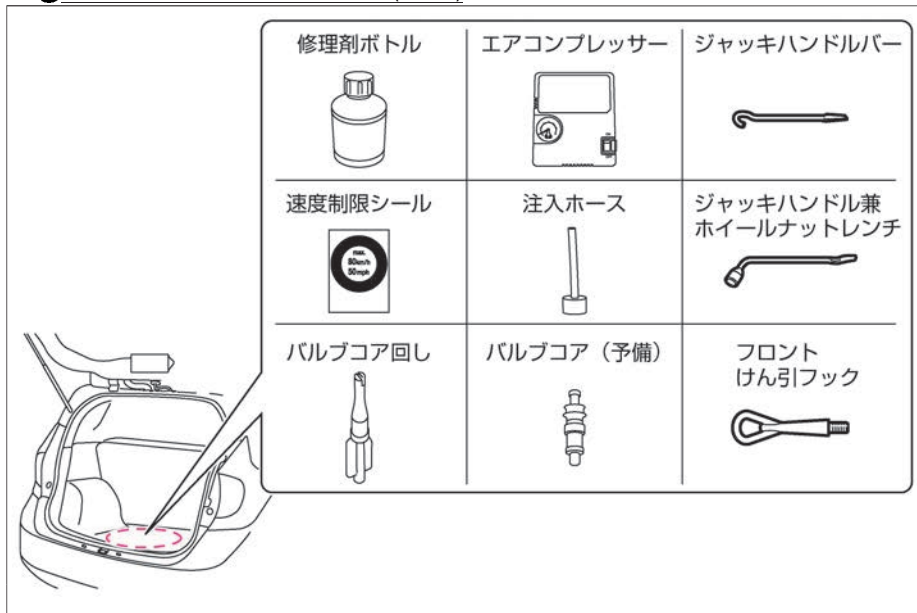
車検、点検整備のとき

- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。
- **検査標章（ステッカー）の貼り付け位置について**
 - フロントガラスにあるマルチセンシングフロントカメラ★を避け、車室内から貼り付けます。車外から見やすい位置に貼り付けてください。
マルチセンシングフロントカメラ (➡P.437)

工具、ジャッキ、タイヤ応急修理キットの格納場所

- 工具・ジャッキ・タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。

- ➡ ジャッキの取り出しかた (P.402)
- ➡ 応急修理する前に (P.339)
- ➡ タイヤ応急修理キットについて (P.340)



⚠ 注意

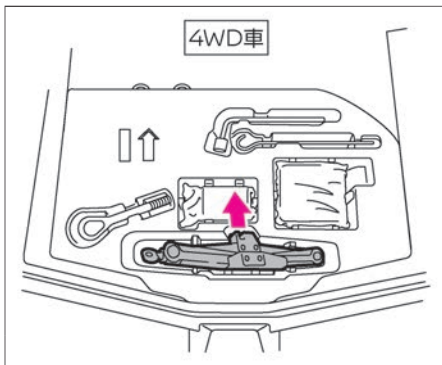
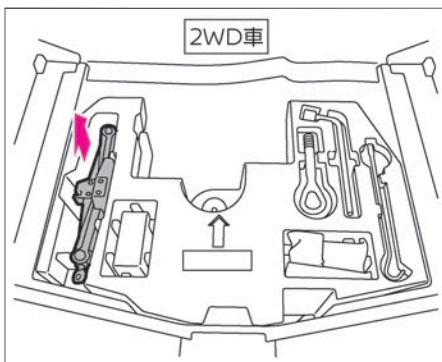
- 工具、ジャッキ、タイヤ応急修理キットを使ったあとは、元の場所に格納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- この車両には、スペアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんが、必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（➡P.333）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

ジャッキの取り出しかた

- ラゲッジルームのフロアカバーを持ち上げて取り出します。

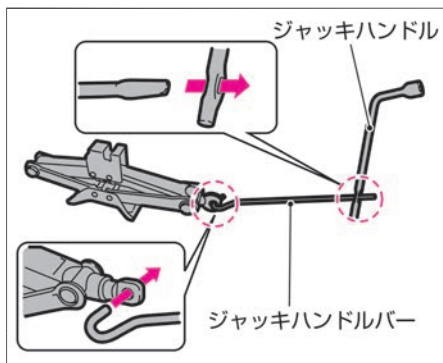


アドバイス

- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
- ジャッキとフロアカバーが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。

ジャッキの使いかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。



⚠ 警告

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。

⚠ 注意

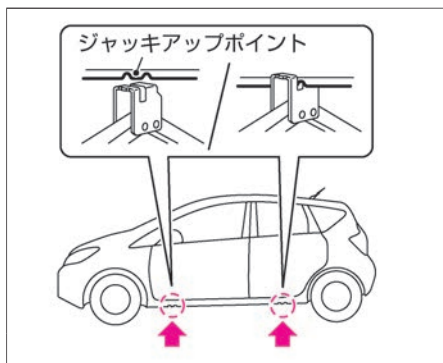
- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーをしっかり握って回す。ジャッキハンドルバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込む。ジャッキハンドルバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキアップ中はエンジンを始動しない。

 **注意**

車が発進し、重大な傷害につながる
おそれがあります。

ジャッキアップポイント

- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。



⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守る。
 - － ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。
 - － 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - － 使用前にパーキングブレーキをかけ、オートマチック車はセレクトレバーを **P**、マニュアル車はシフトレバーを **R** にしてください。
 - － 輪止めなどで車を固定してください。
 - － ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - － 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

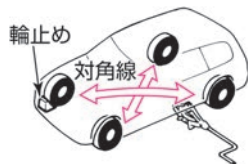
🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

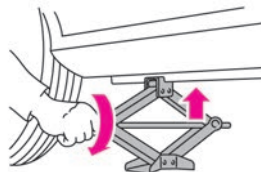
ジャッキアップのしかた

- 1** 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。
 ➡ 停車・駐車のしかた (P.183)

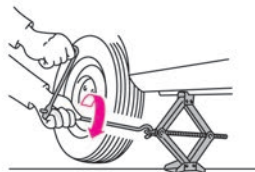
- 2** ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
 輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



- 3** ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。
 ➡ ジャッキアップポイント (P.405)



- 4** ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



⚠ 注意

- やわらかい地面の上ではジャッキアップしない。
 ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむをえず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。

🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外の上にはジャッキをかけないください。車体に変形するおそれがあります。

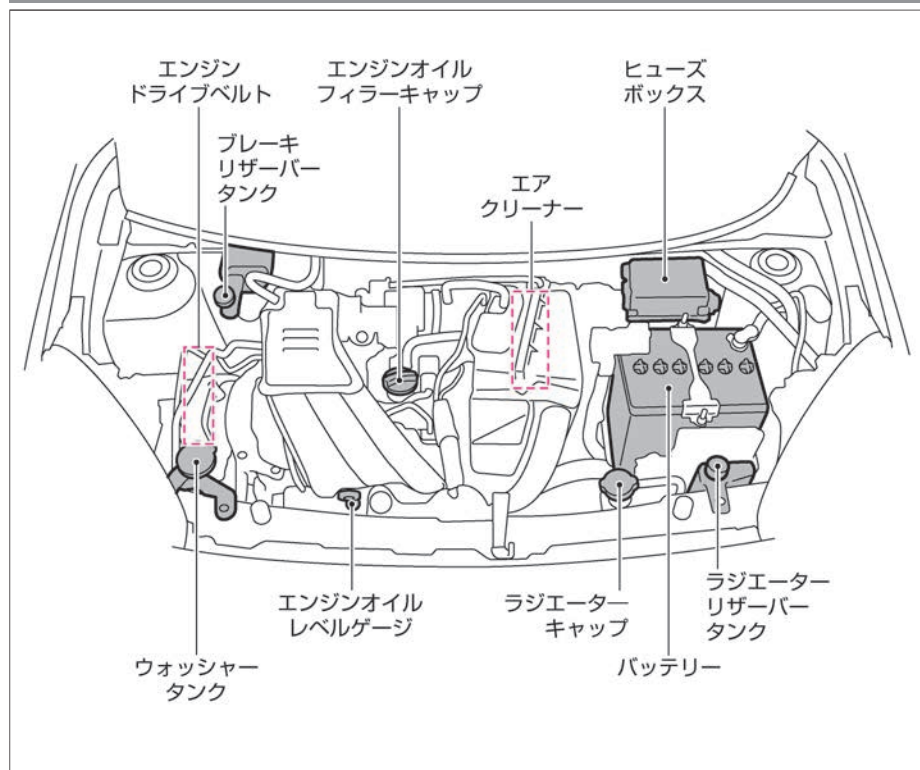
📖 知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

エンジンルーム

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

エンジンルーム内の配置図 (HR12DEエンジン搭載車)



⚠ 警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。故障や車両火災につながるおそれがあります。

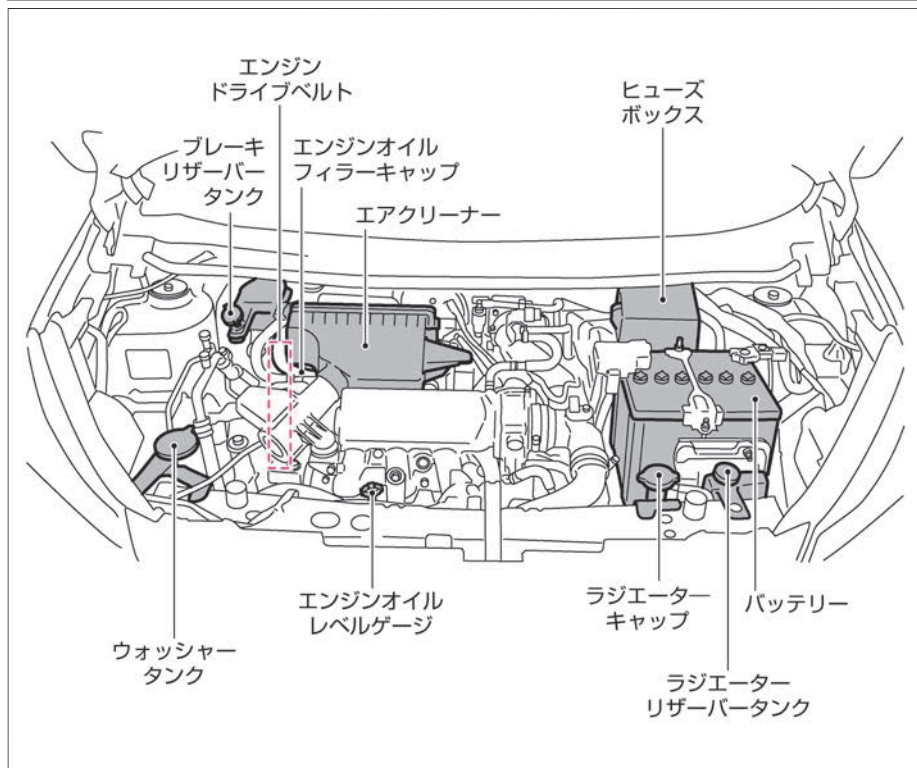
⚠ 注意

- エンジンルーム内の作業をするときは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする。エンジン回転中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーが損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

エンジンルーム内の配置図 (HR12DDRエンジン搭載車)



⚠ 警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。故障や車両火災につながるおそれがあります。

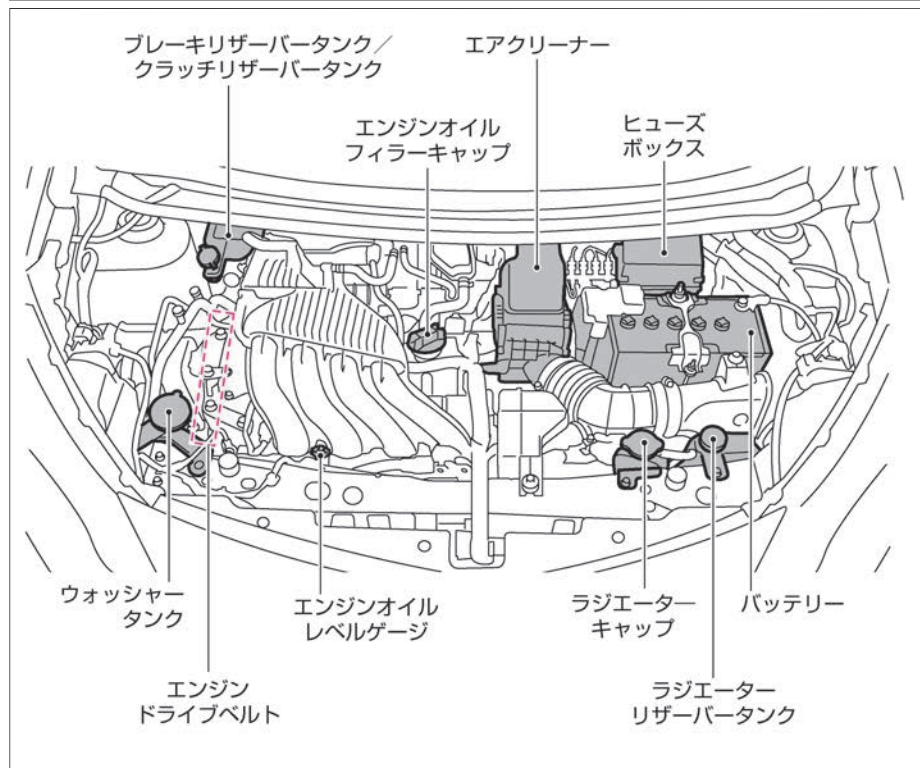
⚠ 注意

- エンジンルーム内の作業をするときは、電源ポジションをOFFにする。エンジン回転中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーが損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

エンジンルーム内の配置図 (HR16DEエンジン搭載車)



⚠ 警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。故障や車両火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

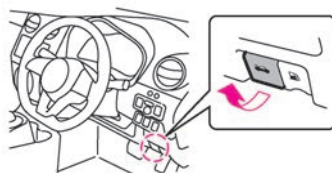
- エンジンルーム内の作業をするときは、電源ポジションをOFFにする。エンジン回転中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

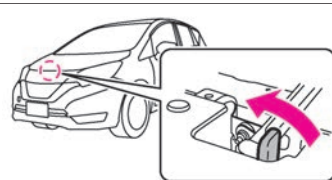
- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーが損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

ボンネットの開けかた、閉めかた

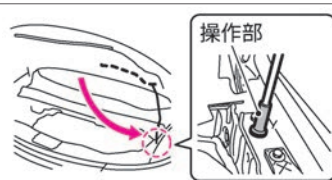
- 1 運転席の右下にあるボンネットオープナーを引きます。
ボンネットが少し浮き上がります。



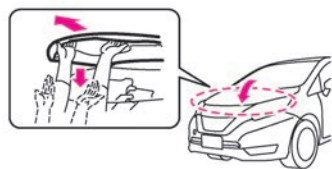
- 2 ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



- 3 ボンネット裏側に付いているステーの操作部を持ってフックから外し、車体の穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。



- 4 閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットを20cm～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落としてください。ボンネットを上から押して閉めようとししないでください。



⚠ 警告

- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。
ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。
- ステーを持つときは、必ず操作部を持つ。
エンジン停止直後はステーが高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。
- ラジエーターなどの高温部には触れない。
やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。



アドバイス

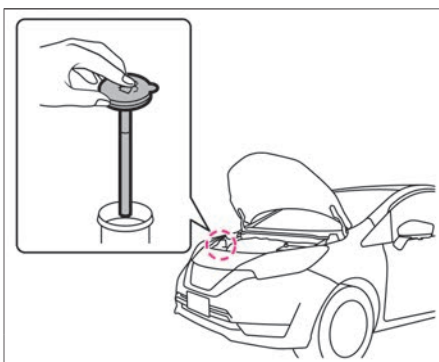
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

- ウォッシャータンクのふたの穴を押さえて引き抜くと、スポイト式にウォッシャー液の残量が確認できます。
- 減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。



⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

📖 知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。
- ウォッシャー液の残量を確認したとき、ウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。
- 日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。
ウォッシャータンク容量 (👉P.449)

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
30%	約-15°C
50%	約-35°C

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。
サービスデータ（冷却水）（➡P.449）

■ バッテリーの液量、比重の点検

- 別冊のメンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。
- 16インチおよび17インチタイヤ付車は、純正チェーンの設定がありません。また、タイヤチェーンを装着して走行すると、タイヤチェーンと車体が干渉するおそれがあります。雪道を走行するときは冬用タイヤに交換してください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 寒冷地仕様車の冷却水は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

■ 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かしたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使用して、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品が破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。

警告

- **ルーフに積もった雪は落とす。**
窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けしないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけしないでください。凍結するおそれがあります。

 知識

- 外気温が低く、エンジン冷却水温が低いときは、暖房性能を確保するためエンジン回転数が上昇することがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険です。しないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
➡ [タイヤチェーンについて \(P.422\)](#)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなる場合があります。時々確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- オートマチック車はセレクトレバーを **P**、マニュアル車は上り坂では1速、下り坂ではRにして、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなきや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
- 雪が積もりそうなきはアンテナ★を取り外してください。アンテナが破損するおそれがあります。
アンテナの外しかた★ (➡ [P.433](#))

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。日常的に点検を行ってください。

■ タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

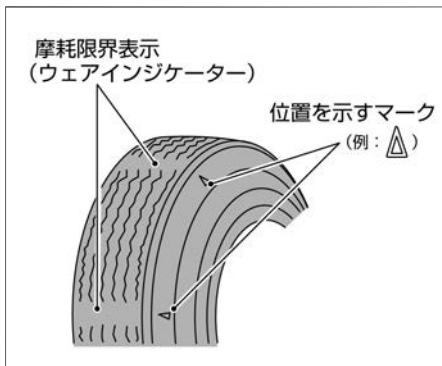
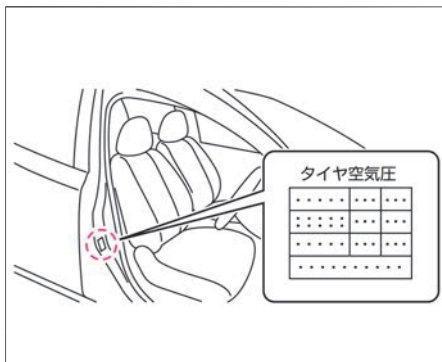
- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあります。

タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限度表示）が表れていないか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限度表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。



⚠ 警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。**
バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **使用開始後5～7年を目安に必ず点検する。**
タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

📖 知識

- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確

次ページに続く

 知識

認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。


- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割程度上がる場合があります。

タイヤ・ロードホイールを交換するときは

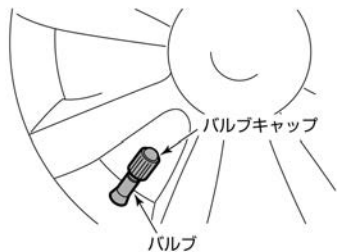

- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。
ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

注意

- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けない。**
不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付ける。**
径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。回転差を吸収する機構に無理がかかり、過熱し火災につながるおそれがあります。
 - － 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - － 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
 - － サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着

 アドバイス

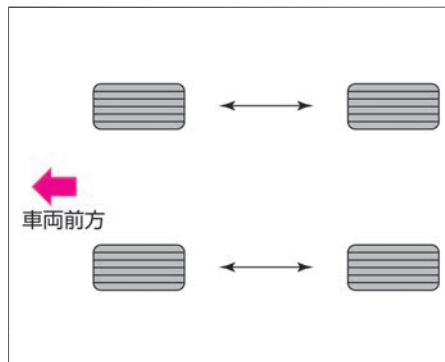
- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイール★には荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。


 アドバイス

- バルブキャップを工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m (11kg・m) です。

■ タイヤローテーションのしかた

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏磨耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000kmごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



⚠ 注意

- 著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。
車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

🚗 アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにして作業してください。
- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
- 16インチおよび17インチタイヤ付車は、純正チェーンの設定がありません。また、タイヤチェーンを装着して走行すると、タイヤチェーンと車体が干渉するおそれがあります。雪道を走行するときは冬用タイヤに交換してください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

注意

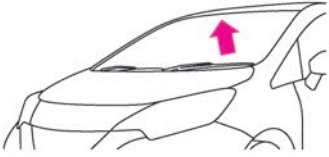


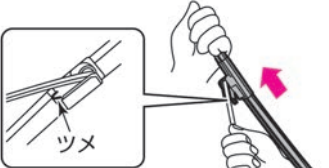
- タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバー★やアルミホイール★に傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

ワイパーブレードの交換のしかた

1	ワイパーアームを起し、ワイパーブレードを少し傾けます。	
2	ワイパーブレードのツメを押したままにします。	
3	ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。	
4	新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。	


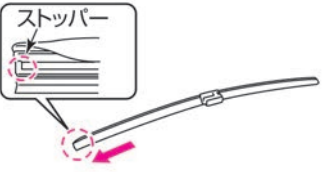
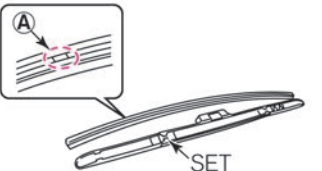
アドバイス

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。
- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

知識

- リヤワイパーブレードの点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。
- ワイパーゴムの交換のしかたは、別冊のメンテナンスノートの「簡単な整備のしかた」をお読みください。

ワイパーゴムの交換のしかた

1	ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。	
2	ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。	
3	取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。 <ul style="list-style-type: none">● ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。● ワイパーゴムのⒶ部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。	

知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

キー（インテリジェントキー）の電池交換★

キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。
次の手順に沿って、電池を交換してください。

1	<p>キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。</p>	
2	<p>すき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。）</p>	<p>マイナスドライバー</p>  <p>布</p>
3	<p>消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。） 使用電池：CR2025</p>	 <p>一極 電池 +極</p>
4	<p>カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。</p>	

警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

キー（リモートコントロールエントリーシステム）の電池交換★

リモコンのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。
次の手順に沿って、電池を交換してください。

<p>1 お手持ちのプラスの精密ドライバーでネジを外します。</p>	
<p>2 スリットにマイナスの精密ドライバーを差し込み、ひねって上下に分解します。（カバーが傷つかないように、精密ドライバーに布などを当ててください。）</p>	
<p>3 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。） 使用電池：CR1620</p>	
<p>4 カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。</p>	

警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換後は、リモートコントロールエントリーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

5

取り外したネジを取り付けます。

バッテリーのメンテナンスについては、メンテナンスノートをお読みください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

バッテリーに関する注意事項

⚠ 警告

- **バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけない。**
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。**
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **バッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- **バッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**
しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

エンジンオイルの交換時期はメンテナンスノートをお読みください。
また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータ (P.447) をお読みください。

エンジンオイルに関する注意事項

⚠ 注意

- オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。
オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが吹き出し火災の原因になるおそれがあります。
- エンジンオイルフィルターキャップは確実に閉める。
走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- 適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 洗車機で洗車するときは、アンテナ★を外してください。
アンテナの外しかた (👉P.433)
- 洗車やふき取りなどでワイパーアームを持ち上げるときは、ボンネットに当たらないようにしてください。
- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - ー ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき
 - ー 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ー ほこり、汚れがひどいとき

注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。
- エンジンルーム内に水をかけない。
エンジンの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意



アドバイス

してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。


水洗いするときは

- ① 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ② 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③ はん点が残らないように水をふき取ります。

アドバイス

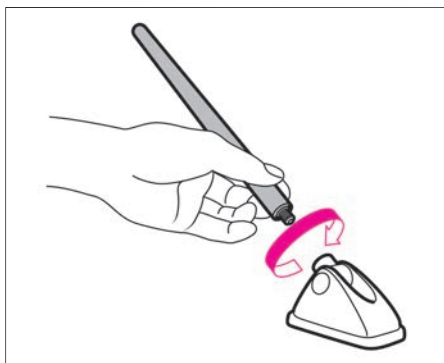
- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。

洗車機を使うときは

- ルーフについているアンテナ★を外してください。
- ドアミラーを格納してください。
-  ドアミラー (P.134)
- 高圧洗浄機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。

アンテナの外しかた★

- アンテナを取り外すときは、アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。
- 取り付けるときは、アンテナの根元を持ち、矢印と逆方向に回し、確実に締め付けます。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- NISMO仕様車は、自動洗車機を使用しないでください。洗車機を使用すると、リヤスポイラーが破損するおそれがあります。



ワックスをかけるときは

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラ★のレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

アルミホイール★のお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - － 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
 - － 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - － 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - － 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

軽い補修のしかた

- 塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

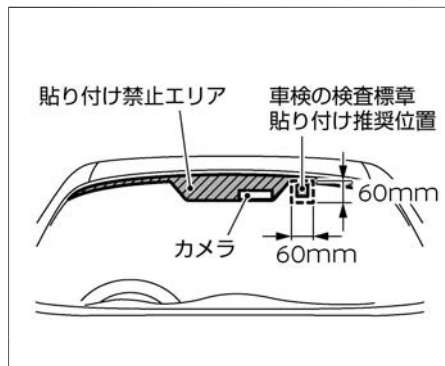
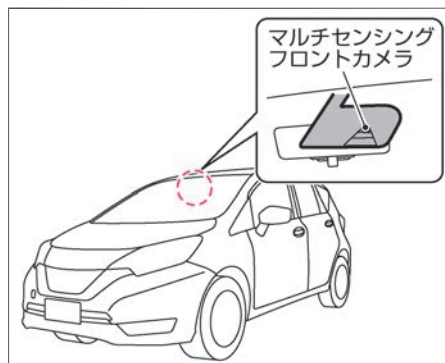
NISMO仕様車 ステッカー★のお手入れ

- 高圧洗車機を使用するときは、ステッカーのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。ステッカーが剥がれる場合があります。

マルチセンシングフロントカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをご守りください。

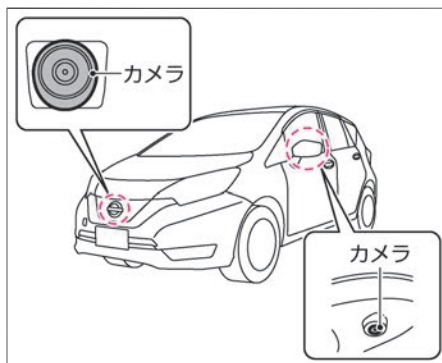
- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- フロントガラスに車検の検査標章（ステッカー）を貼り付ける場合は、貼り付け禁止エリアを避けて貼り付けてください。貼り付け推奨位置は、フロントガラスのプリント上側コーナー部を起点とした範囲です。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。



フロントビュー★/サイドビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをご守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ周辺部に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

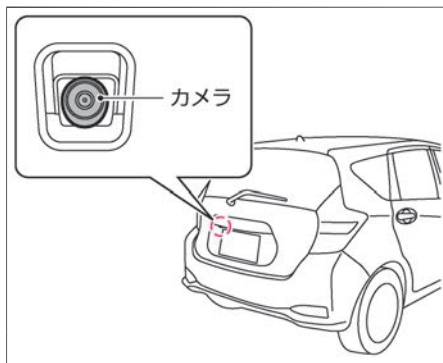
🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画像の映像へ影響が出ることがあります。

リヤビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをご守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- 光が反射するため、ナンバープレートのアクセサリーを取り付けないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

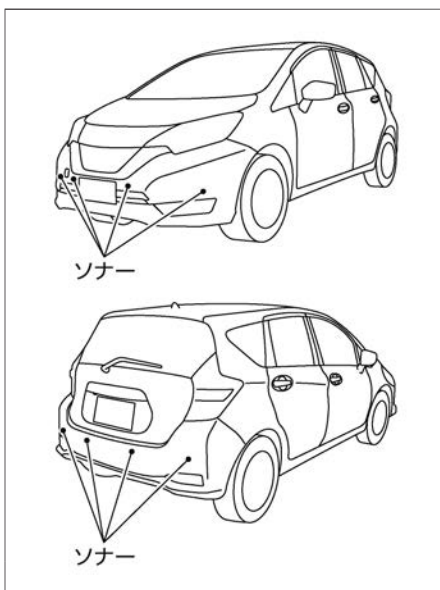
アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布でふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像への影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。


ソナー★の取り扱い

システムを正しく動作させるために、以下のことをお守りください。

- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。



■ 内装のお手入れについて

 アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

次ページに続く

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

➡ フロアカーペット (P.325)

布、ビニールレザーの汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

本革シートのお手入れ*

通常のお手入れ

- ガーゼなど柔らかい布でふきます。

水溶性の汚れを取るとき

- 柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

油性の汚れを取るとき

- ① ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
- ② 真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
- ③ 乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。



🚗 アドバイス

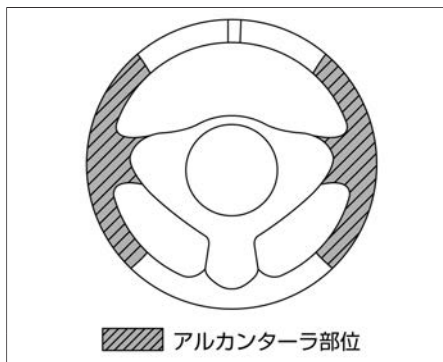
- 本革シートは、直射日光により変色、変質することがあるため、日よけに心がけてください。
- 本革シートが水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

📖 知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

■ アルカンターラ®ステアリングのお手入れ (NISMO仕様車)

- ① 柔らかいきれいな布をぬるま湯（約40℃）に浸して、固くしぼります。ハンドルの汚れた（白っぽくなった）部分をぬらしながら、軽くたたいて汚れを落とします。
- ② 乾いた柔らかいブラシなどで軽くブラッシングし、毛並みを揃えてください。



アドバイス

- アルカンターラ®はデリケートな素材のため、表面を強くこすると傷がついたり変色の原因となります。
- 布はきれいなものを用意し、付着した汚れはそのつど十分に除去してからご使用ください。
- たたいても汚れが落ちない場合、そのまま作業を続けると、さらに中へゴミが入ってしまい落ちにくくなります。乾燥して固まっている場合は、ブラシで軽くブラッシングして汚れを落としてください。
- お手入れは1か月に1回程度、定期的に行うことをおすすめします。

■ スーパーUVカット断熱グリーンガラスのお手入れ★

フロントドアガラスの内側にはUVカットコーティングがされています。

- フロントドアガラスの内側を清掃するときは、水または温水を含ませた柔らかいきれいな布で早めに汚れをふき取ってください。

■ メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。



アドバイス

- UVカットコーティングの傷つきや劣化を防ぐため、次のことをお守りください。
 - － フロントドアガラスの汚れがひどいときは、なるべく窓ガラスの開閉を行わない。
 - － 清掃するときはコンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー、アルカリ性洗剤は使用しない。
 - － 砂などが付着している布で清掃をしない。



アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

ガラスの汚れ取り

- バックドアガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。

インテリジェント ルームミラーのお手入れ★

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっと拭いてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部を拭かないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいときは、まず濡れた柔らかい布で拭いてから乾いた柔らかい布で拭いてください。
- カメラ前方のバックドアガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。油膜が付いているときは、油膜取りを使用して清掃してください。➡[外観リヤ \(P.3\)](#)
- カメラ前方のバックドアガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
➡[外観リヤ \(P.3\)](#)

点検値

項目		点検値	
補機ベルト	たわみ量 約98.1N (約10kg) で押したとき	HR16DE	5~10mm ^{※1}
		HR12DE	5~11mm ^{※1}
		HR12DDR	調整不要 ^{※1※2}
ブレーキペダル ^{※3}	遊び	2~9mm	
	床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約490N (50kg) で踏んだとき	80mm以上	
クラッチペダル (マニュアル車)	遊び	2~8mm	
	床板とのすき間 (クラッチが切れたときの高さ)	81mm以上	
パーキングブレーキ	引きしろ 約196N (20kg) で引いたとき	11~12ノッチ	

※1: パワーステアリングおよび冷却ファンは、ベルト駆動ではないためベルトの張力調整は不要です。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

※2: 補機ベルトは、ベルトオートテンショナー (自動張力調整機構) を採用しており、ベルト張力調整は不要です。

※3: ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの床板とのすき間の調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

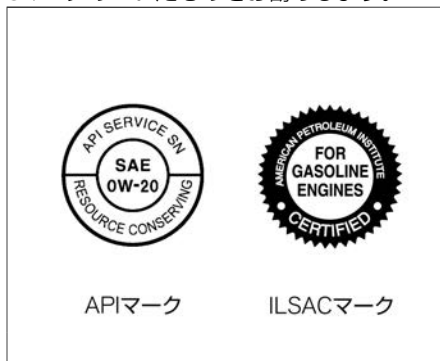
お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。
 指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。
 交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。

項目	適用		規定量(ℓ) ※1	指定銘柄
エンジンオイル	HR12DE	オイルのみ交換	2.8	日産純正SNストロングセーブ・X 0W-20 (API: SN、SAE: 0W-20)
		オイルとオイルフィルター交換	3.0	
	HR12DDR	オイルのみ交換	3.3	日産純正SNストロングセーブ・X 0W-16 (API: SN、SAE: 0W-16)
		オイルとオイルフィルター交換	3.5	
	HR16DE	オイルのみ交換	4.1	日産純正SNストロングセーブ・X 5W-30 (API: SN、SAE: 5W-30)
		オイルとオイルフィルター交換	4.3	

※1： 規定量は目安です。

■ 指定銘柄以外のエンジンオイルについて

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。
グレード：API規格SNをお使いください。ILSACマークのついたものをお勧めします。



粘度：下記粘度（SAE規格）のものをご使用ください。

HR12DE／HR12DDR：0W-20、HR16DE：5W-30

項目	適用	規定量(ℓ) ※1	指定銘柄
エンジン冷却水	HR12DE	5.8 ^{※2}	日産純正スーパーロングライフクーラント ^{※3}
	HR12DDR	5.2 ^{※2}	
	HR16DE	6.2 ^{※2}	
CVTフルード	CVT車	6.9	日産純正CVTフルードNS-3 ^{※4}
マニュアルトランスアクスルオイル	マニュアル車	2.3	TRANSELF NFJ 75W-80
ブレーキフルード	全車	-	日産純正ブレーキフルードNo.2500 (DOT3)
クラッチフルード	マニュアル車	-	
ウォッシャー液	全車	2.5	日産純正ウインドウォッシャー液 ^{※5}

※1： 規定量は目安です。

※2： リザーバータンクのMAXレベル容量（0.7ℓ）を含みます。

※3： 市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

※4： CVTフルードは、専用のCVTフルードNS-3を必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、CVTが破損するおそれがあります。

※5： 外気温に応じて濃度を調節してください。

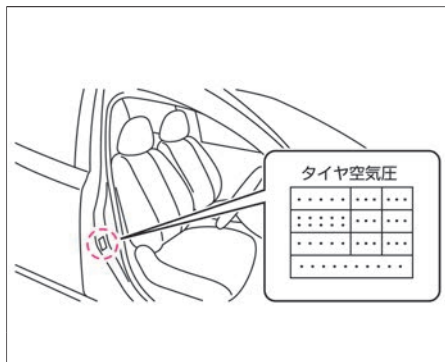
電球（バルブ）の容量

電球		容量 (V-W)	電球のタイプ
前照灯（ヘッドランプ）	LEDヘッドランプ付車	ロービーム	LED
		ハイビーム	HB3
	ハロゲンヘッドランプ付車	ロービーム	H11
		ハイビーム	HB3
前部霧灯（フォグランブ）★		12-35	H8
後部霧灯（リヤフォグランブ）★		12-21	W21W
LEDハイパーデイライト★		-	LED
車幅灯	LEDヘッドランプ付車	-	LED
	ハロゲンヘッドランプ付車	12-5	W5W
番号灯		12-5	W5W
制動灯		-	LED
尾灯		12-5	W5W
ハイマウントストップランプ		-	LED
後退灯		12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面	12-21（アンバー）	PY21W
	側面	-	LED
	後面	12-21（アンバー）	WY21W

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D	インセット
185/70R14	14×5.5J	100mm (4穴)	40mm
185/65R15	15×5.5J		46mm
195/55R16	16×6.5J		47mm
205/45R17	17×7J		

タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



■ 車両データの記録・蓄積について

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報

■ データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

知識

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

- A**
- A/C (エアコン)
 A/C (エアコン) P.144, P.147
 エアコンスイッチ P.144, P.147
 エアコンを使うときに注意すること P.150
 吹き出し口 P.149
- ABS
 ABS P.211
 ABS 警告灯 P.72, P.73
- E**
- ECOモード
 ECOモード P.201
 ECOモードスイッチ P.201
 ECOモード表示灯 P.76
 エコドライブインジケータ P.202
 エコドライブレポート P.203
 エコパダルガイド P.202
- EDR (イベントデータレコーダ) P.452
 ELR (緊急固定) 付3点式シートベルト P.24
 EPS (電動パワーステアリング
 警告灯) P.72, P.73
- I**
- INT (ワイパー) P.197
 ISO FIX 対応チャイルドシート用アン
 カー P.55
- K**
- KEY警告灯 P.72, P.73
- L**
- LDW (車線逸脱警報)
 LDW (車線逸脱警報) P.282
 LDW (車線逸脱警報) 警告灯 P.72, P.73
 LDW (車線逸脱警報) スイッチ P.285
- M**
- MIST (ワイパー) P.197
- O**
- ODO (オドメーター) P.64
- P**
- P 戻し忘れ警告灯 P.72, P.73
- S**
- SPORT表示灯 P.76, P.77, P.78
 SRS エアバッグ P.32
 SRS エアバッグ警告灯 P.72, P.73
- T**
- TRIP (トリップメーター) P.64
- V**
- VDC P.212
 VDC OFF スイッチ P.214
 VDC OFF表示灯 P.76, P.77, P.78
 VDC警告灯 P.72, P.73
- W**
- W数 (電球の容量) P.450

ア

アームレスト	
後席シート	P.122
前席シート	P.117
アイドリングストップ	
アイドリングストップ	P.204
アイドリングストップOFFスイッチ	P.205
アイドリングストップ 表示灯	P.76, P.77, P.78
アウターミラー（ドアミラー）	P.134
アラーム	P.370
アルミホイールのお手入れ	P.435
アンサーバック機能	P.91, P.97
アンテナ	P.155

イ

移動物 検知機能	P.298
イベントデータレコーダ（EDR）	P.452
イモビライザー（盗難防止装置）	
イモビライザー（盗難防止装置）	P.57
セキュリティインジケータ	P.76, P.77, P.78
イルミネーションコントロール	P.87
インストアッパーボックス	P.319

インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）	
インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）スイッチ	P.285
インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）警告灯	P.72
インテリジェント アラウンドビューモニター	
移動物 検知機能	P.298
インテリジェント アラウンドビューモニター	P.290
インテリジェント アラウンドビューモニターに関する注意事項	P.303
ソナー機能について	P.300
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.251
インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFFスイッチ	P.253
インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯	P.76, P.77, P.78
インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯	P.72, P.73

インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）	P.187
インテリジェント クルーズコントロール	
インテリジェント クルーズコントロール	P.220
インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた	P.237
インテリジェント クルーズコントロール表示	P.86
ステアリングスイッチ	P.223
インテリジェント ルームミラー	
インテリジェント ルームミラー	P.125
お手入れ	P.445
インテリジェントキー	
KEY警告灯	P.72, P.73
機能・使いかた	P.90
電池が切れたとき	P.351
電池交換のしかた	P.425
メカニカルキー	P.349
インナーミラー（ルームミラー）	P.124

ウ

ウィンカー（方向指示器）	P.192
ウインドーガラス（パワーウインドー）	P.138

ウォーニング（警告灯）	P.72, P.73
ウォッシャー	
ウォッシャー液（規定量）	P.447
ウォッシャー液の補給	P.412
ウォッシャースイッチ	P.199
ウォッシャーの噴霧状態点検	M
動けなくなったときは	P.332
運転するときに注意すること	P.18
運転前の準備	P.16

I

エアコン

エアコンスイッチ	P.144, P.147
エアコンを使うときに注意すること	P.150
オートエアコン	P.144
吹き出し口	P.149
マニュアルエアコン	P.147

エアバッグシステム

SRS エアバッグ警告灯	P.72, P.73
SRS エアバッグシステム（前席）	P.36
SRS カーテンエアバッグシステム	P.41
SRS エアバッグ	P.32

ABS

ABS	P.211
ABS 警告灯	P.72, P.73

ECOモード

ECOモード	P.201
--------	-------

ECOモードスイッチ	P.201
ECOモード表示灯	P.76
エコドライブインジケーター	P.202
エコドライブレポート	P.203
エコペダルガイド	P.202

エンジン

エンジンオイル	P.429, P.447
エンジンオイル量の点検・補給	M
エンジンスイッチ	P.160
エンジンの始動のしかた	P.160, P.167
エンジンの停止のしかた	P.163, P.169
エンジンの非常停止のしかた	P.166
エンジンルーム	P.407
エンジンルームから蒸気が出ているとき	P.375
エンジンシステムを始動できないとき	
は	P.351
キースイッチ	P.167
フード（ボンネット）	P.410

エンジン回転計（タコメーター）

エンジン型式

エンジン始動操作表示灯

エンジンスイッチ

エンジンスイッチでの電源ポジションの

切り替えかた

エンジンのかかり具合、異音点検

エンジンの低速、加速の状態点検

オ

オイル	P.447
応急修理する前に	P.339
オーディオ	
アンテナ	P.155
オーディオの使い方	P.154
ステアリングスイッチ	P.158
オートエアコン	P.144
オートレベライザー	P.185
オートロック機能	P.91, P.97, P.99, P.101
オーバーヒート	P.375
お子さまを乗せるときに注意すること	P.43
オドメーター（積算距離計）	P.64

カ

カードホルダー	P.328
外気温	

外気温度計（メータータイプ [Ⓐ] ）	P.69
------------------------------	------

外気温度計（メータータイプ [Ⓑ] ）	P.84
------------------------------	------

外装のお手入れ	P.430
---------	-------

カギ

インテリジェントキー付車	P.90
--------------	------

リモートコントロールエントリー	
-----------------	--

システム付車	P.96
--------	------

ガソリン	P.141
------	-------

カップホルダー	P.320
---------	-------

M 「メンテナンスノート」をお読みください。

S 「自動車検査証」をご参照ください。

- カメラ
 フロントビュー/サイドビューカメラ P.438
 ラ P.438
 マルチセンシングフロントカメラ P.437
 リヤビューカメラ P.439
 カメラ・ソナーシステム P.290
 ガラスアンテナ P.157
 寒冷時の取り扱い P.413
- キ**
 キー
 インテリジェントキー P.90
 キー（インテリジェントキー）の
 電池交換 P.425
 キー（リモートコントロールエントリー
 システム）の電池交換 P.426
 メカニカルキー P.349
 リモートコントロールエントリー
 システム P.96
 キースイッチ P.167
 キー連動室内照明 P.316
 キー連動室内照明システム P.91, P.97
 キックダウン P.181
- ク**
 空気圧（タイヤ） P.451
- くもり取り
 デフロスタースイッチ P.372
 リヤウインドーデフォグガスイ
 ヲ P.374
 クラクション（ホーン） P.123
 クリアランスランプ（車幅灯）
 スイッチ P.185
 電球（バルブ）交換 P.383
 電球（バルブ）容量 P.450
 車のお手入れ P.430
 グローブボックス P.318
- ケ**
 警告灯 P.72, P.73
 警告灯がついたときは P.358
 警報音（ブザー） P.370
 けん引について P.334
- コ**
 工具 P.401
 高水温警告灯 P.72
 後席シート P.118
 航続可能距離 P.83, P.84
 後退灯
 電球（バルブ）交換 P.383
 電球（バルブ）容量 P.450
- 後部霧灯（リヤフォグランプ）
 スイッチ P.195
 電球（バルブ）の交換 P.383
 電球（バルブ）の容量 P.450
 リヤフォグランプ表示灯 P.76, P.77, P.78
 故障警告灯（MIL） P.72, P.73
 故障したときは P.332
- サ**
 サービスデータ（車両仕様） P.450
 サイドミラー（ドアミラー） P.134
 サンバイザー P.327
- シ**
 シート
 お手入れ P.442
 後席シート P.118
 前席シート P.112, P.114
 チャイルドシート P.46
 シートベルト
 後席シートベルトの位置 P.26
 シートベルト警告灯 P.72, P.73
 シートベルトの着用のしかた P.27, P.28
 シートベルトの注意事項 P.30
 室内灯 P.316
 始動しない P.351

始動のしかた	P.160, P.167
シフトレバー (マニュアル車)	P.176
車線逸脱警報(LDW)	P.282
ジャッキ	P.401
車幅灯	
スイッチ	P.185
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
車両型式	S
車両重量	S
車両仕様	P.450
車両情報ディスプレイ	P.80
車両寸法	S
ジャンプスタートのしかた	P.355
充電警告灯	P.72, P.73
瞬間燃費	P.83, P.84
乗車定員	S

ス

水温計	P.62
スイッチの操作	
ECOモードスイッチ	P.201
LDW (車線逸脱警報) スイッチ	P.285
LDW (車線逸脱警報) スイッチ / インテリジェント L (車線逸脱防止 支援システム) スイッチ	P.285
VDC OFF スイッチ	P.214

アイドリングストップOFFスイッチ	P.205
イルミネーションコントロール スイッチ	P.87, P.88
インテリジェント L (車線逸脱防止 支援システム) スイッチ	P.285
インテリジェント エマージェンシー ブレーキ / 踏み間違い衝突防止 アシストOFFスイッチ	P.253, P.271
エアコンスイッチ	P.144, P.147
エンジンスイッチ	P.160
キースイッチ	P.167
ステアリングスイッチ (インテリジェント クルーズ コントロール)	P.223
ステアリングスイッチ (オーディオ)	P.158
スポーツモードスイッチ	P.175
ソナースイッチ	P.313
デフロスタースイッチ	P.372
ドアスイッチ	P.99
ドアミラースイッチ	P.134
ドアロックスイッチ	P.103
パワーウィンドウスイッチ	P.138
非常点滅表示灯スイッチ (ハザードスイッチ)	P.6
フォグランプスイッチ	P.195
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.193

方向指示器スイッチ	P.192
ライトスイッチ	P.185
リヤウインドーデフォッガースイ ッチ	P.374
リヤフォグランプスイッチ	P.195
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.197
ステアリング (ハンドル)	P.123
ステアリングスイッチ	P.158
インテリジェント クルーズコント ロール	P.223
ステアリングロック (ハンドルロック) ステアリングロック (ハンドルロッ ク)	P.165, P.171
ハンドルがロックしエンジンの 始動ができないときは	P.352
スピードメーター (速度計)	P.62
スベアタイヤ	P.401
スポーツモード	P.175
スモールランプ (車幅灯)	
スイッチ	P.185
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450

セ

制動灯	
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450

セキュリティー

インジケーター P.76, P.77, P.78

セレクトレバー（オートマチック車） P.172

洗車のしかた P.430

前照灯（ヘッドランプ）

スイッチ P.185

電球（バルブ）交換 P.383

電球（バルブ）容量 P.450

前席シート P.112, P.114

前部霧灯（フォグランプ）

スイッチ P.195

電球（バルブ）交換 P.383

電球（バルブ）容量 P.450

フォグランプ表示灯 P.76

ソ

走行支援機能表示 P.86

走行時間 P.83

走行のしかた P.181

速度計（スピードメーター） P.62

ソナー

ソナー P.300, P.313

ソナーシステムについて P.313

ソナースイッチ P.313

ソナーの取り扱い P.440

ソナーシステム P.313

タ

タイヤ

アルミホイールのお手入れ P.435

スペアタイヤ P.339

タイヤ・ホイールを交換するとき P.419

タイヤ・ロードホイールサイズ P.451

タイヤ応急修理キット P.340

タイヤチェーン P.422

タイヤの位置交換（ローテーショ

ン） P.421

タイヤの空気圧 P.417, P.451

タイヤの点検項目 P.417

パンク P.339

冬用タイヤ P.422

タコメーター（エンジン回転計） P.62

正しい運転姿勢について P.16

チ

チャイルドシート P.46

チャイルドシート適合表 P.47

チャイルドセーフティドアロック P.105

駐車のみかた P.183

チルトステアリング P.123

テ

定期点検 **M**

停止のみかた P.163, P.169

停車のみかた P.183

低水温表示灯 P.76

低速加速抑制機能 P.261

低速衝突軽減ブレーキ機能 P.261

定速制御機能（インテリジェント

クルーズコントロール） P.245

テールランプ（尾灯）

スイッチ P.185

テールランプ表示灯 P.76, P.77, P.78

電球（バルブ）交換 P.383

電球（バルブ）容量 P.450

デフロスタースイッチ P.372

電球（バルブ）交換 P.383

電球（バルブ）容量 P.450

点検整備について P.400

電源ソケット P.323

点検値／交換油脂類 P.446

電池交換のみかた P.425, P.426

電動パワーステアリング警告灯 P.72, P.73

ト

ドア

ドア P.99

ドアが開かないときは	P.349
ドアスイッチ	P.99
ドアロックスイッチ	P.103
ドアを室内から開けられないとき (チャイルドセーフティドアロック)	P.105
バックドア	P.107
ドアミラー	P.134
ドアミラーヒーター	P.137
灯火装置 (ランプ) の点灯、点滅具合、 汚れ、損傷点検	M
盗難防止装置 (イモビライザー)	P.57
時計	P.66
トラブルがおきたときは	
インテリジェントキーで始動できない ときは	P.351
オーバーヒートしたときは	P.375
警告灯がついたときは	P.358
セレクトレバーが動かないときは	P.377
ドアが開かないときは	P.349
バッテリーがあがったときは	P.353
パンクしたときは	P.339
ハンドルがロックしエンジンの始動が できないときは	P.352
ヒューズが切れたときは	P.379
表示灯がついたときは	P.367
ブザー (警報音) が鳴ったときは	P.370

窓ガラスがくもったときは	P.372
雪道やぬかるみにはまったときは	P.378
トリップコンピューター	P.80
トリップメーター (区間距離計)	P.64

ナ

内装のお手入れ	P.441
ナンバー灯 (番号灯)	
スイッチ	P.185
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450

ニ

日常点検	M
------	----------


ネ


燃料	
燃料計	P.63
燃料タンク容量	P.141
燃料補給口	P.141
燃料残量警告灯	P.72, P.73


ハ

パーキングブレーキ	P.178
パーキングブレーキの踏みしろ点検	M

排気量	S
ハイビームアシスト	P.188
ハイビームアシスト表示灯	P.77
ハイマウントストップランプ	
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
ハザードスイッチ (非常点滅表示灯)	P.6
挟み込み防止機構	P.140
発炎筒	P.333
バックドア	
開かない	P.350
バックドア	P.107
バックドアガラスのくもりの取りかた	P.374
バックミラー (ルームミラー)	P.124
発進	P.180
バッテリー	
バッテリー	P.428
バッテリー液量の点検・補給	M
バッテリーがあがったときは	P.353
バッテリーセーバー	
ヘッドランプ	P.185
マップランプ	P.316
パニティミラー	P.327
バルブ (電球) 交換	P.383
バルブ (電球) 容量	P.450
パワーウィンドー	
挟み込み防止機構	P.140

パワーウィンドー	P.138
パワーウィンドーが正常に作動しない とき	P.140
パンクしたときは	P.339
番号灯	
スイッチ	P.185
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
半ドア警告灯	P.72, P.73
ハンドル	P.123
ハンドルがロックしエンジンの始動が できないときは	P.352
ハンドルロック (ステアリングロ ク)	P.352
ハンドルがロックしエンジンの始動が できないときは	P.352
ハンドルロック (ステアリング ロック)	P.165, P.171
	
ヒーター付ドアミラー	P.137
非常停止のしかた	P.166
非常点滅表示灯	
スイッチ	P.6
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450

尾灯	
スイッチ	P.185
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
ヒューズ	P.379
ヒューズが切れたときは	P.379
表示灯	P.76, P.77, P.78
表示灯がついたときは	P.367
ヒルスタートアシスト	P.216
	
VDC	
VDC OFF スイッチ	P.214
VDC OFF 表示灯	P.76, P.77, P.78
VDC 警告灯	P.72, P.73
VDC	P.212
ブースターケーブルのつなぎかた	P.353
フード (ボンネット)	P.410
フォグランプ	
スイッチ	P.195
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
フォグランプ表示灯	P.76
吹き出し口	P.149
ブザー (警報音) が鳴ったときは	P.370

踏み間違い衝突防止アシスト	
インテリジェント エマージェンシー ブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト OFFスイッチ	P.271
インテリジェント エマージェンシーブレーキ /踏み間違い衝突防止アシストOFF 表示灯	P.76, P.77, P.78
低速加速抑制機能	P.261
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.261
踏み間違い衝突防止アシスト	P.260
フューエルフィルターリッド (燃料補給 口)	P.141
フューエルフィルターリッドオーブ ナー	P.142
フューエルメーター (燃料計)	P.63
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.422
ブレーキ液量の点検・補給	M
ブレーキ警告灯	P.72, P.73
ブレーキの効き点検	M
ブレーキペダルの踏みしろ	M
フロアカーペット	P.325
フロントガラスのくもりの取りかた	P.372
	
平均車速	P.83

平均燃費	P.83, P.84
ヘッドランプ	
スイッチ	P.185
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
ヘッドランプ上向き	
表示灯	P.76, P.77, P.78
ヘッドランプ警告灯	P.72, P.73
ヘッドランプの点灯、点滅具合、汚れ、	
損傷点検	M
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.193
ヘッドレスト	
後席シート	P.121
前席シート	P.116
ホ	
ホイールサイズ	P.451
ホイールナットレンチ	P.401
防眩式ルームミラー	P.124
方向指示器	
スイッチ	P.192
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
方向指示表示灯	P.76, P.77, P.78
方向指示器の点灯、点滅具合、汚れ、	
損傷点検	M

防犯装置

イモビライザー (盗難防止装置)	P.57
セキュリティインジケーター	P.76, P.77, P.78
ホーンの鳴らしかた	P.123
ポジションインジケーター	P.65
ポジションランプ (車幅灯)	
スイッチ	P.185
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
ボトルホルダー	P.321
ボンネット (フード)	P.410

マ

マップランプ	P.316
窓ガラスがくもったときは	P.372
マニュアルエアコン	P.147
マルチセンシングフロントカメラ	P.437

ミ

ミラー	
インテリジェント ルームミラー	P.125
ドアミラー	P.134
バニティミラー	P.327
ルームミラー	P.124

メ

メーター	
オドメーター (積算距離計)	P.64
外気温度計 (メータータイプ [Ⓐ])	P.69
外気温度計 (メータータイプ [Ⓑ])	P.84
警告灯	P.72, P.73
航続可能距離	P.83, P.84
車両情報ディスプレイ	P.80
時計	P.66
表示灯	P.76, P.77, P.78
メーター	P.60, P.61
メーターの明るさの調節の	
しかた	P.87, P.88
メンテナンス設定	P.70
メンテナンス設定	P.70
メンテナンスデータ (サービスデータ)	P.446

ユ

油圧警告灯	P.72, P.73
雪道の走行のしかた	P.416
雪道やぬかるみにはまったときは	P.378

ラ

ライトスイッチ	P.185
---------------	-------

ラゲッジサイドフック	P.329
ラゲッジルームランプ	P.316
ランプ (室内照明)	
マップランプ/ルームランプ	P.316
ラゲッジルームランプ	P.316
ランプが点灯しないとき (バルブの交換)	P.383

リ

リモートコントロールエントリーシステム	
機能・使いかた	P.96
電池交換のしかた	P.426
リモコンによる施錠・解錠	P.101
リヤウインドーデフォグガースイッチ	P.374
リヤビューカメラ	P.439
リヤフォグランプ	
スイッチ	P.195
電球 (バルブ) 交換	P.383
電球 (バルブ) 容量	P.450
リヤフォグランプ表示灯	P.76, P.77, P.78
リヤワイパースイッチ	P.198

ル

ルームミラー	P.124
ルームランプ	
マップランプ/ルームランプ	P.316

ラゲッジルームランプ	P.316	ワックスをかけるときは	P.434
------------------	-------	-------------------	-------

レ

冷却水

寒冷地の取り扱い	P.413
規定量	P.447
冷却水量の点検・補給	M

レバー

シフトレバー (マニュアル車)	P.176
セレクトレバー (オートマチック車)	P.172

ロ

ロードホイール

お手入れ	P.435
交換	P.419
サイズ	P.451

路上で故障したときは

P.332

ロックノブ

P.103

ワ

ワイパー

ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.197
ワイパーゴムの交換	P.424
ワイパーブレードの交換	P.423

MEMO

MEMO